（明治卅一年五月九日第三種郵便物認可）

臺灣日日新報　夕刊
十一月二十九日
夕刊壱部壹錢

六日からの總會は華々しい論戰展開か
小國代表早くも發言の通告
審議は十日位も續かう

【ゼネバ二十八日發聯合】いよいよ六日より開會されることとなつた總會には五十餘ケ國代表が出席するので審議は少くも一週間乃至十日間は續くものと見られ、總會移管決定と共に待つてゐましたとばかり早くも事務局に發言通告をしたものに理事會議長デ・ヴアレラ氏初め小國代表の急先峰チエツコ代表ベネツシユ、瑞西代表マダリアガ氏等がある、その外英のサイモン、佛のボンクール、伊のアロイジ氏外南米諸國代表も發言確實と見られ、總會での審議は專ら原則的諸問題に限られ主として日本の行動が聯盟規約違反であるか否かを議題として此處に華々しい論戰が展開されるものと見らる

六日午前十一時開會
議題は日支問題と事務總長問題

【ゼネバ二十八日發電通】二十八日國際聯盟より發表されたコムミユニケに依ればイーマンス總會議長は特別總會を十二月六日午前十一時（臺灣時間午後六時）開會する様招集した議題は
一、日支紛爭問題　二、アヴノール氏を事務總長に任命の件
の二案である尚イーマンス氏は十九ケ國機構委員會議長として同委員會を十二月一日午前十一時開會する様招集した

滿洲國承認の外は妥協案には應ぜず
大國筋の皮相な見解を笑殺し
帝國政府は信念を表明

【東京二十九日發電通】今次の國際聯盟理事會開會以來帝國政府は滿洲問題の解決は滿洲國の獨立承認の外なしとの強硬態度を一貫してゐるが、外務當局に達せる情報に依れば聯盟大國側は右の帝國代表の態度を目して日本政府が今後作成さるべき妥協的解決案を自己に有利に導かんがための作戰なりとし日本は必ず折れ合ふに至るべしと觀測してゐる事は、問題を總會に移せる事よりも又二十五日理事會のデ・ヴアレラ議長の說記よりも明かであるが、我外務當局はその皮相なる見解を笑殺し帝國の態度を左の如く明示してゐる
一、滿洲國獨立の東洋平和に不可缺なるは帝國の信念にして松岡代表の所論は之を表明したものである
一、滿洲國の成立に依り所謂滿洲問題は解決を見、聯盟で之以上論議の要なし依て帝國政府は聯盟側をして滿洲國の獨立及び之に對する帝國の正式承認を認めしむる外如何なる妥協案にも應ずる餘地なし

わが留保聲明に對し聯盟は意見相異
第十五條四項も適用可能

【ゼネバ二十八日發電通】松岡代表は二十八日の理事會で日支紛爭を總會に移牒することに留保を附したが

聯盟當局 では右の日本代表の留保は有效でない、何となれば日本の留保聲明中には松岡代表の前回寄せる所說を確認してゐるが松岡代表は聯盟規約第十五條三項に依り總會が報告書を審議するに反對せず從つて當然十五條全部を承認せねばならぬ、何となれば同條三項に依り解決出來ねば總會は自動的に四項を適用しその適當なりとする干渉を爲す事が出來る譯だと指摘してゐる、之に對し

我代表部 は左の見解を持してゐる規約第十五條に依つて總會が審議する事は法理的に認め得るが同條第三項の下に事件を處理する裝り實質的には第十一條に依る理事會の審議と同様經過を辿る譯であるから形式に拘泥せず總會出席に敢て反對しなかつたのである、然し聯盟側では第十五條三項の下に日本が出席を承諾せる以上第四項の適用も反對し得ぬと解してゐるが若し果して今後總會が第四項に移らんとするならその時こそ日本と聯盟の間に重大意見の相違を生ずることとならう

小國が策動しても結局委員會附託か
この間に私的會談續行

【ゼネバ二十八日發電通】日支問題の移牒を受けた聯盟總會は十二月六日午前十一時より本會議を開き約二日間一般討論をなす見込であるがこの二日間に日支兩代表の論戰に續き小國側が自國擁護の立場より勝つ手な

熱を吹く べくこの期間こそ日本にとつて最も不愉快な時期とならうと豫想されてゐる、然してその際リツトン報告書の採擇等を行ふとすればその內容次第では我が聯盟脫退を見るに至るやも知れぬが有力筋の觀測に依れば大國側が適宜斡旋し一般討議後重大な決議をなすことなく直ちに委員附託とする見込である、然して右委員會の構成に付ては
一、十九國委員會の單なる擴張にて可なりとする說と
二、同委員會に日支代表を參加せしめ
三、新たに東洋に直接利害關係を有する國をもつて組織すべしとする說
があり第三の意見はまだ除り有力ではないが

大國間 の私的會談が進捗して問題を聯盟から切離し特殊關係ある國の間に於て處理せんとする氣運が醸成される場合には相當實現可能性を有するに至らんと見らる、何れにしても右委員會成立後の經過は主として各國間の私的會談の成行に依るものと豫想されてゐる

英佛兩首相總會に出席せん

【ゼネバ二十八日發電通】英國筋の情報に依ればマクドナルド、エリオ英佛兩首相は軍縮問題の協議を兼ね日支問題に關する特別總會に出席せんとする形勢である

十九國委員會は形式的會議

【ゼネバ二十八日發聯合】理事會二十八日の會議で日支問題審議を特別總會に移管し此の問題の討議を打切つたがまだ閉會したわけでなく、五日まで休會し同日再開することとなつてゐる、又一日は十九ケ國委員會が先づ開會されるがこれは單に日支問題に關する特別總會の日程を正式に決定する形式的會議に過ぎず簡單に終る見込である

リ卿歸英

【ゼネバ二十八日發電通】リツトン卿は二十八日夜出發ロンドンに歸りその他の調査委員もアメリカのマツコイ將軍を除いて何れも歸國するが若し總會が同委員會に諮問する時は直ちにゼネバに引返す筈

米の問題を中心に農、拓兩省が對立
米價公定案と現狀維持論
どう纏りが付くか

政府の米穀調査委員會は去る二十四日から開會されてゐる、交務からは委員會の委員になつてゐる殖產局長が總督不在中のため上京を差控へて、これに代つてといふ譯ではないが、ともかくも總督府との事務的連絡のために須田商工課長が農政方面の技師鈴木進一郎君や安藤、衛藤兩技手等と共に上京してその役割についてゐる、朝鮮、樺太、植民地方面の

利害を 代表しては拓務省から出てゐる委員が特に聯絡ある筈であるから、交務からの委員が行つてゐなくても差當つての支障はない譯であるが、平塚委員も後ればせながら來月五日出帆の便船で馳せ參ずる手筈になつてゐるから、ここもと交務としては來るべき第六十四議會の前奏曲として此米穀問題が最も興味と關心とを伸して危急との交涉態を產づるものでなければならぬ、しかも今夏華々しく送り出され某施將軍の如く迎へられた例の移入米制限反對陳情委員の如きは勿論あの當時のことを爲し遂げたことは成功でもあつたし又相當の效果をあげ得たものではあつたが、同じその問題は今日に於てさらにより以上のシリアスさを加へてゐると言つても敢て過言ではあるまい、東京の米穀調査委員會の今日の

情勢こ してあの程度の際にあるものの如くである、尤も米價公定案……延いては植民地米の移入制限案は避くべからざる情勢にある……「米穀統制に關する對策如何」といふ極めて漠然たるものであるからどんな

意見が 飛び出して來るか分らぬが、今日の情勢では上山、謝之進氏等の提唱する米價公定案が最も有力で、農林省の意見といふのもこの上山案と同一と見て大した誤りはないのである。ただ農林省では最初自省案として出す筈であつたものを四圍の政治的見地から差控へ上山氏等より提出される提案につき審議することにひらりと體を躱したものの如くである之に對して拓務省では現狀維持論を高唱しこの拓務省の大旆の下に

進軍せ んとしてゐるの朝鮮も臺灣も歩調を合して堂々と乘つてゐるのであるからこの對陣は恐らく近來の見ものである、而も何も緣起を擔ぐ譯ではないが、妙にこの米穀調査會は政變と縁があり、田中內閣が倒れたのも米穀調査會開會中である、若槻內閣が瓦解したのも調査會開會のその日であつた、こんどはそんな縁起でもない話は前以つて言ひつこなしであるが、とも角この問題は妙に政局に影響を與へてゐるのが今日までの通例なんである、さてこの交務米移入制限を含む米價

公定案 に對して交務關係者の對策如何と見れば今夏歩武堂々と代表を中央へ送つた意氣はどこへやら、去る二十五日に鐵道ホテルで時節外れの交務米研究會とやらを作つてこれからぼつぼつ交務米の研究でもやらうかな―といふのであるから何と感心たるものではないか、朝鮮ではとつくの昔に全鮮の米關係者の名をもつて綜合なる聲明を發してゐるのと思ひ比べる時思ひ半ばに過ぎるものがある、さて今日の所では農林省の公定案と拓務省の現狀維持論との意見にはとても

大きな 開きが存するのであるが、之が政府案としてどの程度の所で纏まりがつくか、相當困難な、そして現內閣としては、どうしても放つてはおけぬ問題であり、場合に依つては政局にも影響しかねまじき問題だけにこの歸趨は政界の注目の焦點となるものと見られる

建國公債の前景氣
既に五十錢のプレミアム

【東京二十九日發電通】滿洲國の建國公債は金融界緩慢で放資物を漁つてゐる際前景氣良好にして證券方面では既に五十錢プレミアム付の九十七圓に豫約取引されてゐる、尚三日中には八圓位まで昇騰するものと見られてゐる

紐育株式不動

【ニューヨーク二十八日發電通】當地株式市場は砂糖株三弗一十仙八分三と新安値を出した事も大した影響なく底意堅く値動きも一ポイントの上には出なかつた、ユー・エス・スチール三三弗四分一、アナコンダ銅八弗八分五

日本產業協會できのふ功勞者表彰
後宮、坂本兩氏も表彰さる

【東京二十九日發電通】日本產業協會は二十八日午後五時半華族會館に伏見總裁宮殿下の台臨を仰ぎ產業、貿易功勞者の表彰式を舉行齋藤首相初め荒木陸相、中島商相、後藤農相、永井拓相その他會員百數十名出席、功勞者に對し總裁宮殿下には一々表彰狀を御親授遊ばさる旨を賜はつた因みに本年度表彰者は六十七名で臺灣關係左の如し
後宮信太郎（鑛業）
坂本素魯哉（金融業）

表彰されて却つて恐縮
後宮信太郎氏語る

日本產業協會より二十八日表彰された後宮信太郎氏は語る
私は明治二十八年の領臺當時から臺灣の事業に關係して來ました、もう既に三十七、八年臺灣で働いてゐます、二十八日表彰式があるといふので招待状が來てゐましたが仕事の都合で上京が出來なかつたわけです、私は鑛業家として、坂本君は金融業者として表彰されたやうです、鑛業家と云つても金の方は最近のことですが石炭の方は相當古く長い間やつて來ました、表彰されたりなどして貰つては却つて恐縮です

英米クロス新安値

【ロンドン二十九日發電通】爲替市場の低落續き英米クロス寄付三弗二十一仙であつたが午前十一時四十分には早くも三弗二〇仙四分一、午後三時五分には三弗一八仙二分一、午後四時には三弗一七仙四分一に低落したが引値は三弗一七仙三分一、尚二十六日の最低記錄は一九三〇年二月四日の三弗二一仙なるが二十八日の安値三弗一七仙四分一は之を突破すること三仙四分三である、尚今相場は六弗八志四片と未曾有の新高値を出した

表彰された二人（上）後宮信太郎氏、（下）坂本素魯哉氏

その日その日

○徵兵令布かれて六十年、この制度の下に日本國民は祖國を護つて今日に至つた――
○今や重大な危機に立つ、國民としても祖國日本に對する認識を新たにせざるなるまい
○豫定の通りリツトン報告書は理事會で持て餘し其儘總會へ廻はされた、理事會の無能バクロ
○さて總會や十九ケ國委員會が寄つてたかつて日本いぢめが出來るか否か、之からが腕試めし
○言ひたい事だけは全部言ひ、ノホホンで濟まし返つてゐる松岡代表、聯盟も聊か呆氣に形ち
○今に一騒ぎでも議會が始まると一騒ぎや二騒ぎなくては納まらない政情、議會と騒ぎは附きもの
○交務の自治制度擴充は問題ないが各種代議員の民選說だけで有頂天になるは早い
○おあしは總てのお蔭へり……
○屏東飛行隊から派遣された伊藤少尉が、北滿で不時着後生死不明、相手は張海鵬系統らしい
○諦めておいて一度に清算するとしても更に角小難の至り

人事

▲有田勉三郎氏　二十八日發の船にて內地へ
▲庵原佑吉氏（日糖支社理事）二十八日來北（嘉義）總會に出席の爲三十日上京
▲見千城夫氏（交務製糖營業部長）二十七日來北二十八日夜行にて歸社

無絃琴

英國のエフ・メルヴヰル君といへば世界の郵便切手蒐集界の大立者であるが此の人が近著の倫敦時事雜誌に、滿洲國新發行の郵便切手を其の寫眞入りで紹介して居る▲其の言葉に曰く『世界の郵便切手蒐集家は今や各自のアルバムに大滿洲共和國の新切手を貼りつける爲めに新たなる頁を加へねばならなくなつた▲北の共和國は滿洲國の名で生れ前滿清國の少年皇帝を執政とするもので、一分より一角まで十八種の新郵便切手を發行し、其の一部はその執政の肖像を、一部は遼陽のパゴーダを圖案としたもので何れも日本美術家の意匠にかかり東京でオフセツト版で製作したものである』云々▲滿洲國の出現に就いては昨今國際聯盟の大問題となりつつあつて、日本の外未だ何國でも承認して居ないのに、郵便切手蒐集界が立派に承認してくれたことは誠に嬉しい心地がする▲序だが世界の郵便切手の圖案には其の國に產する植物のあしらつたものも相當澤山あるが今回南米コロンビア國で新發行の航空切手はバナナが房をなして枝にタワワに生つて居るものを圖案として居る、これがバナナが切手にのつた嚆矢である▲之を見るにつけても一日も早く交務でもかうした特產物などを圖案とした獨自の切手を發行したい、之に從つて交務が世界に宣傳されるところが多いのだ、今度の滿洲國新切手も全世界五百萬人と目されて居る切手蒐集家達に手に入れられて、否應なしに新興國の宣傳ともなり宣傳されることになるのである。

火の鳥
(251)
加能作次郎作
石塚連畫（石塚省造監修）

蛇（一）

揃頃その晩、貢夫はホテルに泊つてしまつた。といふよりも、無理無理綾子に泊らされたのであつた。あれからいろいろ話し込んでゐる中に一時を打つたので、貢夫は漸く起いで立上つたが、綾子は兩手を開いてその前に立ち塞がり、どうしても動かさうとしなかつた。おまけに、入口のドアに、多少巫山戲氣味ではあつたが、內側から鍵をかけて了つた。
『そんなことしないで、歸らして下さいね、僕もいろいろ都合があるんですから、お願ひですよ。』
彼は眞面目になつて頼んだ。
『いいえ、いけません、今更そんな馬鹿なこと。私もうさつきボーイにさう言つて、ちやんと部屋まで取つてあるのよ。むろん、この部屋でもベッドは二つあるけれど丁度いい具合に、この眞向ひが空いてたんですの。』
『困つたね、そんな約束ぢやなかつたのに……』
『ほほほ、あなたは相變らず正直ね。そんなこと本氣にしてゐるなんて、まるで子供みたい。尤も、そこが私の好きなところなんだけれど、いいぢやないの、たまに一晩位、私まだ澤山話したいことがあるのよ。』
『それはまた此の次にしませう。』
『いいえ、駄目、そんな野暮な水臭いこと、あんまりだわ。私も今夜外に約束があつたのを、無理に斷つて來たんですもの、たつた一時間や二時間位ですぐ歸るなんて……』
『併しあんまり遲くなるから。』
『だからお泊りなさいつて言つてるぢやないの。それでも、どうあつても此處に泊るのが厭だといふなら、私も一緒について行くことよ、そして、私があなたの所に泊めて貰ふなり、よつぴて何處かドライブするなり、それが承知なら此處出して上げるわ。』
『そんな無茶なこと。』
『無茶でも何でも、私どうあつても、今夜あなたと別れることが厭なの。といふよりも、そんなこと出來ないの。何故だつて？何故でもそりや理窟でも何でもない、慾情なの、考へても御覧なさい。今時分からあなたに歸られて私が一人で殘られると思ひますか、その氣持解らなくつて？そりや私、隨分我儘よ、自分勝手なことばかり言つてることは、自分で百も承知しててよ、だけど、この我儘や無理はあなただつて許して下すつていいでせう？何も取つて食はうといふんではなし、ただかうして、今夜一晩、私のお相手をしてて下さいとお願ひするだけぢやないの。縁起でもないけれど、死にかけてる病人が、頼むんだと、思つて下さればいいぢやないの。殊に私、が今突然急病で倒れて、命も危いとなつたら何となさる？それでもあなたは、打棄らかして歸つて行くの？たとひそれが見ず知らずの路傍の人であつても、さういふ場合に出會はしたら、まさかそんな不人情なことも出來ないでせう？災難だと思つても、外に誰も居なかつたら、あなた附添つて居てやらなくちやならないでせう？私も今丁度そんな病人と、氣持が同じなの。更に角私、今夜はかうしてあなたと一緒に居たいの、いいえ居て頂ひたいの、何故だかしら、もうこれで二度と會へないかと思ふほど、今夜あなたと別れるのが辛いの、振り捨てて歸りになされるのが、とても寂しくて心細くて堪へられない氣がするの。だからね、いいでせう？ねえ？ねえ？矢つ張り駄目？どうしても歸る？ぢやいいわ、お歸りなさい、もう構はないわ。』
こんな風に、綾子はまるでヒステリイの女のやうに無茶苦茶なことを言つて、蛇のやうに執拗に貢夫にからまつて來るのだつた。
そして貢夫は、遂にそれに負けてしまつた。

メンソレータム
世界の家庭藥
美しく朗らかに健やかに冬のあなたを守るものはメンソレータムです
價　二十五錢　四十五錢　九十錢　一圓四十錢
特効　秋の陽やけ止　肌あれ　吹出物　凍傷　外傷一切　やけど　頭痛　神經痛　齒痛　靴ずれ　痔疾　お化粧下と　髯そり後に
昭和八年度　家庭日記
最廉價奉仕價　一部二十錢
裝幀の優美　編輯の特長　四六版にして實に二百二十頁　斷然光る日記
全國の書店にあり

蘇軍が鐵道を爆發 第一線部隊俄に緊張
重大な結果を招來か

【チチハル二十八日發本社特電】裝甲列車を有する蘇炳文軍は今朝突如東支東部線トルチハ驛東方四十米の地點に現はれ鐵道を爆破した、これがためフラルジにある我第一線部隊の態度俄かに硬化し重大なる結果を招來する虞れあり、チチハル軍部は俄かに緊張を呈した

最も有爲な戰鬪機の操縱者 伊藤少尉の略歴

【屏東電話】伊藤少尉は福岡縣(既報福岡縣は誤り)八女郡川內村の人、明治三十七年一月十九日生れの二十九歳で(前記三十二歳は誤り)八女農業學校を卒業した、氏は資性溫厚で幼時より航空界を熱望し十八歳で現役を**志願**し大正十年十二月十日飛行第四聯隊に入營、同十三年八月一日操縱學生として所澤飛行學校に入校、優秀な成績で同十四年四月二十七日卒業、同年十二月一日飛行第八聯隊付となつたので屏東街には滿七年在住してゐる古顏、大正十五年十二月一日無線學生として下志津陸軍飛行學校に入り昭和二年五月三十一日同校卒業以來操縱に無線通信に最も**熱心**に從事し、その技倆は氏の努力と相俟つて著しく向上した、同五年少尉候補生として陸軍士官學校に入校、同六年二月二十七日卒業、同七年二月二十七日航空兵少尉に任官した航空兵科の生え拔きで選ばれて七年六月七日屏東飛行第八聯隊第三中隊附に充用されたもので、前述の如く**軍務**に恪勤人格手腕頭腦共に優秀でその成績は群を拔き聯隊長以下の人望を集めてゐた少尉候補生出身將校としては年齡最も若くしかも沈着な性格は最も有爲な戰鬪機操縱者として將來を囑望されてゐた

滿洲を目ざして押し寄せる女求職者 滿蒙毛織百貨店の女店員の募集發表で

【東京二十九日發本社特電】來月十日から奉天に開店される滿蒙毛織百貨店(資本金二千五百萬圓)の女店員先主格として三十名の募集が發表されるや、飯田町府職業紹介所へ押し寄せた若き女性が午前だけでも三百餘名に上つた、募集資格が高女卒業者で年齡二十三歳以下、身體強健なる事であり、而も嚴冬の滿洲に發展しやうと云ふ女性だけに紹介所內も何時ものジメジメした**空氣と**は打つて變つて若さの香と明るい希望とではち切れる樣で就職戰線の男性の求職者はこの元氣に壓倒され哀れに堪へぬ面持ちであつた、先づ職員から三年も辛抱したら一千圓はたまると云ふ話を聞かされた後渡された用紙に職業を書く「何故滿洲を希望したか」の項には「生命線がむやみに躍動してゐたが中には「絶好のチャンス一生の望みをかけたこの機を掴んで大いに日本女性の氣を吐く積り」等と勇ましいファッショめいたのや「內地では到底仕事にありつけない狹い日本よりウント手足を延ばして働ける」と內地を見くびつたものもある、又中には「貧しいながら日本女性の優しさを以つて日滿親善と商業の發展を圖る滿洲に日本人の風俗習慣を廣めやうとの大きな希望が胸底にあります」等女性らしい**大望を**抱いてゐるものもある「永住か」と云ふ項には「勿論永住です父母をはじめ一家中大いにやりなさい少なくとも五、六年は歸つて來るな、なる事なら一家中で行きたい位と云つてゐます」等と書いてゐるものが多數あつた

陸軍大學卒業式に天皇陛下臨御

【東京二十九日發電通】天皇陛下には二十九日午前九時十分宮城御出門陸軍大學校に行幸同校卒業式に臨御、優等生に恩賜の軍刀を御下賜遊ばされ、十一時半同校御出門、參謀本部に臨幸せられ閑院參謀總長宮殿下より所管事項を御聽取の上午後零時五分同宮殿下、荒木陸相、各軍事參議官以下陸軍省、參謀本部の部課長に御陪食を賜はり午後一時二十分還御あらせられた

基隆市協議會員の人選を終る

【基隆電話】本期市街庄協議會員改選の殿りをなす基隆市に於ては來月二十五日の改選期を控へ先般來內務課に人選中の所現在缺員四名の外別に二、三の新顏を加へ此程名簿の提出を行つたが何れそれと共に市當局も若干の改選が行るべく、隨行に關する自薦他薦運動も一部に於ては潛行的に行はれてゐる模樣であるが結局は表面化するに至らず穩かに行はるることとならう

島都に三ケ所 慈善鍋 今年から設く

貧困者にお正月の餅と米を惠む慈善鍋の街頭進出は都會地の好ましい歳末情景として、今では必須的な歳末街頭風景の如く思惟されるに至つた程であるが、救世軍臺灣支部では昨年迄は基隆、臺中のみに慈善鍋を設けて、島都臺北にはこれを置かなかつたのであるが、今年からは總督府前通り、臺北市西門市場の裏口、それに榮町二丁目交叉點の三ケ所に慈善鍋を設け、街頭人の暖かい同情を求める事となつた同救世軍では移動薄外御通りか一日三、四十錢の收入になる事に數へられて、捨てるには惜しい、それかと言つて行つても役には立たないと言ふやうな物を各家庭から喜捨を受け、それを金に換へて貧困者へのお正月の悲しみの足しにする計畫を建て十二月一日から活動を始める由であるが電話又はハガキで救世軍宛通知あれば係員が出向いて舊古著その他何んでも喜んで寄附を受けると

第三次全體會議 來月十五日開會 露支國交回復案も提議するに決定

【上海二十八日發電通】第三次全體會議は十二月十五日より南京で開催されるが國民政府は右に對し日支紛糾に關する對策を提議すると共に露支國交回復案を提議する事に決定した、斯は聯盟に於ける審議後日露兩國が接近する形勢あるが爲め支那側としてもソヴエットロシアと接近し置く必要ありと認めたるに依るもので支那今後の動向は注目さる

射擊大會延期

徵兵制六十周年記念官民合同の射擊大會は二十九日午前九時から三張犁射擊場に於て開催の筈であつたが降雨のため十二月三日に延期せられた

扶桑丸 神戸入港

【神戸二十九日發本社特電】扶桑丸は定時入港したが南滿電力調查團・星野京城帝大教授、ジャパンツーリストビューロー鐵道視察團一行十數名臺灣より[illegible]行く兵第二十六名多數、南氏は先般亡くなつた娘の遺骨を郷里へ葬りついでに兵隊田に居る息が入院してゐるのでどんな工合か見てくる、どうも子供運が惡いので心配である、そんなわけで今度は全く社用は少しも帶びて居ない
ツーリストの視察團長南方氏は
驚變身からタロコまでも行つて來たが非常に滿足してゐる、話に聞くほど大違ひあんな良い所とは思はなかつた、殊にタロコの景色は何とも云へなかつた、これからは見た眼で誤られて宣傳されてゐるのを訂正したいと思ふ

要塞地帶の地圖を賣歩く 怪內地人捕はる

臺北北署高等係では十一月初旬頃より怪地圖を賣り歩く擧動不審の一內地人男を檢擧したが右は元基隆要塞司令部出張所總務崎山某(三〇)と云ひ基隆要塞地帶らしき地圖を所持したので憲兵隊で取調べた結果要塞地圖でない事が判明し、憲兵隊では別に問題にしてゐないが該地圖は要塞地圖でなくとも要塞司令官の許可を要すべき地域の地圖で要塞地帶法違反に該當してゐる事とて廿九日一件書類と共に身柄を檢察局へ送致した

中壢射擊大會

【中壢電話】新竹州中壢郡警察官及在鄕軍人聯合の射擊大會は二十八日兵制記念日を卜し午前十時より郡役所に於て郡守、街長、助役、郡役所課長、保正其他多數來賓臨席の下に開催されたが夜來の雨も漸次晴れ先づ中壢警察課長の開會の辭次に中尾郡守の勅語奉讀、工藤警部より射擊に對する注意あつて開始されたが風はやや強かつたけれど時局に鑑み一同は頗る緊張し午後五時無事終了、左記入賞者に對し中尾郡守よりそれぞれ賞品を授與し中壢課長の訓示、萬歳を三唱して好成績裡に散會した

今年は蜜柑の當り年 內地移出だけでは消化出來ず 滿洲歐洲へも進出か

總督府特產課の調査によれば本年は蜜柑の當り年で到る處の柑橘園は黃金色をした蜜柑が枝もたわわに實のつてゐる、今は椪柑などの出盛り期で檢查も次第に多忙になつてくるが今本年の全島に於ける**生產見込**を擧げてみると

見積面積	七、三三三甲一七
栽培樹數	三、九二〇、九〇〇本
結實樹數	二、七三五、五〇七本
收穫見込高	五三、一四八、九六八斤

でこれを前年の收穫高三千三百三十五萬八千六百十二斤に比し千八百七十九萬八千四百十六斤といふ空前の增產で、從來のやうな內地移出ばかりでは到底消化しきれぬから本年からは盛んに滿洲國や歐洲方面にまで**進出せん**とする計畫である、尚種類別收穫見込高は左の通り

種類別	收穫見込高	前年に比し增(△減)
椪柑	二九、八〇七、九二〇斤	九、一六六、一二二斤
桶柑	三、一八〇、九七八	五三〇、六六九
雪柑	一、一六二、四八一	二三、四〇六
文旦	二、〇九五、一〇六	一、四〇四、八九九
斗柚	四、〇九二、〇二三	△七二〇、〇九八
白柚	五九六、五九六	△三六八、一六六
其他の柑橘類	一、四〇六、四〇四	三〇八、二一六

斗柚は臺南、白柚は臺北、新竹、高雄が**暴風雨等**の被害を受けた結果前年に比し減收となつたものである

臺北遠乘會の北投行進

臺北遠乘會では十二月十一日の日曜を期して北投行進を擧行することとなつたが當日午前九時步兵聯隊營門に集合し午前九時三十分出發三線道路から市中行進をなして北投へのコースをとることとなつてゐる、北投著後は野外で晝食を取り餘興として賓投しに興じた上歸途に就き午後四時歸北の豫定である猶遠乘會會員の外一般の參加を希望してゐる、會員以外の參加者は會費二圓三十錢を添へて軍部側は守備隊司令部宮田副官迄軍部側以外は武德會馬術部(電二四八三)へ申込むこと

佛人五名乘組のヨット遭難救助さる 上海よりマニラへ航行中 廿八日夜新莊郡下福海岸で

二十八日夜九時頃臺北州新莊郡林口庄下福海岸に難破船ある旨屆け出があつたので所轄派出所では壯丁團を召集し係官が現場に急行搜査すると船體は既に**破損して**形態を認めず乘組員は船の破片にしがみ付き漂流してゐるのを發見、漸く救助し同海岸にて焚火をなし應急手當を施した後下福派出所に收容したが遭難者は五名で悉くが佛蘭人であるため言葉も通ぜずよく分らないが右五名は世界漫遊のため十一月二十二日上海を出帆マニラに向け航行中遭難したもので船は二十五噸のフランスジャンクで積載貨物はなく遊覽用のものである、尚下福派出所からはこの旨林口庄役場に急報し**救助方を**交涉したが同地は僻地であり、適當の救護困難と見られてゐる、二十九日早朝州保安課より白井警部、高等警察課より安武警部、督府外事係も同行同地に向つた

エロの秘密境…… 「男女舞跳學校」探訪記

香港通信員　大航生

臺北にダンス・ホール同好俱樂部や羽衣會館が再生した……との報らせを受取つたところ、香港にも漸くダンス・ホールなるものが生れた、香港は英米風紀取締りの嚴しいせいもあらうがダンサーや女給の持つ一種獨特な艶つぽい雰圍氣にひたることを許されてゐないので、ダンス・ホールの出現に好奇的である、好奇的といふのは珍らしくて然も何だか怪しい物語を齎してゐるといふわけだ、其の一例として、あるダンス・ホール探訪「偵察」をする事とする

×　×

「男女舞跳學校」といふ看板の[illegible]

發見した僕、ヘテナこんな所にこんな學校は一週間前には無かつた筈なんだが、急に設けられたのかそれとも今まで內密にしてゐたものを最近ダンス・ホールの出現で俄に學生を呼び込む方策として看板を出したものか……そのいぶかしさが僕の足を止めたのだ

×　×

ままよ一つ探つてやれ、まさかインチキ商賣だからと言つて僕を殺しもすまい、そこで[illegible]

味な目玉が光つてゐる「開けてくれ」陰り流暢でない僕の怪しい支那語に、件の目玉が一層まん丸くギロリと光る「怪しい者ぢやないよ、僕は」するともう今度は否へがあつた「君に富舞跳學校の學生に知己を持つや否や」「誰も知らんよ、で、誰か知己かね」「勿論、紹介無しの入場は遠慮」[illegible]

テップを踏むと吊り電燈のまばゆく輝くホール入口に達した、其處には受付があつて、先づ僕の署名を要求した

×　×

「あなたは日本人ですね、然し日本人の名前や西洋人の名前を署名してはいかんです、當校の規則により學生は全部支那人でなければならぬ事になつてゐるから、で何でもよろしいから支那人の名前を署名して頂き度い」さらば、といふわけで「蔣介石」と書いてやつたら「それはイカン」といふので「汪兆銘」と書いたところ「イカンさか同じだ」といふ、でも、まあまあといふわけで、椅子を貼けてホールに入る

×　×

子に腰を下すと白服のボーイが近づいて「何か？」と訊ねる「さうだ何かを」と答へると合點顏で引込む、やがて別室からだしぬけに奏樂が起つた、と見る今まで椅子に靠つてゐた若い男女が互ひに手を取り合ひダンスの姿勢で[illegible]れて行つた、[illegible]極めて煽情的姿態でダンスを踏む彼等のモガ振を「わるくないナ」と云ふでもなげなまなざしで眺めてゐると、突然「カピーを持つて參りました」といふ女の聲、然も英語だ、オヤと思つて顏を上げると、美しいダンサーが僕の椅子の前に突立つてゐる、これが所謂[illegible]效果を發散してゐる

×　×

「學校つての字は名ばかりよ、とて、警察がやかましいので、分つた人物でなくちや此處へ這入れない事になつてんのよ、酒だつて無論許されちやいないわ、ダンスの教授は半時間あて二回で、五弗、ダンスは一回一弗[illegible]けど日本のダンス・ホールに較べると高過ぎるんだつて、だけど高過ぎはしないのよ、なぜつてホホ、あたし達も[illegible]

[illegible]

六大學リーグの覇者 法大野球部の來征 本社の招聘で年末に來臺
臺北の試合日程決定

東都スポーツ界の花たる六大學野球リーグ中、今秋の覇者として王冠を得た法政大學野球部は本社の招聘に應じ本年末來臺することとなつた、一行は十二月二十六日神戸發二十九日來著する豫定で新春劈々臺北に於ける試合日程その他は二十八日CB、鐵團の責任者及び法政校友會側と協議の結果次の如く決定を見た(雨天の場合は順延)

臺北の試合日程

一月一日　對CB　二日　對鐵團
三日　對CB　四日　對鐵團

備考　一勝一敗の場合は日を期して試合を行ふ筈、地方に於ける日程は追て發表する

主催　臺灣日日新報社
後援　臺灣體育協會

天氣概況(二十九日)

本島は北部と臺中が雨他は曇りとなつて居ります颱風は北緯十九度東經一二五度即ち恒春の南東五五〇粁の海上にあり中心示度七四八粍にして時速凡そ一五哩で以て北東に進む模樣であります

▲天氣豫報(三十日)
一區(北部)　北東の疾風曇小雨
二區(東部)　北の和風曇
三區(西部)　北の和風曇後晴
四區(南部)　同上
臺北地方　東の疾風曇時々小雨

(三十日)

	淡水 滿潮 前	淡水 滿潮 後	淡水 干潮 前	淡水 干潮 後	基隆 滿潮 前	基隆 滿潮 後	基隆 干潮 前	基隆 干潮 後
	〇・〇〇	〇・五〇	六・一五	六・三五	[illegible]	九・一〇	四・一五	五・三〇

商況(廿九日)

米況

正米市況(前場)　丸臣精選蓬萊種保合

[illegible]

大阪期米

▲前場

節	當	中	先
一	二二五四	二三三八	二三九八
二	二二一一	二三二六	二三九七
三	二二三二	二三一八	二三八九
四	二二三六	二三一八	二三一七
五	二二三四	二三一六	二三八[illegible]
六	二二四〇	二三一五	二三八四
七	二二三六	二三一七	二三八〇
八	二二三四	二三一二	二三七三
九	二二三三	二三〇八	二三[illegible]四
十	二二四〇	二二二〇	二三七九

東京期米

▲前場

	當	中	先
寄	二二八一	二三三五	二三九五
北	二二五二	二三二一	二三八五
高	二二八五	二三三五	二三九七
安	二二七	二三一〇	二三七九

神戸期米

▲前場

	當	中	先
寄	一	二三四五	二四一六
北	一	二三二九	二三九[illegible]
あ	一	二三四五	二四一六
安	一	二三二九	二三九[illegible]

株式

東京短期

▲前場

	寄	引
東新	一八一、五〇	一八〇、二〇
鐘紡	一二三、五〇	一二三、七〇
同新	一一一、六〇	一一二、八〇
日糖新	四〇、九〇	四〇、八〇
明糖	九〇、三〇	九〇、五〇
淺野新	一九、一〇	二八、九〇
日産	四八、一〇	四八、一〇
日石	四二、四〇	四二、四〇

東京長期

▲前場

	寄	引
鐘紡	五〇、四〇	一三、八
商船	三四、九〇	[illegible]
富士紡	六〇、〇〇	二九、九
東電	一六三、三〇	八三、七

[illegible]

青春の惱みは解ける！ 淋病 消渇こしけ 根治の治療に

風ならキット治る 感冒・頭痛 パンコー 各藥店にあり 發賣元 臺北市京町藥局

營業品目 再製タオル 同日本手拭 同ハンカチ 中折帽子 黑ウエス 白ウエス 各拭物用 大伸古新聞 攝津屑物會社 大阪市天王寺區下寺町三丁目 振替大阪一三三九一番

かるた 京町 滋養名菓 ケーキ

金儲の大將 自働菓子捆機 池原鑄造製作所 大阪市西成區

ラオチ カーピス 高級 特約販賣店募集 スピード製作專門

開店大割引 臺灣サンゴ商會 臺北市本町

恩給 電話 旭屋

續殘月譜 (55)

志乃田廸司作　清水三重三畫

變らぬ山水（五）

「あの家かい？」

三子ヶ浦、呆れたやうに鶴さんに問ひ返した。

「ええ、あれが山嵩さの家ぢやがな」

「やまかさ、とは何だい、やつぱり、かさの一種か？」

「やまかさは、山嵩さぢやがな、へ嵩と云ふ屋號ぢやで」

「ふん、へんな名をつけやがるな」

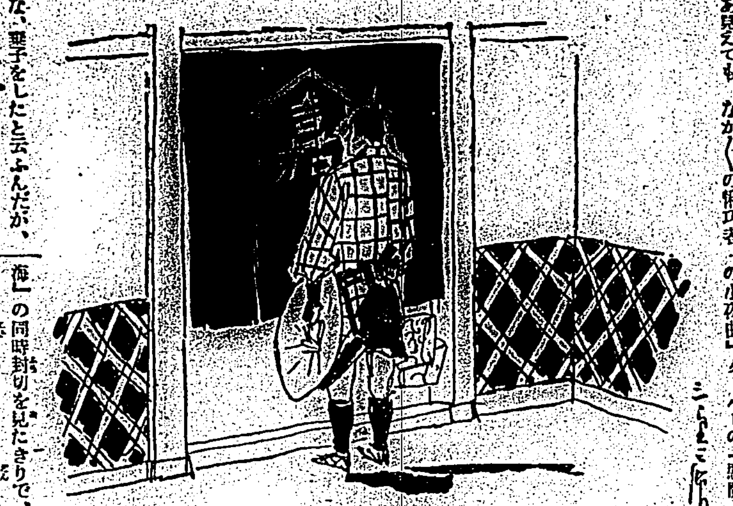
三子ヶ浦、碌も云はず。

「わしは江戶から來たんだが—」と感心つた。

「それにしても旦那さまも酷いや百姓、百姓つて云ふものだから、藪や獅のある家ばかり探し歩いて居た、なんだい、あの家の前なら二度も三度も通つたんだ」

馬鹿々々しい、と云はぬばかりに、三子ヶ浦、ぶりぶりして、嘉衞の家の前にと行つた。

「へん、いやに、田舍にしては立派なもんだなあ。ははあ、旦那はああ見えても、なかなかの悧巧者



だな、惡子をしたと云ふんだが、かう云ふ家を見かけてやるなんてふふん、考へてやがらあ」

と三子ヶ浦、妙な所に感心してしまつて居る。

「嘉衞と云ふ子も、これぢや、いい女房を貰つたに違ひないぞ、羨ましい。天下の關取とあらうものが、木曾街道で、拾はれたばかりに、今だに嫁も貰へねえ、一體、どつちが幸福だと思ふんだい、畜生」

えらい所で啖呵を切つて居る。

「どうせ、うめえものも食つてやがるだらう、俺が、肥つて居るからつて、うめえものを食つて居たと思ふと、あてが違ふぞ」

變な氣焰もあつたものだ、三子ヶ浦、そんなことを思ひ乍ら。

「先づ、どの位の家か見てやれ！」

と、鬪ひの目的も忘れて、家の周りを歩き出した。

「ほに、奉公人も居るやうだぞ、こりや都合がいい、なあに、棄て子したつて我子さ、此の、やまかさ、とか何とか俺とかの、股旅を別けて貰や、結構、商人になれるぞ」

と、三子ヶ浦、案頭して、思はず。

「判つた！」

と大聲を出した。

「ふん、旦那が、商人になりたいつて云つたのは、さては、これがあるからだな。人が惡いや、大忠臣の三子ヶ浦にだつて、それを打ち明けてくれねえんだもの、そして、商人になつて、おてるさまとああなると、かうなる、うふふ」

三子ヶ浦、首をすくめて。

「惡くねえなあ！」

恐悅がつた。

「其處で—と、此の家に別嬪があつて、つまり、嘉衞と云ふ人の義理の妹にかだ、そして、それが齋の娘が吉次さんに惚れたやうに此の三子ヶ浦の隣らしい所へ參つて、そして、嫁になつて。當分は一緒にさせないなんて齋の姿あのやうな野暮を云つたつて、此の三子ヶ浦は聞かないで、へん、あつしや、そんな、生ぬるいことは嫌ひです、と云つてやらあ、なあに、お江戶では、かうですよ、と云へば何でもない」

と、勝手な想像を畫いたが、ふと。

「ああ、遲くなると、金律が、金律が—」

三子ヶ浦、裏口へ飛んで來た。

「こんちは、こんちは、庄右衞門さんは、こちらですかい？」

大聲で呼ぶと、奧から、優しい聲で。

「はい」

と返事が聞えた。

新映畫通信

吸血鬼

中山侑

先日お報せした「今晩愛して頂戴な」の後にプレジャンの「幻の小夜曲」クーパーの「惡魔と深海」の同時封切を見たきりで、自分の仕事がいそがしくて暫時、映畫から遠ざかつてゐましたが、今週になつて、友達の一人が頻に、カール・ドライエルの怪奇映畫「吸血鬼」を褒め、是非見ろと奬めてくれるので、怪奇映畫を見るのには如何にも適はしい夜、夕方からじめじめと降る雨の中を那樂座まで出掛けて、それでも久し振りに素晴らしい感激を抱いて歸つて來る事が出來ました。

×

春には、怪奇映畫らしい怪奇映畫としてマムウリアン「チキル博士とハイド氏」と「フランケンシュタイン」がやつて來て、可成り無氣味な戰慄を與へてくれましたが、ドライエルが「吸血鬼」の中に見せてくれた味は同じ無氣味さでも、前二者とは隨分な相違です、その味を一言にして言つてしまへと言はれると少しばかり困るのですが、まあ、例へて言へば、四谷怪談の物凄さとポオの「アッシャ家の滅亡」の相違です、勿論「吸血鬼」は後者にあたるわけです、しかも、それは殊に、筋だけの問題ではなく、描寫の趣とか、力の加減とか、纖細な感覺味とか、そんな一切の條件が、實に、ポーの小說の味に酷似してゐるのです

×

ここで今更、こんな事に話を運んで行くのも少しばかり變ですが一體、ポーの小說、殊に怪奇的であるとか、スリリングであるとかの故に優れたものなのではなくて、その無氣味な幻想が持つてゐる力強い藝術味（結局かうした幻想的な表現しか出來ないことは殘念ですが）の故、優れてゐるのです、微妙な幻想を物語る、實に深身のある表現、一作を貫いて流れてゐる香高い藝術的興趣、それ等は、ポーの一作を讀んだ後に、必ず僕等が得る感銘ですが、その感銘が、遺憾なく此の「吸血鬼」から味はへる事は、一寸、類のない喜びです、怪奇小說は多くとも、ポーの藝術的に高い小說は少いものです「吸血鬼」の樣な映畫も、さう多くはないでせう。

×

アラングレイと言ふ、實に幻想的な事の好きな青年がゐるのですが、その青年の夢想の傾向は遂に現實界を遊離し得るまでに進み、單に幻想を頭に描くばかりでなく、頭に描き出した幻想を眼に見る事さへ出來る程なのです、で、そのアラングレイ青年が、ある旅の夜を、ソルタンピエールと呼ぶ物さびしい村の宿屋で送るのですが、その夜、夢とも現ともつかない奇怪な事件に遭遇するのです、物語は、こんな風に始まるのですが、此の映畫を見て歸る途中の話を聞いてゐると、まるで此の映畫はわけが分らない、どこまでが本當で、どこまでが夢か分りやしない、と言ふ樣な事を言つてゐました、全くその通りで、一寸、狐につままれた感じですが、そこが、又何とも言へない所なのです。

×

その夜、寢についたアラングレイ青年の部屋へ、一人の老人が忽然と現はれ「我が死後に開け」と書いた包を殘して去るのです、その老人は、近くにある古城の主で、その一家は吸血鬼に呪はれてゐるのです、姉娘のレオンヌは、夜な夜な怪しい夢に誘はれては、吸血鬼の爲めに生血を吸はれて、瀕死の境を、さまよつてゐるのです。その夜、老人の後を追つて此の古城へ、たどりついた青年は、測らずも老人が何者かの爲めに殺されるのを目擊し、家人と力を合せて看護をしたりする內、その城の老僕から懇望されて、その城に留まる事にします、それで青年は「我が死後に開け」と書かれた包を開封します、中からは一冊の書物が現はれました、その表紙には「吸血鬼傳奇」と書いてありました、自身、吸血鬼に呪はれながら、かの老人が古來、吸血鬼について書かれた記錄を調べて作りあげたものなのでした、その書物によつて、青年は吸血鬼の意味を知るのでした、それは、血迷へる死人の魂が、昇天し得ず人間の姿を借りて夜、墓を出で、若い男女の生血を吸ひに歩くものなのです、青年は、慄然としてその書物を見つめてゐます

×

その內にも、吸血鬼の呪ひは、姉妹レオンヌを襲ひます、吸血鬼に魂を取られて、村の醫者が、その手下として働いてゐます、醫者は遂に青年をも吸血鬼に捧げやうとします、そして、可憐な妹娘のジゼールまで、危險に曝され樣とします、忠僕の老人は、青年に教へられて、城主の殘してゐつた「吸血鬼傳奇」を讀み墓地へ出掛けて、その血迷へる死人の墓を探し出して、墓をあばき、その死體の心臟に釘を打ちこんで、二人の娘の生命を救ふのでした、こんな、たどたどしい說明では、何の妙味もありませんが、映畫の素晴らしさは、まあ僕の說明を、十倍しても足りないのですから、その見當でゐて下さい。

×

どこまでが現實であり、どこまでが幻影であるか、その點が常に曖昧としてゐて、此の映畫を見てゐる內に、僕等自身が、いつしか、飽くない幻想家アラングレイ青年の心境と一致して、此の物語りの展開に恐怖しながら、ある興奮を樂んで行く所に、監督ドライエルの巧さがあるのです、例へば夜中に現はれた老人の後を追つて屋外に出て見れば、外は暖かい太陽が照つてゐて、農夫が、一人草を刈つてゐて、その鎌が草を刈る音が靜かに聞えてゐるばかりであつたり、恐怖に陷ちて醫者の家へ行くと、物凄い屋內に鍵ばかりの鼻音が聞かれてゐたり、川土堤を歩いて行くと、水中に義足の男が歩いてゐて、その義足のコトコトと言ふ音が、しんとした川面を響つて來たりするあたりの一風變つた詩的な妙味は、とても一寸常の繪畫では表はし得るものではないのです。

×

最も、優れてゐる畫面は、アラングレイ青年が、吸血鬼の擒となつて夢幻の境を、さまよつてゐる時、自分自身が、白木造りの棺に入れられ、墓地へ運ばれて行く樣を、幻影に見る場面です、その時青年は妹娘ジゼールを探しに或る廢屋に入つて行くのですが、或る部屋を覗いて見ると白い棺があるので、恐る恐る近寄つて見ると、その中には、自分の死體が眼を開いたまま横たはつてゐるのです、その瞬間から、青年の心は、棺の中の死體と一致してしまひ、やがて、誰かが來て棺に釘を打ち、家を出、野路を通り、森林を通りて墓地へと運ばれて行きますが、その際の風景は、總て棺に仰向けにねせられた青年の眼を通して展開するのです、すすけた天井が、やがて青空になり、森の日影のチラチラする枝を見て、古びた教會の鐘樓を見、そして、ひそひそと淋しい墓地へと運ばれて行くのです、僕等は、まるで自分自身が墓地へ葬られてしまふ樣な無氣味さを、まざまざと感じるのでした。

×

それでも最後に、一縷の光明を見せてゐるのです、忠僕の手によつて、吸血鬼は永遠に墓場の中に眠り、アラングレイ青年は、城の妹娘と、湖水に舟を浮べるのです、このあたりは、又實に朦朧とした描寫となり、此の映畫が幾分でも、現實に近寄る事を避けてゐるあたり、ドライエルの纖細な周到さは、認められるべきです。

×

大體の說明でも分る通り、「吸血鬼」は筋が主ではなくて、その表現が主なのです、ポーの「アッシャ家の滅亡」とか「早かつた埋葬」とかの物語りと善く似てゐる所があるのです、ドライエルの感覺の鋭さと、藝術家らしい良心さとか言ふものは、遺憾なく發揮させてゐます、聲音の取り扱ひ方等の細心を極めた用意には、驚かされます、恐らく、全篇を通じて、會話らしい會話と言ふ樣なものはなく、犬の遠吠えとか、病人の唸り聲とか、恐怖の叫びとか、風の音とか、物の倒れる音とか、そんな一切のものが、可成り神經質なまでに、整備されてゐます。

×

映畫「吸血鬼」は然しながら、一般の映畫ファンからの總讃を期待する事は出來ないかも知れない、實際、僕の觀た夜の觀客の評判でも、失望の聲が多かつた、それは當然な事で、「吸血鬼」が單なる怪奇映畫でない事は、その點でもうなづけると思はれます、併し、見る人が見れば、その價値は斷然たるもので、一流の映畫批評家は本年の最傑作として「インチキ商賣」と「吸血鬼」をあげてゐます之は敢て言へば「モロッコ」の大衆的魅惑を、遂に超える、高踏派藝術映畫の一高峰と言ひ得るでせう（一九三二、一一、一七）

□□日活新入社の久松美津江□□　本名は上松美津江、年齡十九歲、身長五尺三寸五分、體重十二貫、千代田高女卒業、常に洋裝、活潑な人

パラマウント提供
コロンビア全發聲映畫日本版

十仙ダンス

監督　ライオネル・バリモア
原作改訂　ジョー・スワーリング
脚色　ドロシイ・ハウエル

―配役―

バーバラ……バーバラ・スタンウイツク
カールトン……リカルド・コルテス
エデイ……モンロー・オウスリイ
モリイ……サリイ・ブレーン
ブランチャード夫人……ブランシュ・フリデリチ
ナンシイ……マーサ・スリーパー
レイフ・クラーク……デヴイツト・ニユウエル
スミス……ヴイクター・ポテル
ウイルスン……シドニイ・ブレーシイ

梗概　バーバラはダンサーになつた、彼女は珍らしい無慾な女だつた、彼女は同じ下宿に居るエデイといふインテリ青年が失職して困つてゐるのを見兼ねて、何くれとなく面倒を見てやつて居た

バーバラをひいきにして時折ダンスホールへ來る金持紳士カールトンは、別に踊りもせず、唯バーバラと話をするのが好きらしかつた、彼は或る晩バーバラが固く辭退するのも聞かず、無理に百弗を與へた

×　×

エデイは下宿代が滯ほつたので居堪らず、下宿を出やうとして居た、これを聞いたバーバラはカールトンに貰つた百弗を與へた上、彼をカールトンの店へ世話してやつた、こんな事から二人の友情はいつしか戀となつて行つた

バーバラはエデイにはダンサーである事を秘してゐたが、或晩エデイは下宿の主婦から聞いてバーバラの勤めてゐるホールへ彼女を訪ね、ダンサーなんか即刻やめる樣に諭めた、彼の純情にほだされた彼女は彼と結婚してささやかな家庭を持つた、甘い生活が幾月か續いて、早くも倦怠期が訪れた、その頃エデイは株に手を出す樣になり、給料も殆ど彼の手に還らなくなつた、その上大學時代の友人レイフとその妹ナンシイ等と交際する樣になつてからは自分達の貧乏臭い生活を呪ひ、バーバラにも辛く當る樣になつた

×

株に損をしたエデイはその穴埋に店の金を五千ドル費ひ込んだがそれが發覺しかけ、二十四時間內に弁償しなければ罪人になると聞いたバーバラは思ひ餘つてカールトンを訪れた

カールトンは彼女の來訪をひどく喜んだが彼女が五千弗の借用を申込んだので、一時は幻滅の悲哀を感じたが、夫の危急を救ふ爲だと聞いて、快く彼女に金を與へ、決して彼女に對して何ものも要求しない事を約束した

×　×

一方エデイは妻がカールトンに最後のものを提供して金を貰つたと邪推し、彼女の心盡しを感謝するどころか却つて散々に罵つたので、彼女も堪まり兼ねて家出をした

再びダンサーになつた彼女は[illegible]カールトンと一緒に[illegible]めてカールトンと結婚する事に[illegible]（完）

臺俳日謠

葉書、句數無制限、何人も投書し得、宛名は本欄係

△更けて秋の夜冷たい風が遠い新内もつて來る　臺北　初駒
△赤くなつても楓の心思想惡へした色ぢやない　臺北　一舟
△菊を供へりや天長節を思ひ出させる明治節　臺北　非熊
△寂り淋しい黄菊の影を床に參らす明治節　臺　遊　伊地知
◎磯の節に露營の夢も結びかねたる銃の音　臺北　耕舟
（評）實感見るが如し

追　加

◇ままにならない浮き世を儂にさせてくれそな人欲しや　如狂

「臺灣の俳句かしくさん銀牌をあげます住所を」

新刊紹介

△ぬかご（十二月號）卷頭に水野六山人氏の「晚秋の旅」と題して旅中吟數十句が出てゐる―秋惜む船の女の聲の重む―秋惜むを讀めて大西―などの句はいいと思つた、次に同じく六山人氏の「この心」と題する選評がある、筆者はここでは俳句は心境の藝術である所以を少年俳壇の平岩兒太郎の句を引例して初心者にもわかるやうに說いてゐる、この他雜詠や俳壇全局俳句界などの記事が滿載されてゐる、中にも實習俳句などは特色あるものと思ふ、又俳句の大衆化にも貢獻する所が多からう（定價五十錢、東京市麴町區丸の內一ノ目十二ぬかご社）

公開欄

本欄は讀者の自由解放▲中傷は不可▲行數は十五字六十行以內▲匿名にても住所氏名は別に記入の事▲取捨は係にあり

炭業組合と中小の炭業者

李　清　彩

◇此の度大業者側より唱道された炭業組合創設の問題に關し茲に其の內情の一端を明して識者諸賢の公論に供す次第である。

昭和五年度迄に於ける中小業者と大業者の生産比率は六以上對四以下であつたが其の後大業者側は生産を增大し炭價を低下させて販路の占領を行ひ來たる爲め中小業者の大部分は倒れ倒れの悲境に陷り現在では單に一部分の神樂の近いもの[illegible]しない自己資本のもの[illegible]の炭價や炭質優秀のもの其他當收益あつたもの契約期限未了のもの等と云ふ特殊炭礦のみ殘つてゐて最少限度の生産の[illegible]命維持をしてゐるので現在の比率は前と反對して四對六を見せてゐる

◇これで組合の使命の一たる生産制限をされたならば中小業者は致命的束縛となりて死線に押込まれるものである。次に價格協定の條件は大業者側は關係會社に依つて販賣されてゐるので價格上の問題は何にも計算が出來るけれども中小業者側は專ら組織關係がなく一般商人と取引をしてゐる爲め協定された高い値段では相手にするものがなく立往生に終る事は分り切つたことである

◇現大業者側の立案されたる組合の決議權は一に生産量に依る項は勿論大業者側の絕對勝利で一業者數に依る項は確實性がなく現六十餘の業者を百二十餘と還元して居るからこれに依つたら七對三に豫想され大業者側優勢となるものである、斯の如き條件の下で組合を組織することは强者が弱者を喰ふ手段でなくして何であらうか

◇組合が出來たら同業者の紛爭を辯解するとかの美句もあるが過去に於ける某炭業主の如き廢坑に陷るものを救活した恩人に對して利の前に義を忘れた行爲等利己主義を山々やつて來てゐるものに對して果して此の信頼が出來るでせうか、外炭の侵入に對しては何等の用心もせず國家多事の今日假面をかぶつて弱小業者を殺滅しやうとするものは國民としてかなり考慮されたいものである。

臺灣案內　料金　三回五十錢　五回七十錢　七回九十錢　十回以上一回十錢　五行一回八十錢

書籍　古本專門高價買入　次高書店　臺北市京町一丁目　電一九二六
豫約月賦販賣本　特價部新本　畔見書店　臺北市本町二　文化教育會
藥種商　エナモル　各地有名藥店にあり　不便な所には臺北岸本商店　電二八〇番
月やく　世界に誇る安全無下藥（夜飲んで朝效く）　臺北川端町螢橋西山研究所
醫院　小林醫院　臺北大和町　電二四三　內科小兒科　X光線新設
血液型　每日檢查施行致します　臺北本町三　電六二七　內科花柳病專門　山本醫院
樂器　山葉オルガン　月賦　臺北市新起町　日本樂器會社
寫眞　寫眞機の御買入の時は先づ榮町角の西尾商店へ
カメラ交換賣買歡迎　臺北市榮町　フタバ寫眞機部
寫眞材料（暗室無料開放）　臺北榮町「ミクニ」（電六六一）
ラヂオ器械　日の丸電氣　ラヂオ直營製作改造修理　臺北明石町　電一六二〇
特賣　三球拾六圓　四球二十二圓　五球四十四圓　六球五十五圓　高砂無線商會　臺北市京町本局前　電三九四番
ラヂオの御用は中川へ　超遠距離用株式受信機
大特價五十八圓より　臺北市本町　電二四六　分離完全鋭利責任付
內地土産　ボンカンとジャボン　檢查濟　西門市場
高等理髮　今日の御髮は馬場理髮館で　臺北本町一　電三九五八
陶器　陶器一式　松尾陶器店　移轉先京町二丁目　電話二九五六番
履物　履物は武藤　西門市場バラック二の通入口
雜件　特許商標　辨理士岸喜鑑　臺北旭町三ノ八　電二八七
流質　洋服と古着　臺北市新起町二　副交江流質店
結婚媒介　臺北市內御成町五ノ六　高砂媒介社
毛糸は東成糸店へ　臺北京町四ノ一〇　電四三一六
三共疊表具店　臺北市綠町一　電話四三一五番
毛皮なめし　臺北宮前町　臺灣製革株式會社
洋式帳簿と繪絹　臺北京町二ノ二二　松久商行
時計修理は武內へ　榮町角　武內時計店　電話三四七四
久留米傘商會　臺北京町二ノ三　電一六五五番
男女毛生液ペトロール
筆生　神戶市布引電停前

勞働印　半ズボン　學生服　大阪高津表門筋　辻豐商店

昔も今も　効能で賣れる　七ふくひえぐすり　本家七ふくや伊藤長兵衛

效果百%　專賣特許　淋病內服新藥　ネオトリコール　喘息新藥　小林藥學研究所

感冒にトランシン　頭痛にトランシン　齒痛にトランシン

虫下し　日本はマクニン　マクニン錠　マクニンゼリ　お子達には菓子

日本一のグリコ　名譽　グリコは一番よいお菓子だと商工大臣からおほめの銀カップを頂きました　一粒三百メートル

こばた　ニコチンを緩和し煙草の味を增す　健胃清腸、氣分朗らか　煙草店のみで賣る品

HOP　トンボ鉛筆　最高の質

美髮に輝く　フォンポマード　福井花香舍

ミクニ印　初冬!!　家庭常備の榮養飲料　專賣特製品　松下商店

漢文臺灣日日新報

滿洲國成滿洲問題盡解決
帝國承認聯盟只管承認
捨此別無妥協餘地

二十九日東京電。此次國際聯盟理事會開會以來。帝國政府。以滿洲問題之解決。不外於承認滿洲國之獨立。強硬態度。始終一貫。據外務當局所接情報。聯盟大國。目帝國代表之態度。爲日本政府。今後或作妥協解決案。務使本邦有利之策略。日本必折而合之。觀之問題移諸總會之事。及二十五日理事會。黎議長之演說。皆明。我外務當局。將其皮相見解笑殺。更將帝國態度。明示如左。

一、滿洲國獨立。於東洋平和。爲不可缺。帝國信念既切。松岡代表所論。即所以表明之者。

一、滿洲國成立。所謂滿洲問題解決。聯盟再不須論議。帝國政府。使聯盟認滿洲國獨立。及帝國正式承認而外。全無應何妥協案之餘地。

松岡代表聲明保留 聯盟見解相左

二十八日壽府電。松岡代表。於二十八日理事會。將日華紛爭。移諸總會之事保留。聯盟當局指摘如左。

日本代表保留。不能有效。何則。日本保留聲明中。確認松岡代表前回所說。松岡代表。照聯盟規約第十五條三項。總會審議報告書。不反對。當然要承認十五條全體。何則。照同條三項。解決或不得總會自行適用四項。得以干涉。

我代表部。見解如左。

照規約第十五條。總會審議。法理所認不得。照同條第三項。處理事件。實由照第十一條。理事會審議。勢必同樣經過。故不拘泥形式。不之反對總會出席。然聯盟則以日本既照第十五條三項承諾出席。再不得反對第四項之適用。若今後總會移諸第四項。日本與聯盟。意見大相左矣。

中外要電

日華紛爭附議總會

壽府消息。去二十八日午前十一時十四分。開理事會。除松岡全權棄權外。決定將日華紛爭事件。移諸總會審議。十一時二十四分散會云。

我代表期趣旨貫徹

壽府本邦代表部與參與。去二十七日午前十時半。熟議東京回訓。及總會對策。而於總會議事進行方法。法理有種種疑義。然以解釋特別總會。至九月通常總會消滅。十九國會議。亦隨消滅爲正。本邦以審議盡爲眼目。諸造總會。確言保留。只關實質問題。十分貫徹趣旨。決議三事。以期說服小國。三事如左。

一、報告書。亦不以日本行動爲侵略。

二、觀日滿關係將來。彼等杞憂。自然消滅。

三、東亞平和保持上。本邦方針。今於聯盟規約具精神。

反對開國際政治會

東京消息。聯盟事務局。有總會後。作日華紛爭。附託國際政治會議審議之案。去二十八日。外務省既接情報。此照九國條約欲來入美俄兩國之形勢。帝國政府。斷然反對。方待我代表部請訓。

一、滿洲國。爲九國條約適用範圍外之第三國。況帝國行動。不違該條約之事已明。再無開九國條約關係國會議之理由。

一、滿洲國所關國際會議。限於滿洲國求同之時。

一、帝國所得容認之國際會議。只照李頓報告書第九章第十原則。擁護中國中央政權確立之國際協力會議。滿洲問題不論如何國際會議。皆反對。

而聯盟如藉美俄之力。強壓日本。日本當局。唯有重大決意。方表示強硬態度云。

民政東海十一州會

名古屋消息。民政黨東海十一州大會。迎若槻總裁。松田。小川。中島。木部特派員。去二十八日午後一時。開於名古屋市公會堂。會場開會前。早已滿員。定刻開會。決議宣言後。三唱兩陛下萬歲。而後散會。

決　議

一、我黨鑑於非常時局。支持現內閣。期國難匡救實現。

一、防貨幣價値。急激動搖。通貨過度膨脹。

一、防濫水動搖。期其安定。

一、斷行財政。稅制。行政根本改革。以保歲計上收支均衡之方策。

一、除自由主義經濟機構所生弊害。期產業之國家統制。

內地贈答椪柑 定購指定商店 由農會發送

臺中州農會。訂來月一日於東京神戶。開設椪柑販賣斡旋出張所。本年度。配往內地方面。贈答用者。多向該所定購。從來辦理商人。殆陷于失業狀態。該會鑑此。將與林街柑橘同業組合外八商店。爲同所指定商人。凡諸定購。亦由東京及神戶斡旋所發送。其價格即改良箱。五十顆入。特等品一箱六圓五十錢。同二十顆入。二圓八十錢。此皆受內地檢查通過後。裝于箱內發送途中無腐敗之虞云。

番人授產 事務磋商會

督府警務局。往日開全島理番視學磋商會。以期番人敎化之刷新。玆爲更期徹底。自二十八日起。三日間。在督府會議室。開第一回州廳授產事務磋商會。第一日二十八日。午前十時開會。松本(臺北)、古川、長友(新竹)、稻留、中島(臺中)、野(臺南)、追立、三神(高雄)、福永、田中(臺東)森、德重(花蓮港)各技手。督府友部局長。石川理番課長。潮野屬。吉田兩督視。岩城。平澤兩技師外。係員等臨席。臺北帝大奧田敎授亦參列。然後首有友部局長訓示。就一、由番人諮問事項。就一、由番人授產現況視之。將來要施設改善事項。各州約三十分。答申意見。午後一時再開。入磋商事項。二十九日續行。三十日。擬見學各方面。

磋商事項

一、關於食用作物品種改良之件。

二、關於畜產振興之件。

三、關於自給肥料製造獎勵之件。

四、關於林業獎勵之件。

聯盟總會定六日召集

二十八日壽府電。聯盟總會。決定十二月六日召集云。

一日十九國委員會召集

二十八日壽府電。照日本代表部所料。「伊曼士」總會議長訂十一月三十日中。發武拉西爾。十二月一日。開十九國委員會。一旦歸國。收拾總選舉事宜後再臨總會。一方聞之聯盟方面。事務總長。決定以增限。不先召集十九國委員會直召集總會。日程似五日。總會議長。因五日總會召集不及。欲延之六日開會且以求之總長。總會召集。究爲六日。又事務總長。爲五日或六日。總會召集之事。報告十九國委員會。今週木曜(十二月一日)發定召集云。

總會六日午前十一時開會 委員會一日午前十一時開會

十八日壽府電。照二十八日國際聯盟發表。總會議長。特別總會。十二月六日午前十一時(臺灣時間午後六時)開會。發表招集。議題如左。

一、日華紛爭問題。

二、任命亞麥路氏爲事務總長之件。

又總會議長。亦爲十九國臨紛委員會議長。召集同委員會。十二月一日午前十一時開會云。

日本產業協會 功勞者表彰式 臺灣後宮坂本兩氏在內

二十九日東京電。日本產業協會。二十八日午後五時半。在華族會館。舉行產業貿易功勞者表彰式。伏見總裁宮殿下台臨。藤村會長。及齋藤首相。中島商相。後藤農相。永井拓相。其他會員百數十名出席。總裁宮殿下。對功勞者。一々親授表彰狀。並賜令旨。又本年度表彰者。六十七名。臺灣關係如左。

後宮信太郎(鑛業)

坂本素魯哉(金融業)

比賽角力 慰安北上艦員 運動會浪花節

高雄港碇泊中軍艦北上乘組員。去二十八日午前十時。在西子灣運動場。開慰安運動會。市當局有泉助役。及諸職員。出爲斡旋。有十數種競技。正午告畢。二十九日午前。續開運動會。又二十八日午後一時。有州廳主催之乘組員對州廳。築港角力比賽。入港當晚。市當局爲慰安乘組員。於艦內開演浪花節云。

鐵道部 線路檢查

鐵道部。自去二十一日以來。奧全線各保線區線路檢查。二十八日。午前九時起。與萬華驛附近檢查。堀田總長以下速水運轉。小山工務各課長。谷口上田兩技師外檢查官。技手數氏。往現場。至十一時西門町、萬華間線路檢查完了。

屏東飛行隊派遣 伊藤少尉踪跡不明 廿六日在哈爾賓交戰中

屏東飛行聯隊二中隊所屬伊藤豐少尉。去六月頃。派遣于滿洲活躍中。去二十六日。在哈爾賓附近交戰中。與其機體不明去向。至二十七日晚。聯隊本部有接到電報。同隊即時向該派遣部隊。發詳細照合之電。同少尉夫人現住屏東。膝下三歲及一歲二子。

極力應戰 燒却機體書類 一戰死一失踪

二十八日齊々哈爾電。二十八日午前十一時。〇〇司令部發表。伊藤少尉。及大飼軍曹。搭乘偵察機。偵探中。在七棵樹北方。二十六日。赴札蘭屯方面。機關故障著陸。受敵軍猛擊。二人由機關銃應戰。將機體。及重要書類燒却後。一名戰死。一名踪跡不明。而九月二十七日、板倉機。亦遭難于同方面。附近有張殿九之殘備軍吳泰明軍蟠踞其間。

本社贈呈 安慰品

增田屏東支局長。受本社社長之命。特訪問同少尉妻子。述安慰之辭。及贈呈以安慰品。同少尉。係生于福岡縣八女郡川內村。年二十九。卒業八女農業學校。十八歲志願現役。入太刀洗飛行第四聯隊。大正十三年八月。爲操縱學生。入所澤飛行學校。同十四年四月卒業。勤務于第八聯隊。同十五年十二月一日。爲無線學生。入下志津陸軍飛行學校。昭和二年五月卒業。昭和五年入陸軍士官學校。同六年卒業。七年二月。任少尉。爲愷秀青年將校。屏東本部植賀聯隊長以下頗爲惜也。

發動機船 遭難遇救續報

既報去二十六日午後五時半頃。基隆郡瑞芳庄金瓜石水南洞。離該海澳約三丁海上。有一遭難發動機船。被激浪漂流求救。船長金城德助以下乘組員二十五名。見船體盆瀕於危險。急降下小艇二隻。分乘船員。該小艇亦被激浪顚覆。各以決死力泳及陸上。幸得無事。嗣後調查遭難原因。去二十五日午前十一時頃。爲出漁撈於基隆彭佳嶼。至是夜八時頃。機關部故障。翌二十六日午前二時頃。所拋投之錨索再被大浪捲斷。失自由航行。任浪漂流。又該船係基隆市社寮島岡崎桑太郎所有之發動機金裕丸。二十五馬力(十五噸)遭難。一時滯在水南洞金道組及苦力頭許金財宅。九時頃。船長森山敬次氏護。至去二十七日。午前由金瓜石鑛山永田醫師加來庄。該地池田部長立會之下。該難破船。交其保管。又遭難船長以下二十五名。被加護中。亦同時解散之云。

拓務功勞者 高州推薦七名

拓務省。今回調查移植民及海外拓殖事業功勞者。經照合于高雄州。州當局委爲即調查。開已決定推薦諸氏。即荒井泰治。古賀三千人。杉本音吉。大坪與一。中村一造。平山寅次郎。阿久澤直哉等氏云。

臺銀彰化支店 出北陳情請設

彰化實業協會長近藤專之助。同副會長呂世明。嘉慶。巫金田諸氏。爲請願臺銀支店。設置于彰化街。去二十八日。搭夜行車赴臺北。二十九日午前中。訪督府金融課及臺銀本店。懇請早設置支店云。

南投郡體育會 軟式野球難決勝負 不再延期從此作罷

南投郡體育會軟式野球戰。一二三次戰後。雖分勝負已誌前報。後延于二十六二十七兩日再戰。豈知勝負又未決。擬不再接戰。從此作罷。最後之戰況如左。二十六日午後二時。南崗資業兩團。對陣於明聰運動場。南崗先攻。資業應戰。二小時。資業勇北。二十七日午前十時。開於公園運動場。由明聰團與南崗團角勝。俱各奮勇。明聰先攻。南崗應之。至下午一時。以十五對六。歸明聰得勝。午後二時明聰與資業之戰再開。至九回戰。尙以六對五。只差一點。後因資業團之小野打手。出場加之投手。又發揮其一擊之敏腕。一氣得二點。四時戰終。五對七。歸明聰敗北。因一敗一勝。輪贏又未分。是以體協杯。擬保存於體育會。待明年度再行比賽云。

直取制限及貨主 肥料麴兩組合承服 酒醬中貨主不服

既報商、郵、山下、辰馬四社。發表直取制限噸數改訂。于基隆運送業者一邊。雖有不滿足。而始爲解決。希望于將來。一時妥協。度如何。辦五千噸以上貨物之大貨主。固無不滿。唯辦二十五噸以下貨物之中貨主。以爲與當初改定者。利害關係不變。依然不承服。即對起水費之改正。直取噸數之加增。自初猛烈反對之肥料輸移入同業組合。與麥麴雜穀同業組合。其辦貨甚巨。概爲二十五噸以上。或五十噸以上之大宗貨。故直取制限五十噸以上。而多數料一噸徵收十錢。最初之改定。甚覺苦痛。然此次之改定。五十噸以上爲無料。二十五噸以上至五十噸。每噸五錢。二十五噸未滿之除外品(火藥其他危險品、卵其他)。一噸徵收十錢。因兩肥料或麥麴雜穀。于五十噸以下二千五噸以上無料。即每噸只納五錢手數料。即不出二圓五十錢之計算。視最初之五十噸以上無制限取手數料。異常緩和。唯肥料麥麴兩組合所希望直取單位二十噸。而四船會社。以二十五噸爲單位者。爲致重于專屬之主張。就此不無煩言。然二十五噸以上。每噸手數料五錢。若使專屬直取時。則不負擔。次中貨主即麥酒販賣會社。及龜甲萬販賣會社。並有關係問屋。對直取單位。希望改定十噸以上。又改定後。起水費負擔。于實際上不增加爲條件。對船會社進行交涉。第依此次之改訂。直取單位二十五噸。二十五噸以下。于除外品外。不能直取。而北從來四噸以上直取時。起水實費。尤加負擔。則絕對不能承服。若無忌憚言之。者番之改訂。乃尊重專屬立場。而無視中貨主。然以有貨主乃有船會社。而致重于專屬。殊至遺憾。又直取無關係之小貨主。非從來起水費率尤減。故此次之改訂。因無煩言。結局中貨主。殊如麥酒醬油有關係之貨主。近日會合。就改訂不承服將情迴告船會社。交涉緩和法。而肥料麥麴兩組合對此改訂承認。終不爲會合云。

魚生丸遭難 船員全部 受照南丸救助

總督府水產試驗船照南丸。南洋漁業調査完了。現正歸航。據二十八日。總督府接到入電。同船二十六日正午。在斯加譲待利夫海上航行中。發見利夫(暗礁)北邊。有漁船擱坐遭難。乃爲救助作業。至午後六時。乘組員十五名。全部收容。船體遺棄。該船査明爲高雄之魚生丸船主廣崎正太郎氏云。

臺南長老敎中學 三年生同盟罷學 廿八日開父兄大會

臺南長老敎中學校三年生四十餘名。去二十三日。私川新嘗祭日。三々五々外出。各自歸鄉。企圖同盟罷學。據目內容。因素對某敎諭。有不滿者。會日前作文時。突然爆發。其中有竹山郡竹山庄竹山三々三陳東氏長男捷欽。亦于二十三日歸宅。其後由同校長兩次寄信于陳東氏。以二十八日午後三時半。將開父兄大會。通知必爲出席。陳氏于是日早晨。卒于急赴云。

鳳山公運動會

鳳山公學校。去二十七日午前八時半起。在該校々庭。依左記順序。開兒童運動會。當日有五十七種競技。午後四時盛況裡閉會。

舊合春製米工場 險被村漢騙去粟金 幸及早追回送東石郡取調

東石郡朴子街朴子舊合春製米工場。日昨突來一村人。自稱郡下太保庄崙子頂人郎理。年近四十一二。欲糴現粟。雙方商司。約定實渡現粟一萬五千斤。價每千斤金四十一圓五十錢。約某日在崙子頂交粟。該米工場。乃先交付以定金五十圓。俄頃適該工場。有崙子頂人來。即向之調查郎理狀況。始知該庄並無其人。疑被所詐。急派員追究。至鹽水港道路途中。幸被追回。再問其住所氏名。竟指民爲島。詐稱嘉義人。後稱嘉中人。乃令諸郡上刊事到現急。將其人拘引入司法係守問。[illegible]

竹南庄長會議

竹南郡役所。月二十八日上午九時起。開庄長會議。矢野郡守訓示後。提示產業五箇年計書案。併並行方法兩項。畢議指示事項並傳達注意事項。至正午告終。下午一時。各赴頭分庄。視察農事實行組合解散。

嘉義市內 年末大賣 自一日開始

嘉義商業協會。及嘉義商工會。每年開催年末大賣出。日前各集合磋商。決議本年。仍依例開催。商業協會抽籤等二十六萬枚。景品總額五千圓。當籤二萬五百二十本。一等百圓十本。二等二十圓三十本。三等五圓八十本。四等一圓四百本。五等二十錢二千本。六等十錢二萬二千本。每購買一圓。贈呈抽籤券一枚。自十二月一日。開始大賣。五日起抽籤。商工會抽籤券三十五萬枚。景品總額八千五百圓。當籤四萬八千六百三十五本。一等百圓十五本。一等二十圓二十本。三等五圓百本。四等一圓五百本。五等五十錢二千本。六等十錢四萬六千本。每購買五十錢。贈呈一枚。自十二月一日。開始大賣。十日起抽籤云。

新騙術 共犯八名送局

臺北州七星郡北投庄九十九番地。無職許淵。年二十一。同庄七百二十二番地雜貨商陳金水。年四十二。同庄七百十二番地。地腳木家黃木樹。年三十四。同庄七百零九番地理髮業雷貫。年四十九。同雷之情婦之子陳根枝。年二十二。臺北市古亭町百七十七番地無職久保焚。年四十三。北投庄十八分四百零九番地保正高木根。年五十。臺北市大正町一丁目二十三番地高山武政。年四十二。八名共謀。翻新騙術。騙取一萬五千餘圓。距今十數日前。由北署刑事之手檢舉。繼在山野警部補。鄭通譯係之手取調。犯罪已明。乃于二十八日。合關係書類。八名共送於檢察局。即首謀者許淵。値此不景氣。圖一攫千金。乃與共犯者相謀。以雷之情婦之子陳根枝。年二十二。假爲富豪。昭和五年七月。稱欲在北投庄北投上乃湯附近二甲步餘土地。建築別莊。以一萬五千圓地價買入。先附定金二千圓。作成買賣契約。然後再以田保。假爲富豪。於同年二月。對臺北市入船町一丁目陶器商李清雲外一二。示以前記陳根枝之買契約書。僞言。陳根枝所買之土地。內地人田久保。欲以二萬圓之價。購入建築別莊。但陳之土地。吾等若向之運動。僅一萬五千五百圓。可得其售出。此間可獲益四五千圓。此李騙取定金三千圓。此外同樣手段。騙取數件。額達一萬五千餘圓云。

請修鹿內間保甲道路

嘉義郡竹崎庄鹿麻產內埔子間之保甲道路。因前頃嘉義市水道鐵管埋換。破壞一帶道路。目下交通上十分不便。二十八日鹿麻產保正劉虹氏。外六十名連署對嘉義郡。提出陳情書。懇請復舊修繕云。

市內日新町 發生腦炎

臺北市日新町二丁目九番地蘇氏彩琴。年十五。數日前發熱。去二十八日。在赤十字病院。診察結果。判明爲腦脊髓膜炎。立爲隔離於稻江醫院。北署接報。急對附近一帶。乘戶別調查。並保菌調查云。

嬰兒壓死

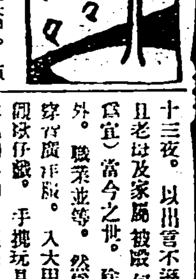
臺北市綠町二丁目百二十一番地謝氏彩雲。一歲。因其母病弱。乃以月五圓之養育料。寄在同町二丁目八十五番地簡呂氏重。(年二十五)之處養育。去二十七日午前四時。乳母起床。造炊變完畢。再歸房時。竟被棉被壓死。

基郡篤農家 視察團本日發

基隆郡主催之農業視察團。對七庄內之篤農家。由各庄役場選拔十五名。訂來三十日出發。其視察日程並豫定如下。▲三十日午前九時五十四分着桃園。視察大園庄之業佃事業實況。▲中壢郡平鎮庄之優良小作人范德逵氏之農業經營並愛佃施設。▲苗栗街業佃會事業施設狀況。▲新竹郡湖口庄模範業主柯支家氏之愛佃施設等。歸途按來十二月三日午後二時四十三分之列車。開者番視察。所各受庄當局補助若干之費用云。

祝柳營園優勝 開宴及演戲等

既報去二十二日新營郡壯丁團檢閱。得最優勝之柳營團。由劉庄長。及陳保甲聯合會長首倡。去二十八日午後六時半起。一同紀念撮影後。在役場會議室。招待臧原警察課長。金子內勤主任。佐藤分台長。岩本採點官。在鄉軍人保安係主任。其他官民有志二百餘名。盛開祝賀及慰勞會。又演唱梨園。以爲餘興。宴會由庄長劉明智氏。起爲敍禮。警察課長述希望。畢壯丁團長向金德氏謝辭。宴開盡歡至鐘鳴八下散會。



共君店內所用之店員某甲。恒作不正之事。即內通外盜。私誅服貨。奴狀主。(貪無久也。)(一日警者)王誘勞之金君。一十三夜。以出言不遜被捕。而且老母及家屬被毆。何也。(守法爲宜)當今之世。除却寶春而外。職業並等。然爲理髮匠者。穿窬廣祚版。入大甲風舞案。閒談仔戲。手攜玩具銃亂發。作品狗孖蚵。莫怪羞剸公憤。險被人打做肉餅。(太無狀)王孫雄想々王孫爾之誤植歟。(疑思問)該如所云(吞萬華吟友)

新竹

保甲會議

新竹市保甲會議。去二十六日由新竹警察署長於隈河氏勸監督列席。開于警察署樓上。是日議決事項。即根絕市內徘徊之乞丐。併貧窮者救濟。保甲書記採用。鴉片小賣營業。移關於保甲辦理。保甲事務所新築所關諸事。終由署長及外勤監督先後訓示。散會。

健康診察

新竹警察署。月二十八及二十九兩日。委囑池田州警察醫。在警察署樓內。召集飲食店營業人並被傭人。旅館接客業者旗亭料理人等。執行健康診察。

被拘辭職

新竹郡香山庄牛埔揚某。年來勤務於州衞生課附屬之採菌試驗室爲雇員。本年春初。藥種商免許試驗之時。曾受竹南揚本。附呈金項。代爲運動。被當局發覺。拘留數天。揚某自覺決。乃請准辭職。

取締乘車

新竹警察署。月二十九夜起。特出派巡查在市街上守路。嚴重取締無點燈自轉車云。

敎育研究

新竹女公(四年)之算術教育研究會。來二十九日上午八時。由林主宰訓導擔當實地教授。開會。次有質疑應答。終開批評及研修發表會。最後由女公校長講評。

耕犁競技

竹南郡農事組合主催。訂臘月一日上午九時。在郡下頭分庄田寮。開各聯合組耕犁競技會。又苗栗郡街庄聯合主催。亦定來二日。在郡下銅鑼。開深耕犁競技會。

街庄長會

竹南郡。訂二十八日。開庄長會議。是日內海知事並石渡州技師。擬欲列席。又竹東郡亦訂同日在竹東公會堂。召集各庄長。由郡內務部長。輪湖州技師列席。照達各施設磋商會。以外中壢郡街庄長會。亦訂來二十九日午前九時半。由知事參列。開於中壢街。是日附議事項。爲關于產業五箇年案之實施綱目。

北港

視察團來

臺南第二高等女學校第二學年生徒九十三名。由同校教師三名引率。去二十六日。乘午前十時三十三分發列車來港。由當郡視學及女子公學校長街職員前導。赴各處視察畢。午後零時四十分回南。

畜牛去勢

郡當局依臺南州產牛改良事業趣旨。訂左記日程。對管內施行畜牛去勢。十二月五日。四湖派出所。同月六日牛桃灣派出所。同月七日。水林派出所。同月八日土厝派出所。同月九日。好收派出所。同月十日。新街派出所。同月十一日。元長派出所。同月十二日。鹿寮派出所。同十三日。客子厝派出所。

高雄

撞傷幼女

高雄市北栄自動車會社運轉手加來數雄。去二十六日午後六時五十分頃。運轉來合自動車。駛至新濱町一丁目街路之際。撞倒在附近遊戲中之同町一丁目松村治男之二女須美子(年九)。全身負治療要二週間之擦過傷云。

祝賀壓飲

既報高雄第一公學校長荻本滿重氏。榮陞視學會。於去二十六日午後六時起。開於旗後町福漿樓々上。出席者爲小林市尹。泉助役。李栄生。同校職員。同校兒童父兄等。有百五十餘名。首由發起人陳光深氏。述開會辭。後荻本氏謝辭。小林市尹講話。後移祝宴。至八時半盛會裡散會。

會事

▲淡水施合發會社常務取締役盧阿山氏。二十九日午後五時。在該地公會堂。招待一般官民。開就任州協議會員披露會。

▲宜蘭街敎化聯合會。(乘者番)招自中央之大阪常年會主幹江原亮功氏。不日來宜。依左開方法。開講演會。歡迎一般往聽。一、日時。十一月三十日午後七時。二、場所。新公會堂。三、講師。江原亮功氏。四、演題。西部亞細亞之問題及混亂之西部亞細亞。

▲嘉義郡下保甲道路及路旁樹品評會。其審查業已完結。訂來三十日午前一時。在郡役所會議室。舉褒賞授與式。

人事

▲臺北大稻埕機械發明家郭和銅氏。多年在花蓮港經營。近由花蓮歸北。將再從事于製造土壟脫殼機云。

▲南投街黃水氏令任換堂氏。年二十二。夙留學南京。此次選擬撮合。與草屯庄技師氏之女波瑟。年十九。彰化高女出身者結婚。訂來十二月二日迎娶。

▲元本漢文部同事陳江浦君。此回引受雜誌(海外)爲編輯主幹。場所設在臺北市內下奎府町一丁目云。

(原籍配達)　(明治卅一年五月九日第三種郵便物認可)

臺灣日日新報

本日夕刊共十二頁

發行兼編輯人　前野昌右
發行所　臺北市榮町　臺灣日日新報社

本紙定價　一部五錢・一ヶ月前金壹圓參拾五錢・三ヶ月同參圓八拾錢・六ヶ月同七圓五拾錢・一ヶ年同拾四圓五拾錢、日本國內及支那地方送料不要
廣告料　普通一行十五字詰　八十錢　時別欄一行同　壹圓貳拾錢　記事欄內一行同　參圓五拾錢
振替口座臺灣二〇番　私書函臺北三番
電話　代表番號　三八〇〇　編輯用　三八〇四　三八〇五　廣告用　三八〇三　運動部　四八三　電信略號(タヒ)

◇榮町聯合抽籤福引景品附歲暮大賣出し

▼十二月一日より三十一日まで(御買上高金一圓毎に抽籤券又は福引券をお好みの方を一枚宛進呈致します)

◎大當壹千圓の抽籤券を始め即時引換福引券

▼十二月一日より五日間は

●円獨特最新柄發表會

◆錦紗小紋◆散步著◆訪問服◆鹽瀨丸帯◆陳列會

年末の奉仕品

モス著尺地	一反	二、五〇
本場銘仙	一反	二、八〇
本甲斐絹裏	一反	三、五〇
羽二重友仙裏	一枚	一、七〇
羽二重	一枚	二、五〇より
赤紋羽二重	一丈五尺	二、七〇
黒朱子帯	一本	三、三〇
白絹	二丈モノ	二、三〇
紅絹	二丈モノ	二、五〇
錦紗疋田友仙長襦袢用	一反	五、八〇
錦紗古濱小紋	一反	一九、〇〇
特製足袋	白キャラコ三足 黒朱子二足 各	一、〇〇
化粧石鹸	半打	一、五〇

(奉仕品には景品券はありません)

本場大島紬宣傳陳列會——製造行程寫眞實物標本陳列——奄美大島の染色と技巧を誇る本場大島紬

期日　十二月一日より五日間

會場　近江屋吳服店階上

主催　奄美大島紬物產宣傳協會

臺北市榮町二丁目　電話二一四九番

円 近江屋吳服店

福引景品附　即時引換空籤なし　西門市場・新起會　聯合歲暮大賣出し

西門市場　新起會

賣出期間　十二月一日より三十一日まで

壹等以下各等全部

◎空籤なし

▲現金御買上高金一圓毎に福引景品券一枚宛進呈致します

●景品引換場所　西門町市場南門外

◎引換期間　賣出期間中(以後無效)

西門市場、新起會聯合歲暮賣出會

圓

●十二月一日より三十一日まで(御買上金二圓毎に榮町聯合福引券又は抽籤券一枚宛進呈)

榮町聯合大景品附歲暮大賣出し

時價の半額品提供◇福引と抽籤◇奉仕品提供

▲▲▲十二月一日より五日間▲▲▲

‖三ツ巴三重奉仕大賣出し‖

特提品

一日	晒木綿	一反 四八が	二十四錢
	キヌモス八掛	一枚 八〇が	四十錢
二日	白ネル	一丈物八〇が	四十錢
	松井節約石鹸	六ケ入二五が	十三錢
三日	白ナイスモス	一反 八八が	四十四錢
	白キャラコ足袋	一足 一〇が	五錢
四日	松井奉仕石鹸	六ケ入一五が	八錢
	特製金巾裏地	御一反 一、三〇が	六十五錢
五日	晒木綿上等	一反 五八が	二十九錢
	本瓦斯新耳裏地	御一、八〇が	九十錢

朝―晝―晚三回に出します(御一人一品限り)

▲▲時ぞ來れり、歲末賣出し!

本月は俗に御歲暮と稱し年中御ヒイキを賜る御得意樣へ感謝と實意而して適品を附呈すべき報恩の時であります何ぞや利害問題でありません如何にして其意志表示をなすべきやと日夜苦心の結果先づ最初五日間は三重奉仕即ち景品と……奉仕品にその上時價の半額品提供をなし此れ等三ツ巴と成り未曾有の催しと成りました、これは第一回の序幕でこれから又又四重―五重と奉仕して七重の膝を八重にしても皆樣の松井は斷然他の追隨を許さぬ商店とする事を御約束して置きます何卒御來店多少に不拘御用命を切に御願申上ます

奉仕品

モス八掛	一枚分	七十錢
白絹胴裏	上等二丈物	一圓十錢
赤紋羽二重	半反物	一圓六十錢
モス著尺地	一反	二圓二十錢
御召銘仙模樣	一反	三圓八十錢
パリス散步服	一反	八圓五十錢
人絹羽織裏	一枚分	六十錢
紅絹胴裏	上等二丈物	一圓十八錢
友仙羽二重	半反物	一圓九十錢
モス著尺地新柄	一反	二圓八十錢
正絹錦紗著尺	一反	三圓七十錢
其他德用きれ……		

松井吳服店

臺北市榮町・京町　電話四一二・二一四五番

本町聯合歲暮大賣出し

◎賣出期間　自昭和七年十二月一日　至昭和七年十二月三十一日　景品引換期間　賣出中(以後無效)

▶景品目錄◀

壹等	簞笥、洋簞笥、自轉車、蓄音機、夜具、トランク、應接室セット	參拾本
貳等	鏡臺、簞笥、本箱、書棚、片袖机、桐丸火鉢、宣德火鉢、羽布團、座布團五枚組	六拾本
參等	丸テーブル、唐机、トランク、本箱、鏡臺、籐乳母車、ツリ乳母車、眞綿布團、毛布、薄端、子供自動車、桐火鉢、化粧セット、掛時計、座布團五枚一組	百貳拾本
四等	新聞ハサミ、柳行李、衣桁、洋傘、籐椅子、銘仙、柳カバン、鏡臺、丸金醬油一斗入、毛布、シャツ上下、桐莨盆、ヌリ重箱、化粧セット、電氣スタンド、子供三輪車、經濟カマド、柱掛時計	貳百拾本

外五等より拾等迄　三萬九千六百本

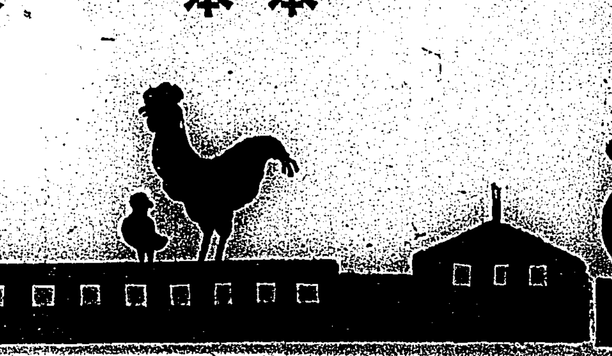
以下等外　貳拾五萬九千九百八拾本

即時引換福引景品付
總當り一本も空籤なし

●現金御買上高壹圓毎に
福引券一枚宛進呈

●景品引換場所
本町三丁目樂天地前

臺北市
本町聯合賣出會



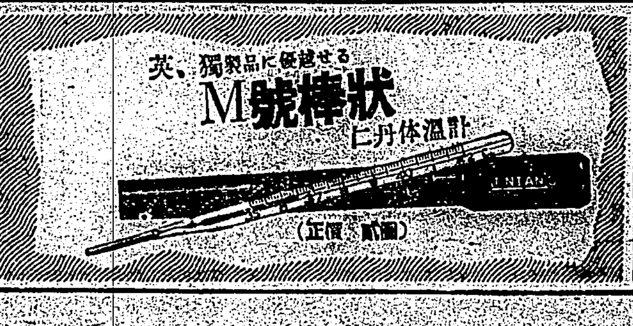
商業登記公告

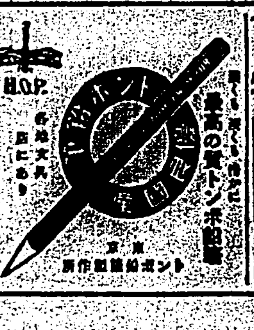
●ライジングサン石油株式會社(支店設置)(支店)昭和七年拾壹月八日東京市麹町區有樂町壹丁目拾番地三信ビルディング內、大阪市北區中之島參丁目參番地朝日ビルディング內ニ支店ヲ設置ス
右昭和七年拾壹月貳拾六日登記　臺北地方法院

●日本拓興株式會社(變更)取締役提滿資八昭和七年拾壹月拾八日辭任ス
右昭和七年拾壹月貳拾八日登記　臺北地方法院基隆出張所

●株式會社彰化銀行變更(支店)昭和七年拾壹月壹日彰化支店所在地ヲ左ノ如ク改稱ス、彰化郡彰化街彰化字北門參四六番地
右昭和七年拾壹月貳拾八日登記　臺北地方法院彰化出張所

●合資會社(設立)●商號、合資會社心記商行●本店、新竹市新竹字北門參八番地●目的、一、砂糖、米、油其ノ他ノ物品販賣二、土地ノ賣買並ニ家屋ノ賃貸借三、物品ノ委託販賣四、前各項ニ附帶スル事業ノ外必要ト認メタル業務●設立ノ年月日、昭和七年拾壹月拾七日●社員ノ氏名住所出資ノ種類價格及責任、新竹市榕子百九番地金八千圓無限責任心潜同所同番地參千圓有限責任陳氏鳥柄同所同番地同會根永同所同番地同會煥昭●代表社員ノ氏名、會心潜●存立時期、設立ノ日ヨリ滿貳拾箇年
右昭和七年拾壹月貳拾八日登記　臺北地方法院新竹支部





電話開通
販賣課直通
二、〇四四番
臺灣日日新報社

大阪商船基隆支店
門司神戸行
蓬萊丸　十一月卅日後四時發
扶桑丸　十二月五日後四時發
蓬萊丸　十二月九日後四時發

近海郵船基隆出張所
門司神戸行
朝日丸　十二月二日後四時發
大和丸　十二月七日後四時發
吉野丸　十二月十二日後四時發

大連汽船基隆出張所
大連直行
山東丸　十二月二日後五時發
代理店　丸一組　電話八二・八九九

臺灣發明協會に活を入れよ
まさに現下時勢の一大要求

一

財團法人臺灣發明協會は、大正三年下村民政長官時代の設置に係るもので、便宜上中央研究所の前身たる研究所内に其の事務所を置き、初代理事長は當時の研究所長高木友枝君であつた。同會の目的は臺灣に於ける發明及び發見の奬勵に在つて此の目的を達成する爲めに之に要す資金又は物品の貸付又は賞與をなす外、特許權、意匠權及び實用新案權の取得及び利用等を爲し、五百圓の基金を以て生れ出たものである。次で大正十年今の中央研究所の組織成るに及んで理事長は歴代長官を以て之に充て、今日では平塚長官が理事長で其の下に理事として殖田殖産局長、田端專賣局長、大島、加福、服部の三技師、高原、中井、庶務課長、監事として小濱内務局長が之に當り、中研庶務課長は專務理事の役目を取つて居る。

二

即ち臺灣發明協會が設置されて以來、已に二十年に垂々として居るが、此の間に於ける同協會の業績を見るに、中研關係の人々の取得した專賣特許四十件、實用新案三件、計四十三件であるが、其の内其の發明が資本家の手に收受されて實施されつゝあるもの僅かに十一件に過ぎず、而もその五件は蓮草に關するものであるから、種類別から言へば僅かに四件に過ぎない、のみならず折角有益な發明を爲し特許權を得たにも拘はらず實施者が現はれ出でずして滿期となり、苦心の結晶も茲にうたかたの泡と消え去つて放棄するの止むなきに至つたもの實に十七件もあり、全く實の持ち腐れとなつたことは惜しみても餘りあることである。此の外官に民間人士にして特許を得たもの過去三年間に五十七件、實用新案二百餘件にも達して居るが、此の内果して實施されつゝあるもの幾何ありやも不明なる狀態である。實に遺憾至極と言はねばならない。

三

内地に於て此の種事業を盛大に行つて居るものに帝國發明協會がある。同協會は明治三十七年時の清浦農相、久米特許局長等の主唱にて工業所有權保護協會なる名に於て創立せられ、同四十三年に今の名前に變更されて今日に至つたもので目下全國に亙つて三千三百餘の會員を有し一年の收支共に約八十萬圓に達して居る、其の事業としては發明表彰、發明考案の懸賞募集、特許權に關する爭議の仲裁、發明家と資本家との連絡、問題會開催事業、特許品陳列館の設置、關係法規改正の運動等を爲す外年五萬餘圓の經常費を以て研究所を經營し、各種發明に關する中間試驗の爲めに應じ或は發明考案の見本又は模型の製作等を爲し、國家發明發見の奬勵と其の事業化に就いて既に多大の貢獻を爲し且つ爲しつゝあるのである。

四

更に輓近寒柴、國防及び工藝上の目的を以て有益なる發明發見の出現を鞭韃促進するの機運を醸成し我が國家界の劃期的施設として商工大臣を會長とする發明獎勵委員會が最近設置せられ、去月二十六日其の第一回總會が盛大に擧行され、其の席上中島商相は發明工業化の必要を力説した。越えて去る十一月七日には發明奬勵同盟主催、帝國發明協會其の他後援の下に發明振興大講演會が開催せられ荒木陸相も之に出席して一場の獅子吼を爲し發明愛國を高調するところがあつた。即ち我が國が今日其の國際的竝びに國内的の關係に於て產業の振興と國防の充實等の上に極めて力強き發明發見を要望すること誠に熾烈なるものあることが明白となつて來たのである。斯る際に於て我が臺灣の殆んど睡眠狀態に在る唯一の臺灣發明協會を擲して決如として居ることは斷然出來ない筈である。

五

同協會理事長たる平塚長官は是等の大勢に鑑み、近く上京する以前に同會理事會を招集し同會の事業に活を入るるの計畫を樹立し大に普及するところあらうといふ、遲れ馳せとは申しながら誠に寢宜に適した措置と言ふべきであらう之に就ては專務理事の役目に在る高原君の如き、就任以來多大の熱意を以て同協會の事業の刷新振興の案を立てつゝあることとて大に心強い感がする。同協會事業の刷新と振興とは第一に懸かつて基金の充實に在る事は論なきところで、帝國發明協會が年約八十萬圓の資金を動かして居るのに、臺灣發明協會にいまだ以て基金が依然たる五百圓であることが其の睡眠の一大原因である。民間事業家も是等の實情に目を開いて同協會の更生に援助を吝まざらんこと切望に堪へぬところである。

壽府は嵐の前の靜けさ
總會並に私的折衝に於ける紛爭處理の三つの聯盟私案
日本は何處までも排擊

【ゼネバ二十九日發聯合】日支問題は十二月六日總會開會まで嵐の前の小康狀態に入つた、前後五回に亙る理事會の討議に日本代表の強硬態度を持て餘し氣味の聯盟では今後の私的折衝並に總會の紛爭處理方針として大體左の如き三箇の私案を有してゐると確聞する

一、所謂十國區域案 九ケ國條約締約國にロシアを加へ九ケ國條約を基礎として解決する案

一、特別國際委員會案 (イ)十九ケ國委員會に米國を加へ新に國際的委員會を組織する (ロ)同委員會の決議機關で規約十五條第三項による和協手段を講ず

一、不承認原則再確認案 (イ)スチムソン原則に基き滿洲國承認反對決議案採擇 (ロ)一方支那側をして滿洲に於ける日本の權益を保障せしむ

以上三案のうち聯盟側では特に第二案に重點を置き紛爭解決を期してゐるが斯る案は第三國介入排擊の日本の容易に受諾し得ぬところである

議席問題で 我代表部要求 イ議長に

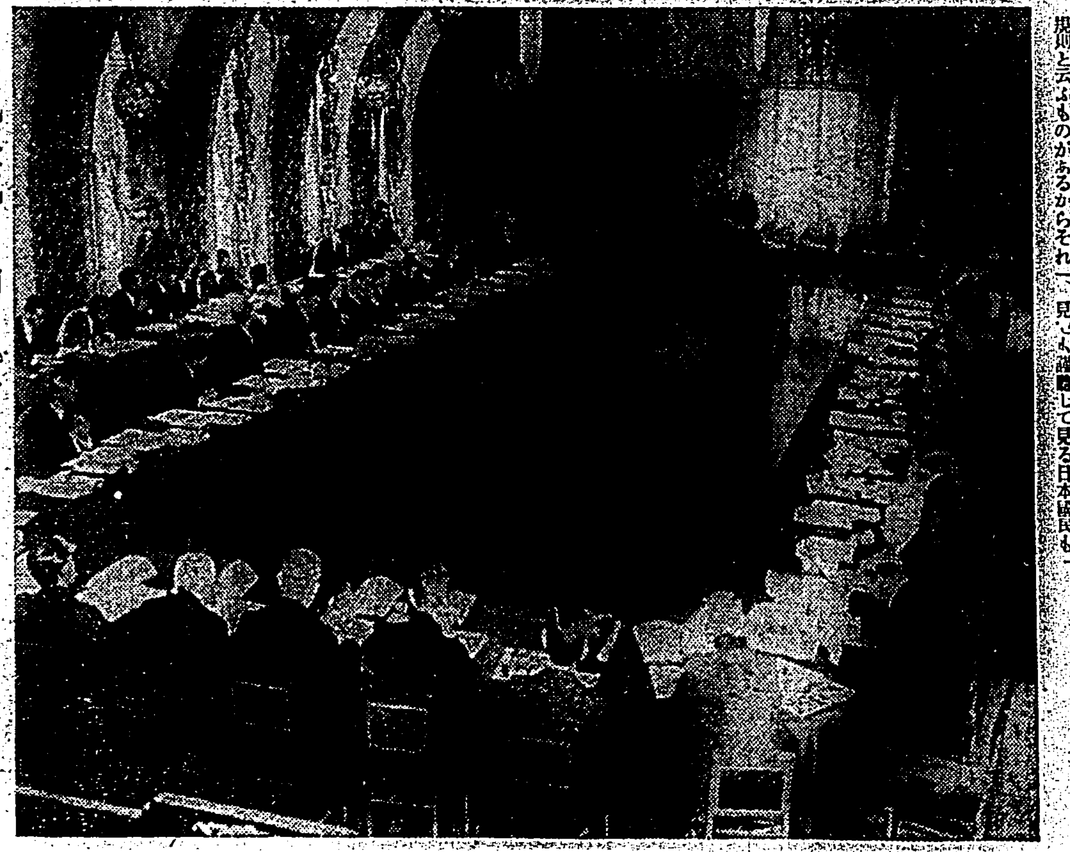
【東京二十九日發電通】二十九日朝外務省著電に依ると聯盟總會は六日開かれるが之より先一日には十九國委員會開催に決し松岡代表を正式出席せしむることとなつたが十九國委員會出席に關しては右委員會が日支を含まざるがため日本代表を特に末席に著け恰も法廷に於ける被告の如き待遇を與へ小國、前歐に下げさせようとする嫌ひあるに鑑み、帝國政府は特に松岡代表を出席せしむる以上斯かる措置は理事國たる日本の面目を損ずるの甚だしきものなるを以て然るべく重要地位を與へられたき旨イーマンス議長に嚴重要求してゐる

理事會は無軌道
國民も辛抱してくれ 松岡代表語る

【ゼネバ二十八日發電通】たった五分間の最後の理事會を引揚げた松岡代表はホテルで語る

理事會の經過は東京を立つ時の豫想通りだ、感想と云へば聯盟と云ふ所は道路を掃除してゐる勞働者にでも直ぐ解るやうな事が却々解らぬ所だ、理事會には規則と云ふものがあるからそれに從つて行くものと思つてゐた所マルで當外れの無軌道だ之はよい勉強になつたよ、何ひは之からだ、勿論總會に入つたからとて理事會に於ける既定方針に一路邁進する事には變りはない之からは意見百出しやうが最初は勸忍彼の緒を締めてどんな意見でも誠意して見る日本國民もじつと辛抱して貰ひたい、最後の肚が決つて居れば樂なものさ

尚松岡代表の總會までの豫定は國際記者俱樂部の講演と十二月四日の對歐洲放送だけで外人間の印象としては強くて明るい男と言ふ評に略定評が出來た模樣である



米穀統制初總會 米穀統制問題の根本策を樹立すべき齋藤首相を會長とする米穀統制調査會の初總會は二十四日午前十時より首相官邸に於て開催された（寫眞は會長齋藤首相の挨拶）

米露を加へた國際委員會
國府は反對を聲明

【南京二十九日發電通】米露を加へた十ケ國國際委員會設置案に對し國民政府は左の如く絶對反對を聲明した

國際委員會に滿洲問題の解決を依託するとの説はゼネバに於ける一種の觀測に過ぎぬと思ふ、之は支那の領土主權を無視し九國條約の精神に反するもので支那としては絶對反對である、聯盟が斯かる案を採擇するとは思はれぬ

總會と米國

【ワシントン二十八日發電通】リットン報告を審議すべき聯盟總會に對するアメリカ政府の態度は各方面から注視されて居るが代辨者は二十八日左の如く語つた

リットン報告書に對する態度を決定するのは聯盟の仕事でアメリカの知つた事ではない。アメリカは報告書の審議や討論には參加しない

然し聞する所によるにアメリカの態度はリットン報告書と關係なき限り日支兩國を和協せしむる委員會に代表を參加せしむるを妨げるものでないとされてゐる

財政調査會の設置説立消え
藏相、反對意向を表明

【東京二十九日發電通】二十九日午前十時開會前閣議首相は高橋藏相を總理大臣室に招致し將來の國家財政對策に付きその意見を聽取したる後、財政立直しに就て財政調査會の如き機關を設置しては如何との説が二、三閣僚中にあるやうであるが藏相の意見はどうかと質したるに對し高橋藏相は

來年度の豫算後算に對し不安を感ずるは尤であるが自分は確信を持つてゐる經濟界の現狀も漸次立直りつつあり、この狀態で推移すれば國家の歳入も增し增收も實現出來る譯で一般の憂慮する程の事はない、財政立直しに就ても方策を持つてゐるから今急に財政調査會の如き機關を設くる必要を認めないと右設置反對の意向を表明したので財政調査會設置問題は遂に立消えとなつた

大國と小國間の交渉如何が
局面展開の鍵 外務省成行を靜觀

【東京二十九日發電通】滿洲問題解決に困惑せる聯盟は問題を理事會より總會に移牒したが聯盟の魂膽は總會又は十九國委員會で小國の急進論に强壓を試むれば日本も態度を緩和すると見込み、總會又は十九國委員會と並行して行はるべき私的折衝に依り妥協點を見出さんとすること觀者である、之に對し外務當局は

日本としては意見書以上に讓歩し得ざるため問題は大國が小國を如何に押へ日本の主張に歩寄らしむるかにあり今後聯盟内部の大國側及び小國側間の斡旋的交渉如何こそ局面を展開する鍵なりとして暫らくは之を對岸の火災視する態度を示してゐる

松岡代表から 謝電 鈴木總裁に

【東京二十九日發電通】ゼネバで活躍中の松岡洋右氏は鈴木政友會總裁の激勵電に對し二十九日左の謝電を寄せた

御懇電深謝す同志奮闘等の驥尾に附し唯微力を致さんことを期す

非常時豫算につき 聖上御聽取
卅日藏相を召されて

【東京二十九日發電通】天皇陛下には八年度豫算が非常に尨大せることに對し御軫念あらせられ、且つ非常時に於ける財政經濟に付き痛く大御心をかけさせられてゐたが、三十日午後一時半宮中に高橋藏相を召され財政經濟に就て藏相の申上ぐる御説明を聞し召さるることとなつた

侍從武官を滿洲に御差遣
將兵を御慰問の思召

【東京二十九日發電通】在滿將士御慰問の思召を以て畏き邊りより御差遣の町尻侍從武官は二十九日午後九時四十五分東京驛發新京に向つた、新京で軍司令部に御下賜の御酒、煙草、煙草入を傳達した後各地を巡視し將士を慰問し來年一月上旬歸京陛下に復命し奉る豫定である

刑事補償法 本島にも施行
拓務、司法兩省で合議中

【東京二十九日發電通】拓務省では朝鮮、臺灣に内地同樣刑事補償法を施行することに決定した、その形式は朝鮮は制令、臺灣は勅令に依る意向なるがこの程成案を得目下司法省と合議中で承認を得次第に法制局に廻付する筈

山本法務課長 東京出發 卅日神戸出帆

【東京支局二十九日發特電】山本

樺太のアイヌにも戸籍法施行
近く法制局に廻付

【東京二十九日發電通】拓務省は樺太に於けるアイヌにも戸籍法を施行し、兵役の義務にも服させたいとの見地から右に關する法令關係の調査研究を重ねたる結果成案を得、目下司法省の合議を求めてゐるが、近く審議終了し法制局に廻付の筈、僅二千百名のアイヌに限り民事法を適用施行し刑事法はアイヌとその他の土人に適用するものである

法務課長は約一ケ月に亙り共婚問題の解決に奔走してゐたが數年來の懸案も漸く一段落を告げたので之を大きな置土產としてその他刑事補償法は未だ決定に至らないが之も前途の見込がついたので古川鈴木團帶を離へ二十九日午後一時東京驛發列車で歸任の途に上つた神戸發は三十日出帆の大和丸である

定例閣議

【東京二十九日發電通】二十九日の定例閣議は午前十時より首相官邸に開會、荒木陸相、岡田海相、山本内相を除く各閣僚出席、内田外相より國際聯盟の經過に付き詳細報告し政府としては萬全を期し松岡代表以下非常に奮鬪してゐると述べ次で小山法相より滿洲司法總長馮涵清氏の來朝を、鳩山文相よりローマ字調査會の狀況を報告し零時散會

鈴木總裁東海大會へ 政友會東海十一州大會は二十四日靜岡市歌舞伎座に於て開催されたが鈴木政友會總裁は床次顧問その他と共に午前八時東京驛發で西下した（寫眞は東京驛にて右から床次顧問、鈴木總裁）

御眞影到著

新に總督府で奉戴し奉りたる御眞影三體は二十九日入港の朝日丸で到著したので府よりは阿部視學官が基隆へ出張、奉戴して總督府へ奉置した。右は臺南州の北港及び新營の兩小學校に奉安し奉るものであるが奉戴式は總督府の上行はれる筈

貴族院の一 各派交渉會

【東京二十九日發電通】貴族院各派交渉會は二十九日午後二時院内控室で開會、長世記官長より衆議院送付の議會振肅案に對する調査會の審議の結果を左の如く報告した、之に對し各派は夫々審議の上賛否を十二月二十日までに議長に報告することとして四時散會

報告

一、副議長を二名とすること

一、召集期日を短縮すること

一、減增に據修權を擬付すること外二項(以上贊成)

一、立法府の豫算を報告せしむること(否認)

尚會期延長の件は反對意見濃厚で常設委員會設置にも相當難色ある模樣である

最惡の場合を豫想する座談會 (1)
一、聯盟を脱退しても 二年間は縛られる

ゼネバにおける聯盟の空氣容易を許さず、この儘にて進む時は何時如何なる事態を見ねばならぬかも判斷つかず、日本としては當然最惡の場合を豫想して凡てに決心と用意とを怠つてはならぬ次第だが、この最惡なる場合を豫想しての座談會は二十八日午後二時から本社三階會議室に於て催されたこと既報の如くである當日の出席者(出席順)は

沼川憲兵隊長、鈴木商務武官、土橋帝大教授、田中航空參謀、原口會府統計官、竹藤峰治、西澤市尹、前田高級參謀の諸氏、本社より大澤主筆、石原委作、倉田記者出席

先づ話題は「聯盟の最惡なる場合を豫想する諸問題」中、特に「一、日本が聯盟を脱退する場合よりとせば」リツトン報告に對する審議を要求

聯盟を 脱退するとせば

何時どんな機會に脱退するか、脱退して直に如何なる場面か展開するか」を中心として座談に入つたが、紹介し得る自由の範圍内にて同席上の談片を綜合し、次に紹介する

食が充分に盡さずして問題を聯盟總會に移すことは日本としては反對で之が聯盟に取つては一つの危機であつたが然し最近の日本は左樣な瑣細の問題で爭ふ事を屑しとせず飛躍に飛躍を續けてリツトン報告の審議は聯盟總會の方へ移つた。これで小危機は一つ去つたのだが十二月一日より開く十九ケ國聯盟委員會や六日より始まる聯盟總會で如何なる

事態を 新たに生ずるか

これが日本側として最も注意して其の成行を監視せねばならぬ所である。國際聯盟規約はベルサイユ平和條約内の一部をなしてゐるもので結局之は世界大戰に關係をつけた一つの產物であり[illegible]することは出來ないし又脱退する[illegible]日本が國際聯盟上の[illegible]てはならぬ、而も日本は死活に關する主張の爲めには脱退をのんで之をさへ脱退しなくてはならぬ場合もあり得るのである、然らば聯盟を脱退する場合の取極めは如何になつてゐるかといふに平和條約の第一編國際聯盟規約の第一條末項に依つて

脱退が 出來ることになつてゐる

即ち同項に「聯盟國は二年の豫告を以て聯盟を脱退することを得、但し脱退の時迄に其の一切の國際上及び本規約上の義務を履行したることを要す」とある。して見ると日本が萬一この際脱退しても今後二年間は聯盟規約に縛られるわけであるし、又いざ脱退するといふ時機になつて聯盟規約上の國際義務を完全に履行してゐるかどうかの點も[illegible]ねばならぬのみか却つて除名[illegible]を受けねばならぬかもしれぬのである

大田駐露大使 來月九日赴任

【東京二十九日發電通】新任駐露大使太田爲吉氏は十二月九日東京發シベリア經由赴任するに決定した

水產商船講習所 開校式 三十日擧行

基隆水產商船講習所の開校式は三十日午前十時から基隆において盛大に擧行さるるので總督府からは殖田殖產局長出席の豫定であつたが多忙のため代理として水產課の風間技師を臨席せしめ祝辭を朗讀せしむることとなつた

臺灣畜產協會 創立總會 來月四日開催

臺灣畜產獸醫協會の創立總會は家畜防疫會議を前に來る十二月四日午前九時から臺北市表町の鐵道會館において盛大に開催することに決定し、先づ臺灣獸醫學會の總會を開き解散の決議をなしたる後改め畜產協會の創立總會に移る筈で式次第は左の通りである

開會の辭、創立經過報告、座長の選舉、規約の決議、理事及監事の選舉、會長推薦、昭和七年度豫算決議、同八年度豫算決議、會長挨拶、總督長官祝詞、來賓祝辭、祝電披露、閉會

尚總會は午前中に濟ませ正午からは粟栗閣に於て懇親會を開催すると

電氣委員會條項 本島に施行せず

【東京二十九日發電通】十二月一日より施行の改正電氣事業法案を臺灣に實施するため拓務省は諸般の準備を進めてゐたが改正法中の電氣委員會の條項は暫らく施行せざる意向に決定した

鈴木參謀長の送別會

平塚總務長官、交通、內務、殖產、文教各局長能澤文書課長等の發起にて鈴木馬公要港部參謀長を招き二十九日午後六時から梅屋敷に於て送別會を開催した

基隆で鈴木海軍武官の送別會

【基隆電話】今回馬公要港部參謀長に榮轉の鈴木海軍武官のため基隆市に於て林要塞司令官、桑原市尹の發起で送別會を三十日午後六時半より吾妻に於て開催すると

神戸爲替 一段と惡化

【神戸二十九日發電通】昨日再反落した爲替市況は本日入電の紐育米日爲替は一氣に十七十五仙安の二十弗五十仙丁度を報じ又一面上海對日爲替みもあり氣配續いて軟狀を呈し當付對米二十ドル八分三從二十ドル一分一盤で前日に比し二ポイント方安く商内は見送りの態で正午頃には二十ドル四分一從二十ドル八分三買で一段と惡化し二十ドル關門も危ぶまれてゐる

砂糖供給組合協議會

【東京二十九日發電通】砂糖供給組合は二十九日協議會を開き協議の結果本年度協定期間に於ける耕地白糖の供給數量は殘り品十一萬五千ピクルとなつてゐるので右數量全部を適宜輸出すに決した

ロータリー週例會

臺北ロータリー俱樂部にては二十九日午後零時半より鐵道ホテルに於て週例午餐會を催した、出席者三十名、竹藤會長の報告ありて後郡村、道氏の誕生日を祝福すべく一同乾杯を爲し、次で來賓醫學博士二木謙三氏は玄米に就き說明ある方等を示しながら玄米食の效果に就き力說するところあり、會員の質問等にも應酬し大に盛るところあらしめ午後一時四十分散會

人事

▲本永七三郎氏(醫學博士)醫學大會に列席島内視察中の所二十日歸京

シナチク

來臺このかた大變な人氣を博してゐる二木博士、大分殺しに、さすがに平素玄米の配は多いだけに玄米の事にかけては大博士以上、この話をし出したら玄米と水といふ大磐石。ソレを例の秋田弁でやるので益々愛嬌たつぷり▲二十九日のロータリー・クラブ例會席上での玄米食と飲酒との關係について人もあらうにヒダリ黨の辻本正春君が二木博士に質問すると先生得たり賢しとばかり「近頃では禁酒會の選手だが玄米を食べてゐれば自然に酒などやめる樣になります、フォードも凡ては食物からと申して食物さへ良いものを攝る樣になると人間が自然に惡いことをしない樣になります」とあずけにやり大喝采。

外科 皮膚科 梅毒科 一番瀨醫院 本町一丁目 (電七八九)

內科 殿村醫院 表町二丁目 (電話二一五四)

外科 (新築落成)(入院隨意) 大場醫院 京町二丁目 (電話三九八〇番) 大場辰之允

產婦人科 鶴田醫院 京町辰馬通り (電話二九七番)

眼科 筒井醫院 大和町四丁目(商業北側) (電話二九五番)

眼科專門 (入院隨意) 塚原眼科醫院 台北市表町三ノ八・電話三四三番・鐵道ホテル正門前 醫學博士 塚原義夫

耳鼻咽喉科 長尾醫院 臺北市榮町一丁目新高堂前 電三六八七番

耳鼻咽喉科 (入院隨意) 藏田醫院 本町二丁目 (電話三八七番)

小兒科 松山醫院 台北市榮町二丁目六番地 電話二五四〇番

齒科 小林醫院 京町一丁目一番地郵便通り (電話八八二番)

耳鼻咽喉科 天野醫院 榮町一ノ八 (電話二四〇一番)

內科 皮膚科 性病科 千本醫院 台北市京町一ノ五二(郵便通り)(入院隨意) (電四〇八一番)

外科(入院隨意) 菅沼醫院 本町三丁目 (電話九五四番)

新案特許第一二五二〇七九號 世界唯一 室內野球競技臺 一度實物を御覧あるや競技その物の如し六尺五寸四方のグラウンドに於てホームラン、三壘打等も近く野球規定による正しき競技法 本店 國際商會 臺北市本町一ノ二七 代理店 SH商會 (カタログ進呈)

東京名產 明治金石 竹羊羹 嘉義の美里 吳鳳饅頭 吳鳳羊羹 嘉義 光嘉堂 電話六〇番

圓內伊藤少尉、下向つて右夫人エキ子さんと長女和子孃(一)中央令妹可祝孃、向つて左夫人の母堂及び長男寛君(三)

行方不明を傳へられる伊藤少尉と家族

自力更生を他に 吉野村のゴタ〳〵
陳情委員連の告訴沙汰

吉野村の陳情委員七名が內輪揉れして一行中の伊藤照司が陳情のため出北中遊興し費用を信用組合に請求した事が紛糾となり同人に對して他の陳情委員草間、小前、大羽、高橋、藤末、岡田の六名が名譽毀損の訴へをなし事は既報の通りであるが右告訴をなすに及んだ動機は同村須田清喜なるものが自己、名儀によつて伊藤照司の供述に基き前記六名の出北中遊興せる金高を組合に對して請求するは不當であり且つ又同村役會組告をなさぬは不都合だと言ふ趣味のパンフレットを濫撰となし、會組散文をも添付してこれを一般に配布 したもので須田を追求の結果伊藤がこれを策略したる事判明したのであつたが代表委員が陳情のため出北せるに要する費用として組合に對して請求せる總額は三百六十二圓であり、これには豐田村へも數回出府に對して打合のため赴いた費用數回この事件のため花蓮港廳に出向いた費用等も含まれ居り一行七名の出北費として前記パンフレットに指摘さるる如き百三十圓の使途に特に疑惑 を囲くべき程度の額が遊興費に當られたといふわけでもないらしい、從つてこの請求額のみが陳情委員の內輪われの事由一切と見るわけに行かないのであつて取纏べた結果この背面には伊藤と今回村民の自力更生により一切の建直しをなさんとするに當り村民の紛擾に相容れぬ中島民會長を排斥の聲となり鈴木作太郎の仲介により民會長辭任の期は吉野山手線排水路完成の日まで卽ち來年一月頃まで保留其間に於て然るべき後者をしやうと言ふ形になつて民會長との間に 何等 かのトリックがあるらしく、山手線の排水路の認可にあたつて其切替により損益を生ずる田畑所有者間にて支那人式の紛擾手段が行はれた模様であるさて右告訴に就ても飽迄としても飽迄の態度を[illegible]しつつあり吉野の將來に對して光明を齎さんとされつつある矢先内輪もめを暴露したくないと言ふので兩者間に於て協議を重ねたがこれに應ぜず遊戲的な手段に出たため止むなく告訴に及んだものらしく、二十五日今井廳長を訪問せる際一行六名中の一名に對して今かかる擧に出づるは 時機 が惡いと言はれて退下したやうな始末であつてあらゆる方面から見て決して今回の告訴沙汰は其機會に於てこのもしからぬ事と見られてゐるが、告訴の動機に對して無理からぬ成行と言はれてゐる、同村內を切廻してゐる老人連はすでに時世に適しないので少壯連の手により退出されねばならぬと言ふ機運に向つてゐる

豐田村堤防新設で 五百甲の安全帶
全部水田化すべく計畫

【花蓮港電話】豐田村の浮覆地造成計畫は官廳後理想通りに行かず且つ計畫も試驗的に姑息なものであつたが今回國數治水事業により豐田堤防がチャカン溪に二千三百米新設されるのでこれによつて五百甲位の安全帶が生ずるのでこれの全部を浮覆地とし將來水田化される模様であるが、新設の堤防總工費十萬圓の內督府より七割の補助を受け殘額五萬圓に當る分は村民の勞力によつて負擔することになつてゐる

臺中大隊入隊 來月十一日著

【臺中電話】來る十二月十二日臺中第三大隊に入隊する兵隊百四十四名は十二月十一日午後二時四分臺中驛著列車で來中する筈

第三大隊除隊式

【臺中電話】臺中第三大隊の今回の除隊兵は八十六名にして二十八日除隊し三十日午前六時五十分臺中驛發內地に歸還する事となつたにつき臺中市では記念として菊花木の盃と紀要書等を寄贈した

臺南、澎湖間 海底線故障

【馬公二十九日發電】澎湖臺南間の海底線は二十八日正午から故障あつて目下調査中であるが澎湖局では無線によつて時節柄電報輻湊の此の際に於て一般の不自由なきやう極力晝夜努力中である

烏來蕃社行 (完)
飛沫をかぶつて舟下り
談論風發、にぎやかな船中

次郎坊

二十日午後一時四十五分油紙に身をかため小雨にけぶるウライに別れを告げた一行は臺車三臺に分乘して歸興に安着。三井出張所前で油紙を着けたままの張良をとり小舟の後舟の待つてゐる川岸に向つた川岸には鮎の友釣が二人ゐた陽卒先生が先づ士希にする、N宗匠が彼岸の釣狆をかたにビクを手に深谷を遡つて來たがどうしても近寄らうとしない、滿理だ彼氏ズロースが外れてゐるではないか、舟は小舟でにわか造りの苫竹の支へにテントをかけて雨を防ぐ思案。その中へ十一人がもぐり込む。膝をまげ膝つき合せて席が定まる。三井の出張所主任に一同が禮を述べると舟は一迴轉して午後三時半流れに掉さして下る。長田山林主事を先達に座席は右側がN宗匠、次郎坊興さん角さん陽卒先生左側がカメラ氏Nさん、九昴生、劉老爺、クン坊の順ぶれ總勢二里餘の溪流をくねりくねり舟は默りこくつた船頭の棹に任せて、口さがない一行が開展する乘合船の談風發——

「まアのめや」

× ×

持ち込んだ四合瓶を舟先に受けて興さんが手を出す、角さんも得たりと手に注げば興さんぐんぐのむの圖術、瓶は次に廻る。到かないのでタバコの密和キャラメルの耐などが飛び出すとて興すんで盃の火盃は角さん興さんの將棋の後仕末、ウライの勝負で七回連敗の興さんに相手役の角さんから

「だがよくやつたもんだよ、とに角七回連敗だなんて君は恥かしくないか」

「君に敗けたんぢやない、酒に負けたんだ、憶えてゐろ仇は臺北で……」

「將棋の實力に認めるよ、酒とあれにや、から自信がないんだから」

× ×

誰かにその通りなら、お臺北後の將棋では興さん完全に恨みをはらしたとか

× ×

船が瀨にかかり艪に潮を受けてガバリ水をかぶる

「心がけの惡いのと組んだやかなはないよ、昨夜の精進はどうかね」

「昨夜はひどくおとなしくつて女中さんにほめられたよ」

「トンヨリのおとなしいのに油斷が出來ないつて云つてたぜ」

ガバッ右側の興さん角さんがずぶぬれになる

「そらきた」

「だから平常の心がけが肝腎だてんだ」

「何なんかうんとあるからいいよ」

「大和町と云ふか(公設質舖)」

「鮎を釣つてゐるよ」

「鮎より鯉といつたところか」

「鐵線橋が見えるよ高いなあ」

「鐵線橋渡る心持や秋界……」

「秋界しはよかつたね、君は何でも秋界しでないと承知できないのか」

「怪しむしと云ふか」

前部のものはテントの前のスキから、後部のものは後のスキから各々中の者はテントの破れ目から各々鐵線橋を眺めて、その高いことには全部の意見が一致した、船は瀨にかかると何時も右側から水を入れたので右側の者は殊に興さん角さんは瀨運が惡いことに皆の意見が一致した。それから角さんの高利貸然たる風采のカバンに話題が移りその中にはきつと證文が入つてゐるだらうと云ふ者もあつた

× ×

發電所を過ぎる頃陽卒先生の祖父某が江戸で質屋をしたこと、ちよん髷を切ることを拒み開化を嫌ひ某は開化を欲しなかつた—といふ話から中心話題は忽ちよん髷に移り同船の劉老爺にお鉢が廻つて

「幼い時ちよん髷を結つたことがあるかね」

と質問が出る

「尤もその頃から毛が無かつたわけでもあるまい」

と誰やらがまぜかへす、[illegible]に近づく頃劉老爺船に[illegible]から水を[illegible]

[illegible]

つてゐた

「夕方になると常時もですよ」

長田主事が說明する

「鬼があるのだろ」

「變死人があるのかも知れない」

と勝手な想像をした

「水がきれいだな」

「きれいだな」

「色がいいな」

「あゝいいね」

「魚がゐるだらうか」

「魚がゐるだらう」

× ×

今宵このへに下つて來た興さん角さんの舍話があまりにもすらすらと片付いたので、同氣抜けの態でドツと笑ふ

「川セミが岩の上にゐるよ」

「岩の下にゐるね」

「いや岩の中だよ」

岩の中にとまつてゐる一羽の川セミの存在が重大問題となつてゐる內に舟は岩陰を廻つて屈尺に出る[illegible]午後五時二十分一行は新店に向つた(終り)

船は新店溪に近づく

大寮灌漑工事 八分通り完成
小給水路工事は地元民負擔

【高雄電話】工費五十餘萬圓を要する鳳山郡下大寮灌漑排水工事は號より第六號迄の支線排水幹線三線、給水幹線の擴張及び取入水門の改築等で殘工事は小給水路に小排水路の工事及構造物等で總工務の上から見れば既に八分通りの竣功で明年三月中には全部完成の豫定であるが殘工事中の小給水路は仕事が雜業であるから地元住民の共同施設に附すべく目下準備中である

高雄岸壁の 闇に彷徨ふ女
船員相手の高等內侍

【高雄電話】高雄市濱線岸壁の附近に近來每夜の如く夜更けをまつて妖艶の年增女が出沒して下級船員をつかまへて倉庫の軒下や物陰で春をひさぎ得た僅かの金でモヒ注射をしてゐる、この女は名古屋生れで假名春田ノブ子(三〇)十年程前同公學校で看護婦をつとめてゐる時某藥局生と關係を結び子供迄出來たが 無情 な男に見捨てられたのみか親には勘當されて自暴自棄となり諸所方々を流浪した揚句の果てである

我が咽喉を切り 憎い女へも一太刀
情婦に裏切られた陶器職工

【臺中電話】福建省生れ大甲郡沙鹿庄沙鹿窯陶器職工李金和(三五)は二十七日午前七時三十分頃沙鹿庄沙鹿方前において情婦たる福建生れ李氏阿女(二八)より裏切られたを憤慨の餘り菜刀をもつて自分の咽喉部を掻き斬り自殺をはかり重傷を負つたがその際同人が自殺をはかつたを聞きその樣子を見に來た 情婦 を見つけ死出の途づれせんと菜刀をふるつて李氏阿女の後頸部に斬りつけたが自分が既に重傷を負うてゐたため力及ばず僅かに治療二週間を要する傷を與へたるのみであつた、幸ひ隣人の人々に助けられ臺中醫院に入院手當中だが生命には別條ないと

花蓮港街徵稅 成績稍惡い

【花蓮港電話】花蓮港街後期營業稅、戶稅の徵收成績は二十五日の納期までに營業稅は九割一分二厘戶稅九割六分一厘で前期に比し戶稅二厘營業稅は一分八厘方徵收率が惡かつた、因みに調定額は戶稅六千三百三圓三錢營業稅二萬六千二百七十九圓八十五錢であつた

淺野飛行大尉 「歐洲の兵制」につき講演

【屏東電話】飛行八聯隊淺野大尉

母の留守中 無殘!幼兒燒死
原因はマッチを弄んで出火

マッチは禍の因

【臺中電話】臺中の大甲郡大安庄李主發方炊事場から二十八日午後五時頃發火し火は強烈な季節風にあふられて忽ち同家を烏有に歸したが原因は長男の李進興(四)が 母親 が谷に水汲みに行つてゐる留守中マッチを弄びそれが炊事場にあつた甘蔗の枯葉にも燃え移り大事に至つたもので近隣の人々が驚いて馳せつけた時は手のつけ様なく四歲の李進興も遂に燒死した

臺南糖業試驗所 廳舍工事順調
來年三月迄には全部移轉

【臺南電話】臺南糖業試驗所廳舍は昨年以來臺南市外竹篙厝に建築中であるが本館建築並道路五十坪の外各種の研究室其の他が約三十棟何れも工事順調に進捗してゐて附屬建物宿舍も大部分竣功したので明年二月中に現業員を移轉せしめ事務は臺南の庶務課と新化の各試驗場も共に明年三月中に全部の移轉を完了する豫定である

屏東稅務管內 徵稅成績

屏東稅務出張所管內の本年後期營業稅及雜種稅の成績は財界も稍好轉氣分には向かつては居るが雜稅に付ては樂觀されず氣遣はれて居たので郡內街庄吏員の熱心なる督勵と區委員や青年團員の奉仕的な活躍で前年の同期に比し・○二、本年前期に比し・○○八の納入增率を示した、完納庄は旗山郡山林、內門、甲仙、田寮各庄、屏東郡九塊庄、東港郡林邊、佳冬、琉球の以上八庄で其の內林邊庄は例年成績が惡いのを新任有川庄長の努力で成績をあげたものであると、管內を通じての成績は納入金額歩合、九分一厘四毛で前年度に比し、二厘二毛の增率である

高雄市豫算 大膨脹か
水道部を除き各課出揃ふ

【高雄電話】高雄市八年度各係よりの要求豫算は水道部を除いて全部出揃ひを見たので査定に取かかるのは十二月十日前後と見らるるが新規事業の關係で可成の膨脹を見るであらう

花蓮港にも ベビー・ゴルフ場設置

【花蓮港電話】花蓮港ゴルフクラブでは今回ベビー・ゴルフ場を設け一般に公開利用せしめることとなつたが來る十二月四日開場すると

小作競作會 屏東郡長興庄で

屏東郡長興庄[illegible]氏は青年聯合團長であり內地へも數度本島代表で出張した程の新人であるだけ平素附近農民をリードして居るが同氏所有田の小作人に限て二期作の競作會を催させて居た其の出品物に付二十八日審査を行つて各等級を定めたので十二月十一日同氏宅で品評會と褒賞授與式を行ひ終つて小作人一同の爲め慰勞宴を催すと

宜蘭郡下の 區委員大會
出席者四百餘名の盛況

【宜蘭電話】二十九日午前九時より宜蘭公會堂に於て宜蘭郡下區委員大會が開かれた、州より玉手地方課長臨席中故者を除き區委員百五十餘名出席之に橋山郡守、區委員長、街庄長は副區委員長となつて來賓は郡下各官衙區等で一堂に會するもの四百餘名定刻開會の辭挨拶あつて 功勞者 表彰として宜蘭街陳德治氏外二名礁溪庄林阿茂氏外三名頭圍吳金枝氏外二名壯圍林允助氏外四名員山朱朝昌氏外三名の夫々に對し銀盃一個宛の授與あり郡勢說明について玉手地方課長、州協議會員及び東龍所長等の來賓祝辭村田氏の區委員代表答辭がすめば橋山郡守の議長席について會議に移る先づ本參與員より諮問事項一、自治精神の涵養竝に地方改良に關し委員として所見を問ふに對し提出理由と自治の基調をといて向ふ所を暗示して後議長から各街庄別に諮問を發すると礁溪壯圍頭圍員山及び宜蘭の順で次々に意見を述べたそれより櫻木參與員より指示事項十九件に亘り說明通譯で一々詳細說明あつて最後に橋山郡守の挨拶を以つて午後一時閉會直ちに懇親會を催したが盛會裡に午後三時散會した

明るくなりかけて 又暗くなつた・ 屏東の街燈

【屏東電話】屏東街の主要な街路へ照明燈を建設することは既報したが建設費の中半を街が補助し中半を電力出張所で負擔することで商工會を中心とする關係商工業者の會合となつて更に角建設することに話は纏まつたが、其後經費問題ち電燈料の負擔の點で渋るものが出た模樣で今にも街が明るくなるやうに思はれただけに燈の消えたやうな暗さである

花蓮港廳下の 官有地調査
研海、鳳林、玉里は終了

【花蓮港電話】內務局出張所の花蓮港・臺東兩廳下官有地整理事務の花蓮港廳下の分四千三百餘甲の調査終了、研海、鳳林、玉里三支廳下全部調査を了し、花蓮支廳の分は花蓮港街に於て調査することとなつて居り右土地處分に對しては處分の中止を命ぜられ實地調査のみ完了して手を空しくしてゐる有樣である

矢野中尉赴任

【花蓮港電話】花蓮港分遣大隊矢野中尉は二十九日玉里分遣中隊長として交代兵と共に同地へ赴任

中園圳改修 測量變

【花蓮港電話】吉野村中園圳延長一千五百間の改修工事は村民所有地を考慮して測量變へを行つてゐるが該附近は吉野村中でも特に卑地であるため村民にも排水路線のつけ方は相當影響あり土木係としては排水をよくするためにはなるべく直線コースをとらねばならぬので在來の不完全なる低地利用の半自然的排水施設を基本として可及的直線をとるやう測量變をなしつつあるが三、四日中には測量終了する豫定であると

怪支那人 屏東地方で の大ヨタ

【屏東電話】屏東街を中心に最近奇怪な浮說が流布され支那より入込んだ支那人二、三名は憲兵隊の手で檢擧され二、三日前內地へ押送された、同人等は○○の燒き打の陰謀を廻らしてゐたものであるとか、數日前には鳳山方面より支那人五、六十名が屏東街へ入込んだ、その目的も同樣のものである等事實は全くの大デマで滿洲事變一周年記念日直前も斯うした流言が傳はつたこともあり然につかぬ噂話と異なるので其筋でもその流言の出所を探査中である

失業者救濟の 各種工事
高雄市區改正道路工事は 土地買收の關係上未定

【高雄電話】高雄市において目下著手してゐる失業者救濟事業は市內入船町護岸工事所船から岸壁に至る道路下水溝工事と三塊厝公學校前の擴張で前者は年度內、後者は一月中に完成の豫定で工費は二つを合し一萬五千圓見當であるが同年度內に著手さるべきものは市區改正事業の一部である前金方面の道路で延長六百四十米、幅員三十米で可成大きい 工事 であるがこれは土地所有者との交涉を要する關係上それも著手期は尚未定である、因みに市營海水浴場前の砂盛工事はこの程竣功したがそれは市の直營工事で町委員の世話で失業者を使役したものである

臺中雄辯會の 時局講演會
各辯士熱辯を振ふ

【臺中電話】臺中雄辯會主催の時局大講演會は二十八日夜臺中座に於て開催されたが時節柄とて臺中としては今秋になつて初めての冷さを感じた夜であつたにも拘らず參聽者同座に溢れ、定刻宮坂氏の開會の辭に次で

一、滿蒙問題の再吟味 と題し弁護士渡部福次氏の熱弁あり坂本春氏は

一、時局に直面して國民の覺悟

一、ゼネバの空氣を說いて國民の覺悟を促がし、それより

一、ゼネバの空氣 竹內壽衞馬氏

一、顧みて後顧の憂なきや 服部一義氏

一、リツトン報告に敬意を表す 長岡寛氏

一、松岡全權先づ露國を訪ふ 山口、義寛氏

一、戰爭と國民一致 伊集院臺中大隊長の熱弁あり盛會裡に午後十時過ぎ散會した

松岡特產課長 員林視察

【臺中電話】青果聯合會の會議で來中した松岡督府特產課長は元山技師の案內で二十八日員林の植物檢查所及び永靖庄における柑橘園の視察を行つた

壹岐丸入港 又遲る

【馬公二十九日發電】定期船壹岐丸は又復本日の入港は荒天のため延期となつた、近時この延期を繰返すので一般に非常に不便を感じてゐる

豫算案を提げ 安達地方課長 廿九日出府

【高雄電話】高雄州八年度豫算は既報の如く査定を終へたので安達地方課長は打合のため二十九日夜行にて出府したが協議會の開會は尚未定なるも十二月十五日から二十日迄の間らしく、因みに協議會員一名の缺員補充は既に督府に具申中であるから近日中に發表を見る筈である

工事費不拂で 告訴して藪蛇
中山辯護士を代理人に 遂に誣告罪で送局さる

【嘉義電話】嘉義郡水上庄牛稠埔一九、陳阿強(二八)及び嘉義市元町四ノ一九、[illegible](四〇)の兩名は共同して[illegible]嘉義郡[illegible]工事を請負ひ[illegible]五百圓を[illegible]したが[illegible]去る十月中山辯護士に依賴し嘉義郡に藏田が保證金及び工事支拂殘金計九百二十四圓を支拂はず橫領したと告訴狀を提出した、取調の結果殘金額は全部藏田から支拂濟みである事が判明し右兩名は誣告罪に問はれ二十九日臺南地方法院嘉義支部檢察局に送られた

除隊式
臺南聯隊で 廿九日擧行

【臺南電話】臺南第二聯隊の除隊式は既報の如く二十九日午前九時村上聯隊長の訓辭にはじまり褒彰狀の授與あり、次で臺南市尹の挨拶あつた十時式を終つたが除隊兵百九十名は來月一日午前九時五分臺南驛發列車にて歸鄉すると

莨耕作組合 苗床品評會 審査終了

【嘉義電話】嘉義郡煙草耕作組合聯合會主催煙草共同苗床品評會は審査終了し來る十二月六日午前十時より同郡會議室に於て褒賞授與式を擧行すると

立毛品評會 褒賞授與式 は來月三日

【嘉義電話】嘉義郡各庄聯合共同苗代品評會及び蓬萊種立毛品評會褒賞授與式は十二月三日午前十時より郡會議室にて擧行されると

壽分會獨立

【花蓮港電話】在鄉軍人分會壽賀田班は創立以來花蓮港分會に屬してゐたが逐年會員の增加に伴ひ分立する必要を感じてゐたので今月三日壽分會として獨立したが十二月三日午前十時壽小學校に於て發會式を催すと

關子嶺に ベビー・ゴルフ リンクス

【嘉義電話】新營郡關子嶺溫泉は最近嘉義方面との交通連絡利便となり使用者は日とともに增加してゐる情況であるが同地楓ケ丘に千五百四十餘坪の複雜な天然地形を利用してベビーゴルフリンクが開設された、之は關子嶺溫泉に對する邪嶺と探勝に娛樂を加へやうとの計畫から開設されたもので十八のコースは變化に富み規模面白く歡迎される事當然であらうが來る十二月四日は一般に之を解放してその批評を聞く事となつた

新竹

自動車衝突

桃園街桃園乘合タクシーの運轉手黃興發(二二)は二十七日午後五時半頃桃園驛から來客一人を乘せ新竹に赴く途中楊梅一三三番地十字路に差しかかつた際同一三二七李氏[illegible](八)が飛び出したのでブレーキをかけたが間に合はず避け損ひ頭部を打ち付け右眼下に打撲傷を負はせ其他擦過傷を負うた

火災火傷

二十六日午後八時竹東郡北埔庄北埔字埔尾七五阿增の物置小屋から出火長男陳天賜(二)及び孫人陳[illegible](一)彭金福(一)の三名は顏面其他に火傷、物置四百斤を燒失した、原因取調べ中

自動車顚覆

桃園タクシーの運轉手林振は二十六日午後三時半乘客四名を乘せ桃園驛から[illegible]に赴く途中大溪街埔子二七七にてブレーキに故障を生じ一間半の水田へ顚覆したが乘客には幸ひ怪我人もなかつた

蕃童歸る

新竹州下各郡の蕃童二百二十名は各郡敎育主任に引率され二十四日から北部臺北方面を見學中であつたが二十八日午後一時四分歸新した

中壢

結團式延期 中壢街女子青年團の結團式は二十六日擧行の筈であつたが都合に依り十二月一日に延期

商工會總會 中壢商工會では來月十日より郡主催の展覽會を好機とし各商店大賣出及其他協議に關する事項を打合する爲來る二十九日午後六時より保甲事務所に於て臨時總會を開催する

驛長着任 中壢驛長[illegible]氏は二ケ月間[illegible]內地及滿洲方面に於ける鐵道事務を視察中の所去る二十四日基隆入港の[illegible]丸にて歸着

街庄長打合會 郡では來る二十九日午前九時より郡下街庄長を召集して會議室に於て[illegible]ケ年計畫に關する事項の打合を爲すと

曙光 (172)

生方敏郎作　中野修二畫

颱風（一）

澄江は女中頃から土肥の話しを聞いてから、頻に船旅を春田にせがんだ。

「私山國に生れたから、まだ一度も船に乘つてみないんですもの。ここへ來た序だし、行つてみたいわ。」

と、いつた。春田も行き度い氣は動いたが、妻がいと云つても、颱風でひや／＼する冬の海上へ、船で出ることは、流石に躊躇もあつた。

「オイ、そんなことをいつたつて本物の海ッて奴は、繪に描いた海とは違ふよ。天氣の好い日には、處女の如く大人しいが、颱風が起りでもして、一度荒れ出してみろ、なか／＼唯ぢや治まりやしないぜ。海も海、僕等の前にある海は太平洋だからなあ。こいつが一度ご機嫌を損ねたが最後、何んな物凄い藝を遠慮なく繰出さずには置かないさ。」

しかし、そんな脅かしは、澄江には何でもなかつた。のみならずなほ一層興趣をそそるにすぎなかつた。で。

「いいわ。私出來ることなら、太平洋の眞中まで乘り出してみたいわ。海へ出れば、皆が皆んな、沈沒するとは限らないでせう？」

「沈沒なんてことが、滅多にあつて堪まるものぢやないが、…彼だつて偶く乘つてる船が難破してごらん、よし沈沒を免れたとしたところで、九死一生の目に遭はんとも限らない。板子一枚下は地獄の生活だからなあ。」

「だつてそんな事は、陸にしかないんでせう。難船なんか恐れてたら、外國へ行くことだつて出來やしない……」

「外國へ行く船なら、大きいから却つて安心だが、ここらの汽船なんと來たら海へ出れば木の葉が浮かんでゐるくらゐのものだからね。」

「でもいいわ。私たち二人きりぢやないんですもの。船に乘りませうよ。」

「土肥くらゐ行くのに、さう心配もないけどもさ……」

「ぢやあ行きませうよ。その船で下田迄行くことだつて出來るんでせう？」

「うん、下田行きの船なんだ。」

「それなら一そ下田まで行つてみませうよ。私もうこんな平凡なところに、さう何時までもゐたくないわ。」

いかにもそれは澄江のいふ通り沼津の生活は平凡にはちがひなかつた。この小さな町の、見るだけのところは殆ど半日の中に見盡した。公園の松籟を聞くもいいし、例の富士の姿を眺めるのもよかつた。狩野川の朝靄も我入道の島影もよかつた。しかし、彼等から見る總ては、自ら動いて渦中に入る冒險的興味のやうな、深刻なものではないのだ。若い、まだ血氣盛りの春田は、澄江にせがまれてゐる中に、自分もだん／＼その方へ引きずられて行つた。

春田はまだ船旅を決心したほどではなかつたが、澄江を連れて、その午後――丁度の二十八日に、また散歩に出て、途中本屋へ立ち寄り、新年號の早稻田文學や太陽や中央公論など、その時代に言論界のオーソリテイーだつた雜誌を求めたり、また伊豆駿河地方の地圖――二十萬分の一の圖を求めたりして、これらの旅程をおよそ決めやうと思つた。

すると、丁度そこへ來てゐた客が、本屋の主人と雜談を交へてゐたが、その言葉の中に土肥々々といふのが、春田の耳に入つた。そこで、彼は。

（ああ、ここで聞いたら、土肥その他の船旅の事情が分るだらう。）と思つたので、主人と客との話の切目を待つて、問ひかけた。

「土肥へ行く船は、いつ出ますか？」

すると、主人も客も一しよに春田の方を向いて、主人が。

「あなたも土肥へいらつしやらうといふのですか？」

と反問して來た。

春田が。

「いや、まだ決定したわけでもないのですが、場合に依つたら行かうかと思ひましてね。」

と、答へると、主人は右手を振つて見せた。

「いけません、それはお止しなさいませ。今は颱が荒くつて、非常に危險です。實はこの旦那も今夜の船で土肥の先きの松原町まで行かうと申してゐたところですが、私がしきりにお止めしてゐたところです。いけません。斷じて今頃の船に乘るもんぢやありません。」

新聞小說に就いて

河上徹太郎

今日主要な新聞小說がいはゆる純文學の作家からいはゆる通俗作家の手に移つたのは既に久しい事實である。純文學の作家が書くにしても材料を吟味して興味本位にするか職業慣れから鍛えた技巧を用ゐて作家情熱の上からは二義的な小說を書くとかいふ風にしないと新聞小說として通用しなくなつた。この事實を說明するに、新聞小說の讀者の教養乃至生活が要求する興味とか我が通俗小說の例題や本質とかいふ文學論乃至社會批評を以てするのはもはや、早計である

口

通俗小說のかかる弱點といふものは、これ等の外的要求と共にそれ以上に編輯上の常識といふものが原因として混つてゐる。もちろん編輯常識といふものがかかる外的要求の現はれであるのは確かであるが、然し同時に外的要求の指導でもあることは一度百貨店の流行と事情を一にしてゐる。從つて新聞小說の現實といふものは、作者の要求の良心や手腕の傾向と、編輯者の常識とが形作つた極めて偶然な、然し極めて確實たる一つの生きた世界である

口

この世界は、發生的には種々の雜多な原因が含まれてゐるが、出來上つたものとしては完全に文學理論の對象である。但しこの文學理論が一般の心境小說の存在をせん明する如き一面的な生やさしいことではゆかないことは菊池寛氏とか直木三十五氏の如き、マキャベリ的野望の強い作家の作品を見れば思ひ半ばに過ぎるであらう。この理論の中には純文學發生論の外に書き換へられた政治慾や、遊戲的な心理主義や、文學と影像が因果を顛倒した古典主義や、節度による陽情や、等々いはば人爲的な現實が渦卷いてゐるのである。我我はこの世界を分せきするよりも一現實として眼の前に見えるものを意識的に信仰する方がよりよく理解出來る

口

ところで、かかる新聞小說的現實を專門的に追求する通俗作家の外に、これをもつとも一元的な、從つて（俗眼には）安易な態度で描出來る作家に山本有三氏、岸田國士氏等がある。この二氏が共に優れた新劇作家であることは、興味あることであると共に、一つの理論を約束する。ここで、私は山本氏の「風」について批評をしてみやうと思ふのである

口

山本有三氏の作家的身上は心理的現實にある。この要素はまづ情熱の構成として現はれる「風」の隨所に現はれる挿話的美しさ、節子の母が、まんぢうを食ひ過ぎて死ぬ話「悲慘だといふが事實悲慘すぎてその結果美しい」節子が一枚上手いすりになめられる話、さては木から落ちる話、陶川の哲學的な樣な明るさ、小市民家の郊外住宅の五月の日向に映る臆の甘りの「ガバガバ」とゆれる音、綾子の閑情生活、そこへ陶川と綾子を圍みながら、襟元に落ちた雨滴を思はず「熱つ」と叫ぶあたり最後に每日各部のやまをなす會話の盛上つた樣な巧妙さ、殊に初頭の叙文體ののんびりした圓い地口のたたき合ひ、待合での醉ひつぶり、各所の驚的會話が演說口調にならないで生きてゐることから、いふものが、富の殺人事件を除外にして、この作の表面的魅力であると共に、もつとも本格的な現實をなしてゐることは疑へない。時にその現實は進んで人物を無視し物語を阻害するに至ることがあるしかもそれはこの作では許されるけれど、生き／＼してゐるから、けばしくないのだ

口

饒舌り廻る紳士であつてもいい、陶川は主義者であらうとなからうと、苦み走つた明徹な二枚目であればいい。綾子は姙娠だらうと病床で美しい姿顏に斷乎たる意思の力を現はしてゐればいい。かういふ作品の構成を副次的要素としてしまふ程、前記の心理的諸情景が根強く談をすゑてゐる。これは徒らに感覺を弄ぶ作家には出來ないことだ

口

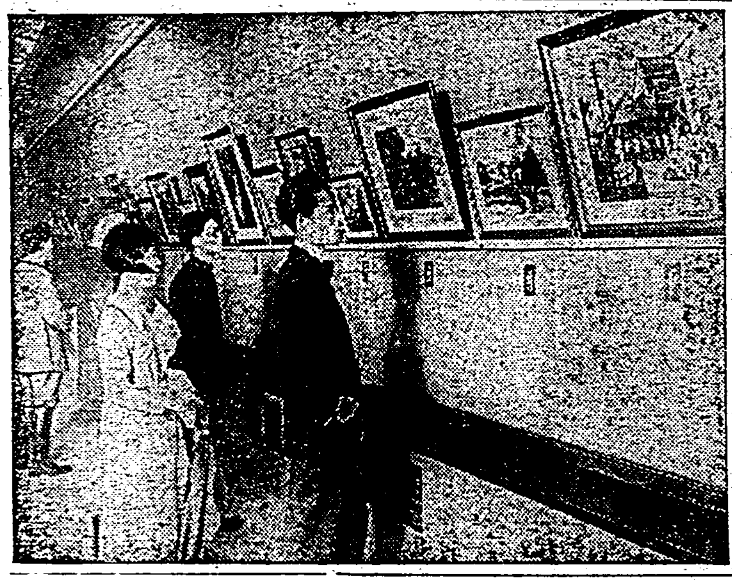
この作品がプロレタリヤ小說か否かは結局どうでもいいことである。女中が社會問題として取扱つて、左翼の作家は、矢張それと同じ樣に主婦圭子を有閑婦人の典型として描くだらう、然し何もこんな極端に虛榮心の強い女を持出さなくとも、女中の問題は存在するのだしかもこの作の場合になつてはこの女の出現によつてその現實性を傷つけられてはゐない、圭子は典型的ではあるが、讀者が典型だと反省する餘裕がない程鮮かな風貌を持つた典型である。あたかも精妙な能樂面の如く、何人かがこれを被ることによつて直く生命を帶びて躍動する所の典型である。かかる作固有名詞や性格上の個性といふ怪物は一體何であらう？この原理はひいては作の構成に及び、作の思想に及ぶ。物語りは作の骨ではなくて却つて裏だ、思想は作の母體ではなくて作の裝飾だ

口

氏の現代生活上の常識に照らされて讀者は洗面所、鏡に向つた如く一寸ネクタイの曲りを直さうと、作者は知らん顏をしてゐるだらう作全體にみなぎる氏の道義感に釣られてインテリやプロ作家が何といはうと、氏が書きたいのは現代社會に吹き荒ぶ風の理論ではなくて、矢張圭子の寐顏の美しさだらう

口

かくて、氏が力強い心理的現實を專ら追求し、一方にはこれを新聞小說的な興味のやまにして作の構想を喚起し、他方にはこれを創作情熱の對象として他の藝術諸要素を追隨せしめ得るのに、私はこれをひとへに氏の劇場人としてのユニックな資質と高雅性に歸したいのである



愈々充實した 第六回水彩畫展

—廿六日より教育會館で—

臺灣水彩畫會も今歲で六回を重ね去る二十六日より三日間教育會館で開催したが石川欽一郎氏の植つけたこの畫會が斯うして恩師をはなれて後益々發展して今回の如く應募者百八十餘名の中から入選點數六十五點といふ嚴選を行ひ得るやうになつた然してこの會に向つて參考品とし佛英蘭獨大家の出品內地專門大家の應援と相俟つて錦上更に花を添へ押しも押されもせぬ權威ある繪畫團體となつたことである目下斯會の幹部として藍蔭鼎、倪蔣懷、陳英聲諸氏が肝煎りしてゐる出品中小原整氏の「桑日」は始めて發表せる作品として特に人目を惹いたことである入選者に對しては更に選拔優秀なものに對しガリバア賞十名水彩畫會賞三名を出した（寫眞は同會展覽會場の一部）

BOOK REVIEW ブック・レビュー

我が國語文化の一大所產

—大言海について—　X・Y生

言海の著者として名ある大槻文彥博士は四十五歲で一旦舊版言海を完成し爾來更に大言海の事業を志し八十二歲の高齡に至つて倒歿、修、筆をやめなかつた、これ博士が一生を捧げた畢世の述作として世界の文獻史上に光輝を放つべき一大事實と稱して不可はない、我が國語文化大集成たる「大言海」が世間の視聽を集むるに至つたのも當然と言はねばならぬ、日本今日の文化は當然「言海」から「大言海」へと進展を見ねばならぬ事情にあり之が又現代に於て特に大言海の注目さるる所以でもある。新版大言海は採取語數實に二十萬、舊版言海の三萬九千語に比し雲泥の相違である、蓋言海が舊時代の日本文化の反映であるならば大言海は現代の爛熟した我が國語文明の當然の所產と言はねばならぬだらう、全四卷四六倍大判、四千頁の大著である、一般の學徒や家庭に常備書として缺くを得ないものであらう（特價各卷五圓　特價は本年末限り發行所東京神田冨山房）

物價の騰貴と經濟生活（上）

小汀利得氏談

物價は月々に高くなつてゐる、何故高くなるか、先づこの原因から考へてみやう。その原因として大體左の三つをあげる事が出來る。

一、爲替がやすいこと
二、關稅引上げ
三、外國で物價が上つたこと

右の第一の原因は或は理に合はぬと思ふ人もあらう、といふのは爲替がやすいから物價が上るといふなら昨年末における爲替は既に三割下つてをり、今年六月には二十七弗幾何といふ半分より少し高い位に迄下つてゐるから、その時物價が上つてゐなければならぬ筈でをるのに實際には十二月にも上半期にも上らなかつたのである故にこれではロヂックが合はぬと云ふのも無理はないが、それには別な理由があり、つまり外國で物價が上るを見越して思惑輸入をやり、綿、鐵、木材等の外國品をどんどん買入れその爲め貨出が拂底する位だつたのでかかる理由で爲替が下つても物價に變動がなかつたのである

×

そこで、第一の原因の爲替低落に立ちかへつて、どれ位外國で下つたかといふと、昨年の七月一日から今年の六月三十日までには金本位國米國で二割一分五厘の低下で金本位離止國で英國が九分九厘、日本は四分一厘強であるが一年に二割三分五厘とは未曾有の下り方である、次に關稅引上げであるが日本ではもと／＼安くないが重點に對し三割九分上げて、爲替が安い上に、ジャバ、キウバなどから格安砂糖が入らず、その上五圓七十錢付の關稅があるから物價は高くなる、第三の外國で物價が上つたといふことは特に英米、國で上つてゐることである、ロンドンの物價にも月から上つてゐ月と一番安かつたがその騰貴狀況を見ると次の通りである

昭和七年	
六月	[illegible]
七月	九〇、八
八月	九三、五
九月	九六、六

更に紐育に於ける狀況を見ると

五月	七六、七（二、三三安）
六月	七七、二
七月	七八、〇
八月	八二、四
九月	八三、五

である

×

併しベリではどん／＼下つてゐて三月には四二七であつたのが平價切下げで一、四六安、八月には三九四となつてゐる、ドイツでは九月に一寸上つたがそれまでは下つてゐた、兎も角此の三つの理由で日本の物價は上つた、特に爲替と物價の關係について確然とした數字をあげられるものを二つ示すと、一つは米棉＝輸入品、一つは生絲＝輸出品である、去年の十月二十四日の米棉紐育における現物は一磅六仙九五ミリ、日本大阪では百斤二十二圓であつたのが十月二十四日では紐育現物六仙〇ミリ（七・十五ミリ安）日本では四十四圓五十錢となつてゐる、卽ち向うでは一割二分何厘下つてゐて日本では二倍以上になつてゐる、これが輸入品に於ける爲替と物價の關係の顯著なる一例である

×

輸出品の代表たる生絲は昨年十月二十四日紐育市場で二弗二五仙―ベスト、エキストラ十四中といふ絲で一同日の橫濱の生產市場の先限りは百斤五九〇圓であつたのが今年の十月二十四日市場は向うで一弗七五仙（五〇仙安）二割二分何厘か下つてゐて日本では八七一圓となり二八一圓卽ち五割何分高となつてゐる（續く）

萬なかだち
求職一件一回 壹圓貳拾錢　其他 一回 壹圓七拾錢　匿名 倍額

女店員　採用至急來店面談 保證人要す　臺北市榮町 新高堂書店

貸家　三疊成校運動場北側疊八六 二交通至便　電話九五二 表町 青島

新築美宅　大正町六條通 八六四半立派 瓦斯の設備有 電話九五二 表町 青島

カフエー　讓渡 格安 他物件有 左記へ直接 榮町 電話三六二六 三成社

下宿屋讓る　場所好く設備完 間數十 御成町一ノ二二 路切北一町 共生館

履物店を讓る　居拔きの儘至急讓ります 電話九四二番 本町 [illegible]屋

撞球　場所西門町目拔場所 [illegible]

電話讓　[illegible]

電話　[illegible]

電話債券　[illegible]

輪燈に・ラヂオに・ベルに
ナショナル乾電池
大阪市北區大開町 松下電器製作所

品質 日本 名声
ナショナルランプ
自轉車・家庭用

面膚髮之
◎ミツワ石鹼

純正雪文、以酒精溶解至透明、因無遊離脂肪故不溷濁、又因無混雜物、故不見沈留渣滓。再用「フエノールフタレイン」細驗其遊離亞爾加里時、仍毫無反應者、正所謂正純雪文也、我國人皮膚粗澁、皮脂分泌量亦多、尤尚黑漆毛髮之風者、當其洗滌用何雪文、切不可止因化學上謂純正雪文、立斷其適否耳。

◎ミツワ石鹼欲圖品質愈佳不遺餘力日夜埋沒於科學的研究諸技術家士要各位
理學博士 小平勳氏　藥學士 [illegible]　農學士 河村正鑑氏　工學士 三澤次郎氏　工學士 野中正夫氏

◎ミツワ石鹼
不唯稱謂化學上純正雪文、尙具備有左列諸性狀。
一、確有溫雅芳香。
一、能生出極細泡沫、作用緩和、於洗滌時決不殘止文底碎。
一、含有適度溶解性、浸水易解、而無中途溶崩之慮。
實於各家庭、浴室用化粧用、俱合我國人用以洗滌皮膚毛髮等、最宜衛生、世可節省之理想的實用品也

（現品縮寫圖）

◎ミツワ石鹼有德用大形　三塊匣、六塊匣、一打匣三種
トモヱ石鹼　サーワ白粉　ミツワ家庭藥　ミツワ煉齒磨　ミツワ椿油　肝油ドロップス　ミツワ葡萄酒（各種藥用）　ミツワ純良葡萄酒（各種）

發賣元　◎登錄商號　丸見屋商店
藥劑・滋養料・石鹼・香粧品・小間物問屋　東京・兩國　振替口座東京七一〇番　電話兩國代表番號(67)一〇〇〇、一四〇〇、一四六三、一一八〇番

對台灣處均以各格外勉強從命敢祈直向敝商行賜顧訂購爲荷
合名會社 德昌商行　臺北市入船町一丁目　電話一一三九番 四五五五番　振替臺灣一一六五番 電略（トク）又は（ト）

精製糖步留の協定率を引上か
現在の九十五%は低過ぎると　大藏省が實績查定中

【大阪二十九日發本社特電】大藏省は去る七月十六日から各製糖會社工場に税務官吏を派し原料糖より何パーセントの精糖を得るかの實際査定を實施してゐるが、過去四ケ月間に於ける實績に徴すれば現行課税標準たる協定步合九十五パーセントの基本數は改定さるべきであらうと即ち實際査定は今後尚二、三ケ月間繼續される筈であるが今日までの實績に徴すれば、各製糖工場が原料糖より精製糖を得る歩合は最も少きもので九十五パーセント最高のもの百パーセントにして大體は九十七乃至九十八パーセントを示して居り、所謂協定步合は現在の製糖技術に照せざる課税標準たることが明瞭となつた由である、從つて精製糖に對する課税方法を改めざる限り現在の協定步合は當然引上げらるべきものと見られてゐる

爲替安に乘じ日本炭の大活躍
上海市場からマニラ更に新嘉坡まで

【大阪二十九日發本社特電】內地炭の輸出は爲替安に乘つて益々進展しつつあり殊に最近上海から盛んに買付があり、一時抗日の旺盛な爲に香港を通して輸出してゐたものが、最近は直接積出され之が爲內地附炭の品薄を來たして頗る氣を一層刺戟してゐる、又ヒリツピン方面への輸出も相變らず多く十月中には二萬二千噸と前月の一萬噸に比し倍以上の增加であるが、更に內地炭はインド炭濠洲炭の重要な競爭地帶シンガポール邊りへ進出し氣勢をあげつつあり、內地の需要に加へ內地附炭高騰の主要な原因となつてゐる

特產課の產糖豫想
三十日より調査にかかり十二月下旬發表

各製糖會社の第二回產糖調査は去る十月を以て終了し其の結果は既報の如く糖業聯合會支部發表の如き產糖豫想を得たが、總督府特產課では最も正確な豫想を立つべく三十日から約二週間の豫定を以て有馬、川中、宮岡の三技手が夫々調査に向ふこととなつたが有馬技手は臺中高雄兩州下、宮岡技手は臺南州下、川中技手は臺北、新竹、花蓮港、臺東各地の調査を行ふこととなり、この結果は大體十二月下旬頃發表の見込みである

我輸出品防遏に印度方面懸命
種々の惡宣傳が飛ぶ　我當局も當業者に注意

最近の爲替安に依り我商品の海外進出は著しいものがある、各方面に於てこれが防遏策が講じられてゐるが就中印度方面に於ける輸出は目ざましいものがあるので種々のデマが飛び我商品の輸入を阻止せんとする傾向が濃厚となつて來た即ち最近傳へらるる所に依ればマンチエスター商業會議所に於ては本邦商人が印度に於て英國品の意匠及商標を模造し英國綿業に甚大なる打擊を與へつつあるが印度には現在の所かかる不正行爲を防止する方法なき爲め目下對策を研究中との事である、しかし本邦政府の調査に依れば印度商標法は登錄されない商標「意匠」と「商標」も專用せらるるものは保護される事となつて居り印度在住邦商につき調査し所に依れば商標並意匠等はなき模樣の無形意匠等に就ては英國品を模倣するものが多く甚だしきは邦商の意匠を模倣するものすらあるとの事であるので商工省では各關係輸出業者にかかる事なき樣注意する事となつた

新嘉坡で邦品型錄展

【大阪二十九日發本社特電】南洋市場に於ては最近邦品の需要盛んにして白人、印度人商人の邦品取扱ひを希望する者が極めて多く殊に新嘉坡商品陳列所の如きは內地に於て應じ切れぬ程の註文殺到振りである新嘉坡商品陳列所に於てはこの好機を逸せず邦品の實物紹介をなすべく明八年二月邦品カタログ、ポスターの展覽會を開く事になつた出品希望者は新嘉坡商品陳列所記入の上十一月三十一日迄に新嘉坡日本商品陳列所宛に送付の事

英國硫安
十萬五千噸の輸入申請

【大阪二十九日發本社特電】二十六日ロンドン發英商事會社入電によれば英國に於て今回國內賣り硫安の値上げを行ひ十二月物一噸六磅二志六片、一月物六磅六志以下先物は各月とも二志六片高と發表したがこの國內價値を土臺として本邦需要者値を計算すると諸掛り入れて一月積み內地三月渡し百十五圓十二錢となり、二月積が百二十一圓七十錢、三月積百二十三圓七十錢見當となる、而して現在三井三菱及び全購聯で約十萬五千噸の硫安輸入許可を政府に申請してゐるが、輸入硫安がいくらかの割引あるとしても內地市場相場が百五六圓であるから引合ふかどうか疑問視されてゐる

臺銀券の大膨脹
前年より九百萬圓の增加　內地札に現れた景氣觀

臺銀發行券二十八日發行高は四千四百六十六萬圓でこれを昨年同日の三千五百五十七萬圓に比べると實に九百九萬圓の膨脹である、この

原因は 大體十一月は二期作米收穫並出期に入るので米資金需要多く今年は昨年に比し特に米價に砂糖の增產高値に惠まれ更に一般諸物價も高く春頃から四、五百萬圓の膨脹をつづけて來たが十月十一月に入つては更に目立つて增加し、さる二十四日の如き四千五百九十八萬圓で昭和三年十一月以來の最高記錄であり、又十一月に入つての發行增額は實に三百九十五萬圓で、之を前年の百三十三萬圓に比べると二百六十二萬圓からの增加である、又十一月十五日から二十四日までの十日間の發行增加高に見ると四百九十八萬圓といふ

急激な 膨脹ぶりで十一月としてはレコードをなすものである、この形勢から見て今年の暮は確かに昨年に比べ全般的に景氣が出る可能性多く、又この臺銀券膨脹の一つは、近來島內流通の日銀券の受拂的長に現はれた現象に見るべく一月以降九月末までの調べで內地への支拂が四百十五萬圓で昨年に比し二十八萬圓多く內地から入つて來た高は二百二十一萬圓で昨年より三萬圓の減である

この事 は明らかに臺灣の經濟界原料商況等が好轉を示すものと云へやう

水銀
—中研— 硅溪子—

水銀は今から二千二百年前に既に知られてゐた記錄がある此ものは中古錬金術師時代には凡ての金屬の素と考へられて居たもので其今日光澤をもち乍ら液體として存在する事は昔の人の驚嘆し所であつた。此ものの產地は往古にあつてはスペイン及イタリーを主とし近代に入つて之に加ふるにカリフオルニア、チエクコスロバキア、ニュージランド、アルジエリア、メキシコ等も相當な產出をする樣になつたが昨年迄に老舗のスペインとイタリーとが手を握つて「メルクリオ、ユーロペオ」と云ふカルテルをつくり世界の水銀市場を獨占してゐる形であつた

▽—△

水銀は非常に重いもので其一竏の重量が一三・六瓦ある、もつと分り易く云へば石油罐に一杯が六十五貫目ある。だから之が商品として貿易するに硝子や陶器では一寸ぶつかつても毀れるし毀れると流れて了ふから容器に硝子や瀨戸物は使へない。と云つて此ものは大概の金屬とアマルガムをつくるから金屬の容器に不向であるが好い按配に鐵は水銀にとけないそれで水銀は鐵製の小さな酸素形の罐に入れられて取引されつつある此罐の中味が約二立半で中味の目方が七十六封度である。水銀の相場は此罐一本が標準になつて居るもので昨年の春までは之が一本で凡そ廿一、二磅であつた。所が水銀の需要は色々の原因で段々に減じて殆ど半減しメルクリオ、ユーロペオのストツクが山積すると云ふ有樣の爲に昨年の夏頃から相場が下向きになり今では一瓶四磅と云ふ安値を見せてゐる。而してスペインのアルマドンと云ふ水銀山は閉鎖されイタリーのメルクリアエラ鑛山も作業を中止し其他の水銀鑛山は何れも前途暗澹と云ふ所であるが之で思ひあたるのは昨年の春頃メルクリオユーロペオが懸賞を以て水銀の工業的新用途案に付いて大懸賞をやつたことである

▽—△

再び工業界にも既に一般に知られて水銀需は以上の樣な狀況だと內閣消費の程度以上にこれを敢行させることは中々困難なのである。但其經費、用途として出資金が或は相當多額について出て來やしまいかと云ふことは更に一顧を要する點であると思ふ

小兒保險契約高
遂に一億圓突破
實施後一年にして　此の素晴らしい景氣

簡保の小兒保險は今年九月を以て滿一年に達し其の間異狀なる好成績を示し實施當時は豫想せざる好成績で加入募集に手心を加へて生命保險の理解者に加入を望むといふ位にしてゐたにも拘らず九月末現在に於いて保險金額は早くも一億圓を突破するに至つた。九月末現在の詳細なる狀況は未だ調査中であるが、今件數、保險料、保險金額を見れば次の如し

件數	八四、八〇三件
保險料	五四、六〇八
保險金額	一一〇、〇五五、四四〇圓

最近の新契約高を見るに

十月分	八、七六七、〇七八圓
十一月上旬分	二、七九七、八八〇
合計	一一、五六四、九五八

之れを九月末現在の分と合して見るに一億二千六百六十三萬三百九十九圓であるから解約、失效等を差引いても十一月末現在に於いては優に一億三千萬圓には達する模樣であると

丸糯移出
二十九萬二千餘袋　在庫十萬袋突破

二十八日基隆出帆吉野丸は一期丸糯大阪揚一、五八〇袋、神戶揚九、八九五袋、門司揚六、九五〇袋計二七、四二五袋と二期蓬萊米二、三三〇袋、一期蓬萊米一、〇〇〇袋を積取つた、之にて兩港積一、二期米の移出累計は次の通りである

一期丸糯	一二九、二二〇袋
同 蓬萊	三三九、八八〇
同 在來	一五、〇六〇
同 長糯	四、二九五
二期蓬萊	四、四一九、五〇八
同 在來	二五五、一〇八
同 丸糯	一、六三、五〇六
同 長糯	八一、六三二

尙丸糯の出廻りは非常後益々增加し二十九日の基隆在庫は三萬五千八百四十七袋同日の在庫は十萬七千三百四袋に達した

ソ油がカナダへ
契約調印成る

【大阪二十九日發本社特電】モスクワ發蘇聯邦石油輸出トラストとカナダとの間に石油輸出契約の調印を了した右契約によれば一九三三年度には十二萬噸即ち百五十萬弗の石油をカナダに向け輸出される筈である、尚ソヴエツト聯邦よりカナダ向けの石油輸出は本年はじめて開始されたが既にその輸出量は五萬五千噸即ち五十萬弗以上に達してゐる

臺北洋服商組合
同業組合に改組

臺北洋服商組合では正式に同業組合を組織すべく目下種々準備を整へてゐるが同組合の書記中村尙介氏は二十九日午前十一時臺北州勸業課に小池產業主事、高石屬を訪問同業組合に關する下打合をなし正午辭去した

日糖虎尾最初の實績
可製糖量一割二分六厘七　第二工場の開始を延期

大日本製糖虎尾第一工場は既報の如く去二十六日より今期製糖作業を開始したが、第一日はアベラブル（可製糖量）がA區（原料）一割二分五厘、B區（原料）一割二分六、七厘を示し第二日は兩區共一割二分六、七厘を示した、右區採取原料は海岸地域より採集したものであるが此の地域には季節風の被害を蒙りたるもの多く殊に本月十一、二日の季節風は可なり強烈であつたので葉を枯らしたものさへあり糖度の低下を恐れ採取を早めたのであるが、若し季節風の被害がなかつたならアベラブル一割三分臺位に上つた筈である、前期と今期と二年續いて季節風の被害を蒙りたるは珍らしいことであるが、それでも右の步留成績を示したのは海岸地帶の甘蔗が比較的成熟早いと採取より壓搾迄の時間を短縮し且つ原料調製を良くしたためである尙虎尾第二工場、山手の甘蔗の成熟遲延、其他の事情を考慮し十二月一日開始の豫定を同月十二、三日頃に延期することになつた

花蓮港の金融

花蓮港街の年末金融狀況につき佐藤臺銀支店長は左の如き觀測談を述べた

相變らず貸付金の回收難で小賣商人は困つてゐる、これは農作物の安値が持ち直さなければ回復しない。そろそろ資金需要が見えて來たがこれは年末仕入資金ではなく物貨ひ資金と見られる、七、八月頃は遊金多く預金が多かつた、年末は昨年に比すれば依然梗塞は免がれぬが割合に物價高の餘勢をうけ資勢があり好況と言はれるだらうと

臺銀支店設置を島田臺銀頭取に懇請
彰化街民代表上北運動

彰化の實業協會長近藤之助、副會長呂世明、頼炳烈、高金山、許姓の五氏は二十九日朝來北、午前中臺銀本店に島田頭取を訪ひ彰化に銀行が增設されたいとの要望は啻に實業協會のみでなく今や全街一致の叫びであり、此際一時も早く臺銀支店を設置されたいとの懇願をなしたに對し島田頭取は事情は理事から聞いてよく解つてゐる、地方の繁榮發展上から云つても臺銀としては少々の犧牲を拂つても街民の要望を容れ出張所若くは出張所を開設したいと思ふのであるが手續上直ぐといふわけにも行かず內地では銀行濫設防止の爲め出張所でも大藏省の認可を要することになつて居り本島でも此の點の手續きが問題であるし定款の變更をも要するから……とて頗る親切に熱のある應答振りに一同滿足して宜敷お願ひして辭去し更に總督府金融課に本多課長を訪問陳情せんとしたるも病氣不在の爲め江藤殖產課長に傳言方依賴した尙平塚長官は差支への爲め面會出來ず一同は同日下り夜行で歸彰の途に就いた

八、九年期の甘蔗植付
十月迄に八割二分強

糖業聯合會臺灣支部調査によると新式製糖十一社の八、九年期の植付は十月中の植付一萬九十八甲にして九月迄の植付五萬四千百四十七甲を合せ六萬四千二百四十五甲に達す植付豫定面積七萬七千八百十四甲（畑面積を含む）に對し八割二分強に相當す、八、九年期植付は前年同期に比し七月植が少く八、九月植が割に多く十月にて早植は一段落を告げたが大體に於て植付時期が繰下げとなつてゐるのは他作物との關係もあるが各社共甲當收量の增加よりも甲當支出の減少即ち甘蔗生產費を低下する爲め植付より收穫までの期間を短縮する方針をとつたからである、各社別に十月中の植付と累計植付甲數を示せば

	十月中植付	十月迄植付累計
臺灣	五、一七三甲	一七、六四〇甲
明治	一、五〇二	二、五二九
大日本	七三三	一四、七〇〇
鹽水港	九七	八、八四七
帝國	三四三	三、六八九
新高	八五九	三、四〇九
昭和	—	一、三〇一
新興	五八	一、二五五
沙轆	—	八五九
臺東	四	八五〇
新竹	—	三四五
計	一〇、〇九八	六四、二四五

次に植付豫定總面積と十一月以降の植付見込を示せば

	植付豫定總面積	十一月以降の植付見込
臺灣	二〇、一三三甲	三、四九三甲
明治	三、六〇〇	二、〇七一
大日本	一六、一五五	一、四五五
鹽水港	一〇、七〇七	一、八二〇
帝國	七、〇五五	三、三六六
新高	四、〇三三	五八三
昭和	二、三三〇	九六
新興	一、三二〇	六五
沙轆	八九六	三六七
臺東	八五〇	—
新竹	八〇〇	三五六
計	七七、八一四	一三、五六九

因に十月迄の植付面積の內會社自作は一萬六千八百六十五甲、一般農作四萬七千三百八十甲である

實需期に入つて硫安品不足
肥料統制案で解決か

【大阪二十九日發本社特電】最近の硫安市價暴騰に關し肥料實需期に於ける農家の困窮が考慮して農林省では過日協議を開いてゐるが林省では過日此の統制を徹底すべき有效なる方策については未だ全く成算なきものの如くである農林省の調べによれば現在全國で運轉しつつある各硫安の製造高並に他の輸入高を相當多く見積つても本年の實需期に凡そ十五萬乃至十萬噸の品不足と見てゐる農林省ではこれに對し外安輸入に待つ外なしとし三井、三菱其他より申請してゐる十餘萬噸の輸入許可方を急いでゐるが商工省では品不足せずとて反對意見を持してゐるため依然として悩みの狀態で農林省では更に商工省と折衝を繼續すべく困惑してゐる、結局來る臨時議會に提案する肥料統制案により解決を圖ることとなる模樣である

現下農村に於る施肥量不足
內地千五百町村の調査　窒素、燐酸各二割

肥料價の大暴騰に際し全購聯では之が對策を協議しつつあるが、此の如く肥料消費量を見るに於ては來春肥手當を前に發破たらざるは免れない。近來の不況は遂に現下農村に於ける施肥量にも影響を及ぼし、施肥の理想量にはなほ及ばざる所遠き狀態にあり。即ち最近全國二十一府縣約一千五百町村に於いて農業調査を行ひし結果によれば、窒素、燐酸加里になほ二割程の施肥增加を必要とされてゐる之が增加により反當收穫約一俵を增し得るものである。なほ一昨年全國の稻作狀況を約二千五百町村に於いて調査せる所によれば、その施肥量反當り窒素十貫三百匁、燐酸一貫五百匁が適當とされてゐる。更に各府縣農事試驗場で調査せるものによれば窒素に於て二貫五百匁より三貫目位を理想とされてゐる

プラナモンド社
引揚に非ず

【大阪二十八日本社特電】日本プラナモンド社は買價の下落で營業種目品であるが英國プラナモンド社アルカリ製商品を初め硫安等の輸入採算の騰貴により日本內地販賣が困難となつて來た結果先頃神戶本社及び東京支社の人員整理を行ひ爲にプラナモンドの日本引揚説も傳はつたが事實はブ社從來の成績が關東地方が面白からず經費節約のため今後東京を單なる出張所とすることになつたと

大阪三品理事長後任者

【大阪二十九日發本社特電】缺員中の大阪三品理事長には日本棉花取締役兼三品理事の中村和三郎氏が擬せられ同氏の就任內諾及び各方面の諒解もあつたので確定的と見られる

歐洲甜菜糖
十月中產高

【ロンドン二十七日發本社特電】歐洲大陸諸國產甜菜糖產出狀況は良好、十月中の產糖高左の如し

	十月中	昨年同期
ドイツ	三四〇、三六	三三二、〇〇五
ハンガリ	五七、〇三三	五九、七四
フランス	二四、七三	二五二、四三
オランダ	五七、五七	五六、六五

今週末供給可能高七百六十五萬四千噸（前週末七百十三萬五千噸、昨年同期七百三十八萬六千噸）チヤドボーン協定による棚上數量は不變

大株雜觀

【大阪二十八日發電通】下値淋しいと見る秋派の利喰急ぎと手を強氣の恐日逆張買に出直りに轉じた相場は大新の五錢增配が織込んだ所に全般の人氣をよくし海外材料には爲替安以外は一齊不味で戒慎問題が歐米の財界に及ぼす影響を懸念され一面臨時議會の形勢が案ぜられ居るが相場の立直り模樣に買警戒され寄付から騰りを示し殊に大新が五厘方增配を重役會で內定したので利喰以外、新規買物なく布施、細字等から各一千枚の利喰に對し竹鶴二千五百枚、山本、金田その他の優勢買で大新は八十三圓六十錢と寄り五圓五十錢と過般の高値に肉薄する活躍振に全般の買氣を刺戟した東京は今一つ氣乘薄であつたが遂に西高に牽制され東京の現物方面の買氣を殘り好調を呈した、然しまだ玉整理、完了と見られないのと環境も依然樂觀を許さないだけ此の保本直りに轉化するか否かは疑問視されてゐる

東京株況後場

【東京二十九日發電通】後場は當限後の立會とて整理商內大部分であつたが引續き賣物寄の商情で雜株には物色買あり原糸方は商...

堂島雜觀

【大阪二十八日發電通】警戒的人氣が最近稍や買に傾きつつあつたが今朝は第外買物殺ひ氣味相場は一段と引締りを呈した休日中產地正米は內地共買物寄を呈し鮮米は時に氣丈を傳へ米白證に好感を與へ現物株綿糸等支拂に轉じた爲め地場氣勢有利の買氣を殘つた買上成績不良に秋派の一角には先行米免れの一因になると見てゐるが差當り產地は買惜みの振合にあると同時に總ての商品界を通じて登高見越人氣漸次濃厚となつて思り買氣は衰へ難い

商況（廿九日）

米況

臺中米價（二十九日）

蓬萊米一期七、〇〇錢、一期七、五〇錢、丸糯二期八、四五錢、在來米（籾袋）九、四〇錢、長糯七、〇〇錢、出來高蓬萊米一三、七九〇袋、丸糯二〇、三一四袋（臺中市況）

臺米現物相場

（基隆渡百斤）

		前日對比
二期在來米	六、二五	五高
北部一期蓬萊米	七、〇〇	八高
北部二期蓬萊米	七、三五	三高
中部一期蓬萊米	七、一〇	一〇高
中部一期蓬萊米	七、四五	五高
中部二期蓬萊米	七、二〇	一〇高
南部一期蓬萊米	八、三六	一六高
北部二期丸糯米	八、四五	一七高
中部一期丸糯米	八、二〇	一〇高
南部二期長糯米	七、〇〇	一〇高

基隆在庫米（二十九日現在）

一期蓬萊米	六、六三
二期蓬萊米	一、二〇〇
一期丸糯米	二、九八一
二期蓬萊白米	四六九
二期丸糯米	一、七四
一期在來白米	三三五
二期丸糯白米	一六
一期長糯米	三一
合計	二四一
到着米二四	九〇、〇二三

高雄在庫米（廿九日現在）

一期在來米	一、〇四〇
一期蓬萊米	四、五九七
一期長糯米	二、三九五
一期在來米	一、三九五
二期蓬萊米	四八、六〇
一期丸糯米	九、二七五
一期長糯米	四、四〇一

正米市況（後場）

蓬萊米	中
不	七、四六
丸糯米	七、四六
三十日限	五日限

堂島米況前場

【大阪二十九日發電通】正米は引續いて頑強ながら環境不冴えに高値買は自重され月末當限納會に直面し乘替と手詰に叩かれ相場も閑散

堂島雜觀

りを入れたが當限は納會闊係に二十二圓五十四錢と下放れたが先に地場軟派正米筋買り中東筋、朝鮮筋けひ二十三圓九十八錢と手堅く當限筋手越買に十八錢と乘落し地場買に八十四錢と引込 後方の乘替筋內に七十三錢と叩かれ當限に一貫內十錢と納會し先は七十九錢と小戾して大引

堂島米況後場

【大阪二十九日發電通】當限落後の後場は氣が弱に氣乘薄く地場小口一、二百石の商內で二十三圓八十二錢と小堅く寄り跡マバラの手詰賣物富み三圓八十五錢と押し商內に八十五錢と底堅く大引本日の出來高三四一、四〇〇石

堂島前場先限

主なる手筋

賣方 正米筋乘替（田中常）東京筋乘替（田中常、上楠）場筋（岡米、水井清、妹尾）地場乘替（岡米、水畑）中東筋乘替（北川）
買方 中の谷（小河）（文前、湖先）地場（芳賀、磯貝）

大阪 八、一〇〇石 二二圓七〇錢
神戶 一、〇〇〇石 二二圓八〇錢

各地期米當限受渡

臺灣二期丸糯 八、八〇

數 値 段

大阪中の島正米市場

各地正米

大阪、神戶 保合
東京（深川）（神田川）一、二三十錢高

堂島兩建除俵合

中限へ四八、〇〇〇石
買方 小河以下二店
先限一四七、八〇〇石
賣方 小河以下二店
買方 北川以下二六店

神戶期米

▲後場

東京期米

▲後場

大阪期米

▲後場

	中	先
當	二二、三九	二三、八三
一	二二、三八	二三、八一
二	二二、三六	二三、八〇
三	二二、三三	二三、八一
四	二二、三四	二三、八一
五	二二、三八	二三、八九

正米市場

公定相場・出來高

當	七、四〇	一〇二五
中	七、四六	四九
先	七、二二	六車
三十日限	八、二九	六三
五日限	八、二八	四二
十日限	八、二九	四一
十五日限	八、三一	三二二
二十日限	八、二八	二〇
其他不申		四〇
總出來高		八六三車

期米氣丈に買氣依然旺盛にて蓬萊丸糯とも更に小締る、出來高蓬萊中限三十三車、先限二車、丸糯五日限十一車、十日限二十一車、十五日限二十二車

落	十五日限	二十日限其他
八、四二	八、四四	八、四四

株式

東京短期

▲後場

	寄	引
東新	一八〇、〇〇	—
同新	一三三、〇〇	一三三、〇〇
鐘紡	一三三、〇〇	—
日魯新	四〇、一〇	—
明糖	九三、九〇	九三、八〇
滬野新	二九、〇〇	二八、九〇
日產	四八、二〇	四八、一〇
日石	四二、四〇	—

大阪短期

▲後場

	寄	引
鐘紡	一三三、一〇	一三三、〇〇
同新	一一二、八〇	一一三、九〇
東新	一七九、九〇	一八一、六〇
大株	八七、六〇	八八、五〇
同新	八四、〇〇	八五、〇〇
商船	三四、二〇	三四、二〇
滿鐵	五八、九〇	五八、五〇
日糖	七七、九〇	七七、七〇
日魯	五〇、九〇	五一、一〇
滬野新	二八、九〇	二八、九〇
日產	四七、九〇	四七、九〇
レヨン	四三、六〇	四三、六〇
日毛	一五、四〇	一六、六〇
東洋紡	一六六、六〇	一六六、七〇

大阪長期

▲後場

	寄	引
大株	八七、三〇	八七、三〇
同新	八四、三〇	八四、九〇
鐘紡	一二九、五〇	一二九、七〇
同新	一一二、四〇	一一二、八〇
日糖	七六、四〇	—
同新	—	—
明糖新	五二、〇〇	四〇、〇〇
商船新	三六、六〇	三四、六〇
同新	一〇、二〇	—

砂糖

ニユーヨーク爲替

▲先物	
二〇弗二分一買	二〇弗八分三買
二〇弗八分一賣	二〇弗四分一賣
二〇弗四分一賣	二〇弗八分一賣
米日爲替	二〇弗五〇仙
米英クロス	三弗一八仙二分一

大阪現物

三温（ＯＢＢ）	一七圓六〇錢
分蜜（Ｍ３）	一七圓四〇錢
精糖（國）	二三圓一〇錢
同（爾）	二三圓二〇錢
同（日）	二三圓二〇錢
耕地白糖（ＡＸ）	二二圓九〇錢

玖馬 一弗

爪哇 直積 六盾〇五仙

十二月積	六盾
一月積	六盾
二月積	六盾
三月積	六盾

大阪清算

▲前場

	節	
十二限	一三、四五	一限 一三、五七
二限	一三、六五	一限 一三、一六
十二限	一三、四五	一限 一三、一三
二限	一三、六二	一限 一三、〇九
十二限	一三、三八	一限 一三、四八
二限	一三、五七	一限 一三、一〇

穀肥

シカゴ小麥

十二限	四二仙八分一
五限	四六仙八分七
七限	四七仙四分一
出來高	二千萬ブッセル

神戶豆粕

▲前場

	節	
十二限	一三、九三	一限 一三、九三
十二限	一三、九四	一限 一三、九四
十二限	一三、九四	一限 一三、九四

絲況

大連特產

▲前場

	寄	引
大豆現物	五、〇〇	五、〇六
十一月限	五、〇六	五、〇七
十二月限	五、〇九	五、〇八
一月限	五、一三	五、一五
二月限	五、一九	五、一九
三月限	一、六三〇	一、六二五
豆粕現物	一、六三〇	一、六三〇
十二月限	一、六四〇	一、六四〇
一月限	一、六四〇	一、六五〇
二月限	一、六四五	一、六五〇
三月限	一、四〇〇	一、四〇一
豆油現物	一、四〇〇	一、四〇〇
十二月限	一、四〇〇	一、四〇〇
一月限	一、四〇〇	一、四〇〇
二月限	一、四〇〇	一、四〇〇
三月限	一、四〇〇	一、四〇〇

大阪綿絲

▲前場

棉棉 休み

米印 六十錢安

大阪棉花

▲前場

	寄	引
十一限	一九五、八〇	一九六、二〇
五限	二〇一、〇〇	一九九、六〇

横濱生絲

▲前場

十二限	四七〇、〇
五限	九二三、〇
五限	九一三、〇

公債

東京國債

	寄	引
甲號五分利	九八、八五	九八、八〇
第三五分利	九七、七五	九七、八〇
第一四分利	九〇、一〇	九〇、〇五
第二四分利	八九、〇〇	八九、九〇
二十八年物	九九、九〇	九九、八五
二十四年物	—	—
仲買公債	一五四、二〇	—
國債出來高	一七八、七二五四	

東京銀行實株

正金 銀五三、二〇 同新三四九、五
臺銀 七七、〇〇 同新 五六、〇
勸銀 七七、三三 同新 一二〇、一〇
鮮銀 六二、〇〇 同新 一五、二〇

ニユーヨーク株式

スチール株	三三弗四分一
アナコンダ株	八弗八分五

銀塊

倫敦現物	一七片一六分一
同先物	一七片八分七
紐育現物	二五仙六三
同先物	二六仙八〇

爲替

神戶日米爲替

▲期近

	寄	引
	二〇弗八分三賣	二〇弗四分一買

創業明治四十五年
株式現物問屋
高橋□□商店

今日の番組

J・F・A・K　十一月三十日(水)

午前の部

【五・三〇】國際放送(ゼネバより中繼)國際聯盟會議に關する群衆その他
【六・三〇】朝の挨拶、ラヂオ體操、今日のお天氣のお知らせ、臺北測候所發表
【八・〇〇】全國氣象通報(東京)
【九・三〇】家庭百科問答△聽力の弱つたものによい補聽器ありや△アルミ湯沸しの鍋その他
【一〇・一〇】家庭料理獻立△深皿、小鍋のそば蒸し△小鉢、柚醤附燒大根おろし△椀、おこと汁
【一一・〇〇】日用品小賣値段 臺北市西門市場發表、臺南市西市場發表
【一一・五九】正午の時報、氣象通報(臺北のみ)臺北測候所發表

午後の部

【〇・一〇】放送局編輯ニュース
【〇・二〇】晝間娯樂時間(レコード演奏)ダンス・レコード 一、月に歌ひつつ二、パハマ、ママ三、薄明りと甘い音樂四、夢から醒さないで、(ヘンリー・ホール管絃樂團五、獨り者の戀唄六、棉畑の中の小屋、(ベン・セルビン管絃樂團七、目は口ほどに八、月もいらない、マスケレーダース
【一・〇〇】氣象通報(臺南のみ)臺南測候所發表
【五・〇〇】子供の時間(東京)お話「兒童唱歌コンクールの審査を終つて」

夜間の部

【五・二〇】子供の新聞(東京)開屋五十二
【五・二五】英語講座(東京)初等科第二十九講、岡倉由三郎
【五・五五】カレント・トピックス(東京)ハロルド・パーマー
【六・〇〇】子供の時間(臺北)お話「樂器の話」(その二)岩田泉
【六・三〇】物眞似の夕べ(東京及大阪)未定
【八・三〇】浪花節(味の素本舗鈴木商店提供)「大石妻子別れ」敷島大藏
【九・〇〇】浪花節(味の素本舗鈴木商店提供)連續「上州の劍神」第四席、敷島大藏
【九・二〇】時報、氣象通報、臺北測候所發表、臺日ニュース(臺北のみ)放送局編輯ニュース(臺南のみ)臺南新報ニュース(臺南のみ)公示事項告知事項、明日のプログラム發表

物眞似の夕べ(東京)

【午後六時三十分】

もうすつかり同好に馴染になつた聲色をおろしての放送で、次の順序で物眞似オンパレードで、最近古川緑波氏によつて創案された聲帶模寫まで一席はさまつてゐる

一浪花節　二落語　三講談　四聲色　五動物　六聲帶

ゼネバよりの非常時國際放送

【午前五時三十分】

▼國際聯盟會議に關する特別講演

お話『樂器の話』(その二)

(臺北のみ)【午後六時より】　岩田泉

一昨晩のお話の續きです。一昨晩はヴァイオリンやヴィオラ、チェロ、ダブルベース等の絃樂器についてお話がありましたから、みなさんのよくお分りになつた事と思ひます。今晩は先づ木管樂器の話から始まります。少さい五、六寸の長さの横笛で一番高い音の出るピッコロや、やさしい音の出るこれも横笛のフルートやそれからクラリネットやオーボエ、大きた形をしたファゴット、綺麗な音の出るイングリッシュホルンなどのお話に續いて金管樂器のトランペットやトロムボーン、それからホルンなどのお話、時間があればティムパニといふ大鼓のお話などもある筈です。此の樂器のことがよく分れば、管絃樂などで大へん面白く聽くことが出來ます

お話『兒童唱歌コンクールの審査を終つて』

中央審査委員長　乘杉嘉壽

—東京—【午後五時より】

去る二十六日の夜、熊本、廣島、大阪、名古屋、東京、仙臺、札幌の各放送局から、全國的の、ラヂオを通じての最も新しい試みであつた小學兒童の唱歌コンクールは大變な盛況でしたが、いよいよその審査が終つて、その結果を委員長である乘杉音樂學校長がお話になるものであります

子供の新聞(東京)

【午後五時二十分】　開屋五十二

英語講座(東京)

【午後五時二十五分】

▼初等科　第二十九講　岡倉由三郎

浪花節(臺北)

(午後八時三十分)(味の素本舗鈴木商店提供)

▲大石妻子別れ(赤穗義士傳の內)　敷島大藏

數ある元祿快擧のかげにかくれた涙の物語りの內の隨一「大石妻子別れ」の一席、四十七士の統領大石內藏助の話は敷島大藏師の熱演によつて如實に語られる

連續浪花節

【午後九時より】(臺北)

(味の素本舗鈴木商店提供)

▲上州の劍神　—第四席—　敷島大藏

劍神樋口十郎左衞門の波瀾極まりなき一生、いよいよ第四日目に至つて益々敷島大藏師の油の乘つた語り振りで物語は佳境に入る

晝間娯樂時間

【午後零時二十分】(臺北)

▲ダンス・レコード

一、ヘンリー・ホール管絃樂團　英國放送協會專屬のダンス・オーケストラである　最初がフォックス・トロットの「月に歌ひつ」次はルムバ・フォックス・トロットの「パハマ・ママ」その次が有名なジャズ作者バーリンの作になる上品な曲「薄明りと甘い音樂」最後が同じくフォックス・トロットで少し調子の早い「夢から醒さないで」

二、ベン・セルビン管絃樂團　手なれた歯切れのいい演奏、曲は二つ、最初が「獨り者の戀唄」次が「棉畑の中の小屋」二つ共フォックス・トロットである

三、マスケレーダース　マスケレーダースの演奏も二曲で最初がフォックス・トロットの「目は口ほどに」次がワルツで「月もいらない」

スポーツ社會學(上)

—末弘博士の「スポーツ・ファンを叱る」を讀む—

◇……林　要……◇

私は今までに「學問とスポーツ」とか「スポーツと宗教」とか「スポーツの階級性」とかいふテーマで書いたことがあるが、ここでは十一月號『改造』の「スポーツ・ファンを叱る」(末弘嚴太郎博士)の讀後感を少し書いてみたい。右の博士の文章はいろいろの意味で大へん私には面白いものであつた

◇

まづ博士は自らがスポーツマンを如何に遇してゐるかを示されてゐるが、それによると博士は、先般のオリムピック大會で優勝して凱旋した水泳選手諸君の歡迎會の席上、主催者として「諸君はタカが世界中で泳ぎが一番早かつたといふだけの事ではないか」と戒告され進んで「アマチア・スポーツマン」としての本領を失はないやうに即刻にもその本分たる學生生活に歸れ!と勸告されたといふことである——そして博士はひるがへつて、かの敗ければはなもひつかけないくせに勝てば選手たちを酒の肴に騒ぎたてる「譏れるスポーツ・ファン」を叱つて、彼らこそスポーツマンをスポイルする最たるものであると憤激されてゐる

◇

そこにはスポーツのために吾輩火を吐く博士の面目の躍如たるものがある「スポーツの淨化」はここから!とひそかに意を強うしたものも少くはなかつたであらう

◇

だが、問題はこれで解決されたであらうか?少なくとも、解決への道が指示されたであらうか?博士の言說はすべて「アマチアスポーツマン」と「正しいスポーツファン」との無條件的な承認を前提としてる——(この「スポーツファン」と「スポーツマン」とはあらゆる點において、モダン・スポーツ現象の互ひに補足的な二つのモメントにほかならない)では一體「アマチア・スポーツマン」とは、今はどんな性格をもつものであらうか?その主流をなすものは、いふまでもなく、學生(および一般インテリ)であつて、一應スポーツを「餘技」と、學術研究を「本分」とするところのものであらう。だが、ここで第一に問題になるのはそもそも今日の一般學生にとつてさへも學術研究が彼等の「本分」または「本業」となつてゐるか?といふことである

◇

今日、わけても專門學校や大學における學問が、スコラ的な形をとつて學問內ギルド仲間の嚴肅秘密の呪文となつてゐることは爭はれない事實である。これは社會諸科學において特に目につきやすいが、自然諸科學においても、やや違つた形ではあるが、同樣にいへることである。それは社會發展のかつての一武器であつた「學問」の腐敗の姿なのだが、その衣鉢はただ蒼白なギルドマン志望者によつてのみ繼承され、一般の學生大衆は專らカンニングの「勉強」にのみ忙しい有樣であつて、このカンニングは、いはば自分たちに何らの社會生活をも保證してくれなくなつた「學問」への一つの反抗なのである。そこでほんとの學徒は、歷史の發展などにおいてけぼりを食つた學校教育などには何らの期待も持たなくなり、ただ學問しない學生のみが一つの「餘技」または作法的作法として「學問」の牙城を守るのである。したがつて、そこでは寧ろスポーツ等々の「餘技」が「本業」となつてゐるのである

◇

だから、現在のスポーツは、學徒としての本領を發揮させるための補助手段ではなく、世界記錄のうちに分秒を爭ふ競技が、けつして食後の散步の代用になるものでないことは明かである。それが一般に體育上の必要から發展したものでないのは、大禮服や紋つきはかまが寒をしのぐ衞生上の見地から發達したものでないのと同じである

◇

そこで、學友會費や校友會費をかたむけ、ひろく天下に募金して「科學的」に養成されるチャンピオン諸君がもしチャンピオンとして來るべき大會にも優勝を期待されつつ、同時に「アマチア」=スポーツマンとして「本氣」に學徒たる本領をつくさねばならぬと戒告されたならば、彼らはさぞかしその去就に迷ふことであらう——

◇

今日のアマチア・スポーツマンはある意味では、プロフェショナル以上にプロフェショナルなのである(續く)

身の上相談

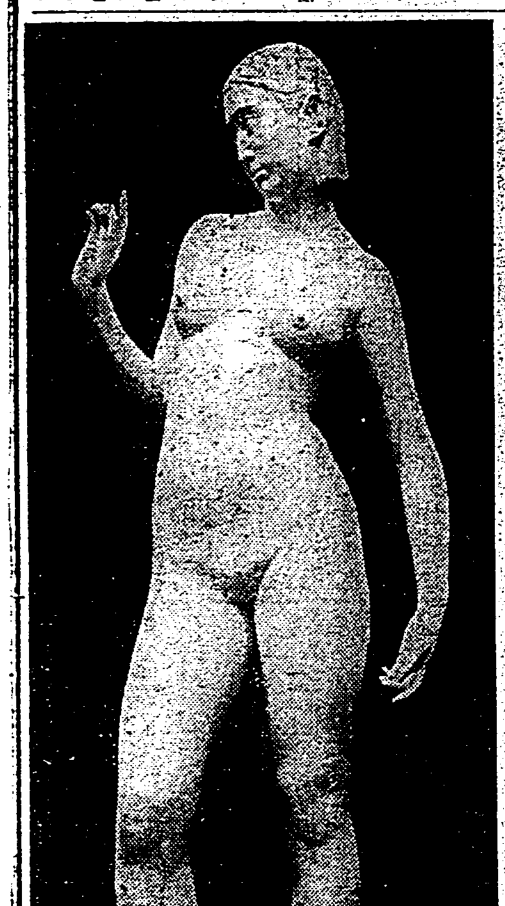
相談相手もなく思案に餘る精神上の問題で御相談になりたい方は手紙で身の上相談係宛で御申出下さい電話や面會はお斷りします

四千圓の花嫁が今は犬猫に劣る

私は四年前某女學校を出た本年二十三歲の女性であります。家庭では學業より外に何一つ知つてゐるものはありませんでしたが卒業して暫らくして親の手で我が家庭と全く階級違ひの現在の富豪家庭に聘金四千圓で縁談を定めました。私としては相手に對し何か何やら存じませず勿論愛なんてあつたものではありません、唯數十萬の財產が染みで結婚して了ひました、それが爲め今日私は全く犬か猫よりも惨めなものになりました、犬でも猫でも忠實に勤めれば主人から愛されるけれども私はどんなに盡しても働いても常に白眼を以て睨まれる外ありません、のみならず彼は他の女を抱へ或はカフエーや女郎屋にて有ゆる放縱性を盡しに家へ歸ると散々私を打ち擲るといふ有樣です、そしてお前一人位打ち殺した所で何でもないなどと非人道な事を言つて私をいぢめます、私にこれ以上盡す力はありません、こんなにも人間でありまする、こんなにまでされてゐねばならぬのでせうか、ああ四千圓の聘金が怨めしい限りであります、係樣この苦きに居る處理する方法をお授け下さい(二十三歲女)

良い妻として愛して更生なさい

あなたは財產に眼がくれ、あなたの兩親は聘金の高に夢中になつて釣り合はぬ緣を無理に結んだ結果は現在の樣な破局を見るに至つたものと考へます。然し係は唯此の場合あなたに最後の努力を忠告して見たいと思ひます、世間の事や夫に對する妻としての態度振り等について恐らくあなたは餘り心得が持つてゐないでせう、今の夫が何の爲めにあなたを外にして他で放縱の限りを盡すのか、あなたの夫操縱術といふのが不充分ではないのでせうか、夫の心を巧に呑み込んで痒い所へ手が屆く樣に誠意よく盡すことによつて夫の離れた心をあなたは取り戾す事が出來ぬとも限りますまい、四千圓といふ莫大の聘金をあなたに投じた彼である以上あなたに對し全然愛が無いといふ譯のものではないと係は考へます、あなたとして此の點をよく考へ最後の努力を以て夫を心から愛するといふ氣持になつて誠をこめて盡して御覽なさい、一年位努力してソレでも駄目なら又別に考へねばなりますまい、その折こそ初めて御相談あればお答へ致しませう。兎に角あなたの愛や誠が足らぬものと考へますから死んだ氣になつて良い妻として更生される事をお勸めします(係)


=光芒(帝展出品)=　小室達作

SANTE

サンテ

殺菌と排毒の還元治病作用　最新最鋭の結核治療藥

【適應症】
肺結核、肺尖加答兒、肺浸潤、慢性氣管支加答兒、肺炎、急性並に慢性肋膜炎、結核性腹膜炎、喉頭結核、淋巴腺結核、腸結核、結核性下痢、肺門淋巴腺腫脹、脊椎カリエス、腰痛、骨並に關節結核、結核性皮膚病、腎性膀胱

肺病は治る　と云ふ事の眞理を證し、[illegible]

「サンテ」には三種の別ありて各病狀に適合す
【種類】
「サンテ」一號は有熱期に適す(二〇〇錠入)二圓八十錢
「サンテ」二號は無熱期に適す(二〇〇錠入)二圓八十錢
「サンテ」三號は[illegible]結核性體質、腺病質、榮養不良に適す
[illegible]

「一號」「二號」「三號」

大阪市東區北濱一丁目
參天堂株式會社學術部

◇◇結核療養所訪問記◇◇

東京芝高台に北里病院(養生園)を訪ひて

結核病者の歡聲を聞く

目に見えて健康を取戾す患者の群——川島醫學士の激賞される「サンテ」の偉効

×

東京、麻布區、四ノ橋を渡つて西へ約一町、其處に荒けづりの石柱に「養生園」と淨彫りにされた表札の掛つた門がある。これが有名な故北里柴三郎博士の創設であり博士が最初に私設された個人病院で今でも北里病院の名を以て呼ばれて居る結核療養所である。筆者は秋晴れの一日、同所に於て朗かに病を養はれつゝある方々の御慰問を兼ねて、最新結核治療藥「サンテ」の効果に就て醫員の方の御話を伺ふべくその門をくぐつたのである。御多忙の中を折よく川島醫學士にお逢ひしてお話を伺ふ事が出來た。以下は先生の語られる所である。

×

「君も養生園の古い歴史は御存知だらう。いろいろと結核治療藥は使つて見て全部が試驗濟だ。處で「サンテ」だが、あれは非常に成績が良いね。養生園では一日三・〇瓦以下より處方して居ないのだが、それで素晴しい効果が上つて居るよ。「サンテ」を服み出すと殆んど例外なく結核患者に禁物の食慾不振が恢復して來るし、盜汗も止まるし、下熱劑を使はずに熱が下つて來るし、患者の苦痛がとれて自他覺的症狀がズンズンよくなつて行くのは見て居て實に愉快だよ。僕は非常な興味を持つてその成績を見て居るんだが、從來の結核治療藥より正に一頭地を拔いて居る事は確だね。こんな愉快な話を聞かせやう……先頃布哇からはるばる北里先生の名を慕つて入院した患者があつてね、僕がその人を受持つて五ケ月間、ありとあらゆる藥劑をやつて見たんだが、一向に熱が下らないんだ當時マダ僕は「サンテ」の使ひ初めで半信半疑だつたが物は試しと取り敢へず「サンテ」を三・〇瓦宛、五日間服ませて見たんだ。所が不思議に……イヤ不思議と云つたら語弊があるがね……ケロリと熱が下つて僕自身呆氣に取られたかたちさ。勿論患者は大喜びと云ふ始末なんだ」

事も無げに語られる言葉ではあるが、遠い布哇からワザワザ內地に渡つて來て治療を受け樣とする位であつたに違ひない。その結核であるから病勢進行した患者が入院五ケ月間、川島醫學士の苦心も效果なく苦しみ拔いたその悩みを僅に五日間で見事に「サンテ」は解決したのである。先生の御期待を果し、患者にこの喜びを齎した「サンテ」が養生園中に激讚の聲を擧げさせたのも無理はなからう。

×

先生のお話は續く——

「それから僕も一層自信を得て使ひ初めるし、他の醫員連中も本氣に使ひ出すと云ふワケで「サンテ」は果然本院の寵兒となつたのさ。これを見給へ。この處方箋の綴りにも殆んど全部「サンテ」を處方して居ないものは無いよ。ソレ三・〇瓦、これにも三・〇瓦、こゝにも三・〇瓦、これは二・〇瓦だな、輕症の患者なんだらう。……」

先生が一枚宛繰られる處方箋に、どれにも例外なく最つ先に大きい字で「サンテ」何瓦と書かれてある。

「マア、兎に角「サンテ」が結核に對して稀に見る良い藥劑である事は疑ひのない事實だ。ハッキリと自分が使つて見て自分で効果を見屆けた僕として明らかに同意し得るね。一體に醫者と云ふものは食はず嫌ひの人が多いんだ。いろいろ文獻を見たり發表を聞いたりしてもなかなか自信が無いと自分で使つて見たりしないものだよ。僕なんかも大いにその部類に屬する人間なんだが、「サンテ」には不思議と縁があつてね。これを使つたお蔭で患者は喜ぶし、僕も助かつたわけさ。アハヽヽヽ」

興奮される先生に筆者が全國の結核療養所訪問記を書く事をお話すると、先生は

「大變にいゝ事だ。世間には結核に對して未だ誤つた先入觀念に支配されて居る人達が隨分に多いからね。しかも肺病國と云はれる日本であり、全國に貳千七百萬人の治療を要する結核患者があるんだから……大に撲滅運動を起すべしだね……僕の話を書くつて?遠慮なく書き給へ。ありのまゝを僕が話したんだから訪問記にでもなる事から結構だ。書き給へ。最近慶應醫科大學病院の方にも結核病棟が出來るから僕はその方へ廻るかも知れない。あちらへ行つてからも「サンテ」は大に使つて見やうと思つて居るよ」

×

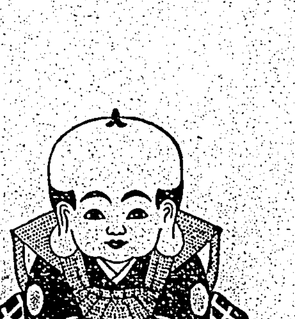
氣候のせいか外來患者が澤山詰めかけて居る。蒼白い顔、痩い咳の音、廊下に溢れた人達の足音が心なしにか力弱く感じられる。あまり長くお邪魔をしては御迷惑と腰をあげる筆者に

「勿論完全に報告すると云ふのではないが、僕の所で專門的な立場から患者の喀痰檢査をやつて居る色々の藥を長い期間服用させて一定期間にその喀痰の量とか、質とかを調べて居るんだ。「サンテ」を服ませた患者の喀痰も檢査をしたが、その成績もなかなか良い。マアこんな事は早計に云はれない事だからこの位にして置かう。」

と先生はつけ加へられて、今日は忙しいが又次の機會にドッサリと「サンテ」に就てのお話をしやうと約束された。門を出ると道の向ふ慶應女學校のグラウンドから、此處にこの病世界の存在するのを知らないかの樣な、はしやぎ廻る聲が流れて來た。然しこの病世界にもやがて明るい時代が訪れるのだ。キットその時代は「サンテ」が作るんだと信じながら筆者は歸途についたのである。發生園を初めとし全國の官公私立大病院、療養所に續々と採用され日本有數の臨床大家六十餘博士に賞讚推奨された醫家用「サンテ」は、一〇〇瓦、二五〇瓦、五〇〇瓦、の三種があり、大阪市東區北濱二丁目、參天堂株式會社學術部(振替大阪三五七番)で發賣せられて居る。

一足て冬を忘れる

福助足袋



穿きませう幼馴染のこの足袋!

姉妹品
家庭足袋
萬歲足袋
福運足袋
寶船足袋
大象足袋
おとめ足袋

御用命は、赤い丸看板の
福助足袋販賣店

不變不銹鋼 日本で發明さる
東北帝大增本博士の手で 海軍が大量の註文

【仙臺二十九日發電通】東北帝大金屬材料研究所增本量博士はフランスのギオーム博士の發見にかかるアンバー鋼の缺陷を指摘し、更に研究の結果超不變鋼を完成し昨年學士院賞を授與されたが、今回これに更に一歩を進めた不變不銹鋼なる鋼を發明するに至つた、この鋼は鐵、コバルト、クロームの合金で世界的な發明と言はれ、これ以上のものは理論上から人力を以てすることは不可能と言はれてゐる、博士はこれを過般の大演習に際し大阪で天覽に供したが、日本では既に特許を得て居り目下各國に出願中である、この鋼の特質は絶對に銹びず又伸び縮みなきもので、海軍ではこれを大艦其他に使用すべく大量の註文を發して來たので住友製鋼所に依賴し製作中であるが、世界製鋼界に一大センセーションを起さしむる新發明である

遭難佛人所持品 大金と拳銃
船長は一萬五千弗所持

二十八日夜新莊郡下鼠海岸で救助されたフランス・ジャンク船は船名「フーボー」で乘組員は左記
▲船長 佛人 四十二歲
▲副船長 佛人 二十九歲
▲水夫カンサス人二十二歲▲同二十歲▲コック佛人十八歲
五名であることが判明した右五名は十一月二十二日上海、吳淞を發し世界漫遊の目的でマニラに航行の途中遭難したもので上海には本年十月一日漢口より來たといふが遭難者の所持品は左の如きものであつたと
△船長拳銃（モーゼル）四挺、同彈丸八百發、獵銃三挺、同彈丸五百發、ブローニング拳銃一挺、同彈丸百五十發、支那骨董品及び現金合計一萬五千弗△副船長支那骨董品織物現金合計七千弗△水夫及コックの所持品約三千弗

萬歲に迎へられて 二勇士きのふ凱旋
臺北驛頭は大賑ひ

上海事變の起るや彼地に出征武勳を輝かせて凱旋せる二勇士……鐵道部檢查所勤務吉村勝治君と榮町中林陶器店員山中錦治君は二十九日午後三時三十一分臺北驛着列車で歸北したが、驛頭には國元州內務部長、川添市助役を初め鐵道部員、大同會、京和會、在鄉軍人會、愛國婦人會、榮町青年團女ら多數の出迎を受け「萬歲々々」の聲に迎へられて元氣に臺北の土を踏んだ吉村君は驛より祝凱旋の旗を先頭に出迎への人々と共に中林陶器店に到つて祝盃を擧げ、山中君は檢車所員と共に臺灣神社へ詣で鐵道俱樂部に入りて凱旋の盃を擧げた（寫眞向つて右山中君、左吉村君）

上海事變出征の 高木次雄君凱旋
十二月三日基隆著で

上海事變へ出征して十二月三日基隆著大和丸で臺北に凱旋して臨る元總督府土木課勤務であつた高木次雄君がある。君は下谷府町三ノ二高木民治氏の次男で昭和六年一月第九師團山砲兵第九聯隊に入營し本年二月七日金澤より上海に出征して江灣鎭、大場鎭の激戰に參加した者である。江灣鎭の激戰では彼の十九路軍の爲戰死した林聯隊長以下多數の將官兵卒と共に戰火の間を驅廻したのだと言ふが宮隊少佐が行方不明となつた際には同戰野にあつた勇士で除隊歸休となるや下士官適任證を付與されたものである。三日凱旋の當日は同君の爲朝野の名士の他臺北在鄉軍人、大稻埕公會員、土木課關係者、商工學校同窓生等多數驛頭に出迎へる事となつてゐる（寫眞は高木次雄君）

十二月初めに 陸軍でボーナス
兵隊さんには正月 うんと御馳走

【東京二十九日發本社特電】押し迫る年の瀨、ボツ〳〵ボーナスの囁きが聞かれる頃となつたが事變以來非常時日本を一手に背負つてゐるかの觀ある陸軍でも十二月初旬各部隊一齊にボーナスを支給することとなつた率は月俸二百五十四以上十三割、百四以下十四割、然も下官は一率に十割を支給される筈である、昨年に比して率が少し良い方で此の不景氣に軍人さん今からホク〳〵ものである、尙兵隊さんには年末賞與がないので正月にウンと御馳走しやうと經理部では大いに頭を惱つてゐる、衞兵部でも在滿兵に心盡しを贈るべく慰兵金を割いて正月用慰問袋に海苔、昆布、勝栗、服裝等非出度いお祝と國民の至誠とを一杯に詰込んで第一線に續々發送を初めてゐる

一聯隊の除隊兵 けふ故國へ
臺北驛發は前一一・五〇

臺北步兵第一聯隊の除隊兵百八十名は軍役を果し三十日基隆出帆の瑞穗丸で離臺歸鄉の途につくこととなつた、臺北驛發は午前十一時五十分で途中の除隊兵八十名と合流する筈で、臺北市役所からは記念品として臺北の除隊兵百八十名に水牛角製煙草入を贈呈し西澤市尹、婦人會應援見送りをなす豫定である

有るがまま 見た儘の滿洲（五）
哈市は邦人の天下
滿洲に使して 宏堂生

滿洲を旅行して痛切に感受されるのは事變前學良の抗日侮日が如何に深刻なものであつたかがる、事變後一年餘を經過した今日でさへ裏通りの旅行者の眼に映ずる、特に學良勢力の中心を成して居つた奉天の如きは、今日でさへ夜間日本人が小人數で城內に行くのは非常に危險視されて居る位である、新京に行くと左程ではない、更に哈爾濱では日本人は大威張りで小さい肩を怒らして步いてゐる、ハルビンの居留日本人は事變前四千人位であつたが現在八千人に增加した、ロシア人五萬支那人四十萬その他二十九ヶ國の外人が四百餘人居るがロシア人も支那人も小さくなつてゐる

× ×

私が同地の警察署を訪ねました時自動車から下りると玄關口に警備してゐた巡警四名が不動の姿勢で一齊に擧手の禮を以つて迎へて吳れたのには面喰つた

× ×

陸軍な日本人から見れば、ロシア人は寧ろ憐憫に見える、自動車の前でも悠つくりと遲つて行く、事變前はから云ふ際は自動車を止めて通り過ぎるのを待つたが、今日では運轉手が飛び出してゆき、大尺度かのロシア人の頰をピシヤリと見舞つた上あやまらせるのであるから滑稽の念いのも無理ない

× ×

ロシア人が經營してゐる、ロシア料理は二人前四品にウオツカ四杯で七十五錢であつた、日本人の經營してゐるカフエーは日本酒一合が八十錢でロシア料理の安いのに比較すると問題にならぬが、カフエーは何處も大入り繁昌「サーケハ涙か……」のレコードをかけ女給が[illegible]聲で和唱してる、かと思へば都々逸をうなつてゐる者もある日本人も仲々國際人には成り切れぬものらしく、支那人の因襲を嗤ふ前に大いに反省せねばなるまい

× ×

私がハルビンに著いた時丁度氣溫が急激に下り零下廿七度となつた、憲兵隊の自動車は防寒具を著けるのを忘れた爲、發動機が破裂したとかで運轉手が叱られてゐた、臨時に何處でも自動車賃が非常に高い、五六ヶ所も訪問すると二三十圓はかかる、高いわけは非常に[illegible]爲にガソリンが夏の四五倍も食はれるからである、家屋內の保溫設備に[illegible]

基隆で交通 安全週間

【基隆電話】基隆署に於ては歲末に入つて交通事故防止と一般に對する交通訓練のため十二月五日より十二日まで全市に亘り交通安全週間を催すこととなつたが當內警察官、青年團員全部がこれに當り規定された方法によつて取締隊が一般通行者に對して適否を指示する外活動寫眞や新聞等で宣傳を行つて成績を擧げることになつた

聽衆堂を埋め 非常な盛況
上田本社特派員の 滿洲事情講演會

十月下旬より十一月の中旬にかけ[illegible]に於ける皇軍の[illegible]し[illegible]て[illegible]の各地を視察して歸北した上田本社特派員の「滿洲事情講演會」は[illegible]二十九日午後[illegible]一時[illegible]と詰めかけ遂には講堂に溢れる有樣で三百數十名に達した、上田記者はもつ[illegible]の[illegible]り說き起して諸般の產業[illegible]事等につき[illegible]を詳說更に[illegible]時[illegible]間半に亘り[illegible]を說いた

臺北で地下に 清酒の貯藏計畫
小松技師語る

又小松專賣局技師は語る
大藏省の醸造試驗所に酒造大會と言ふのが開かれたのでそれに出席いたしました、內地では値段が段々よくなつてゐましたがそれは需要が多くなつて手持品がはけるのと醸造高をへらしたと言ふ關係になりませう、本年內地を通ずる醸造高は大體百萬石と想像されますが、前年よりは若干の增加でせう、臺北にも地下室を作へて清酒の爲時貯藏と言ふ計畫もありますが、何時の事となるかは判りません

樽酒到著

臺灣向の酒は二千五百樽で樽酒は醸造されてゐる狀態で同船にも大部百四十四樽を積んでゐたが素晴らしい需要高だと船員も驚いてゐる有樣だ

複式學級研究 會は今日まで

臺北州教育會主催[illegible]複式學級研究會は二十八日から三十日まで[illegible]
いで研究發表、質問討議を行つて午後四時閉會した
△第二日は午前中前日通り研究發表、質問討議を行ひ、午後から【複式教授に關する諸問題】と題する井上視學官の講話『自己開拓に就いて』と題する近藤帝大教授の講演あり、午後四時閉會したが頗る盛會であつた
△第三日卽ち三十日は基隆市第三橋小學校、海山郡沙崙公學校、板橋小學校、宜蘭郡壯圍公學校、七星郡汐止小學校の各學校の授業を參觀し午後批評會を開く由

朝日丸ニュース
自治制問題は 何れ發表されやう
逃をうつ小濱內務局長

【基隆電話】二十九日基隆入港朝日丸は低氣壓の影響もなく豫定通り午後零時半港外著、本島自治制實施に關する調查と又基隆新築及び新竹、北港州小學校に御下賜の御眞影を奉持する小濱內務局長及小松專賣局技師其他、船客約三百名、御眞影の奉送を終つて小濱局長は語る
本島の自治制問題については未だお話が出來ません、朝鮮には行政狀況を視察に參りましたが

參考が 如何かと言ふ點もお話が出來ないのです、總督はこの次の船でお歸りになりますからその時にして下さい、朝鮮では面は諮問機關、邑と府は決議機關と迄云つてゐました

材料は 既に督府に送つてあるから追つて發表の時期があらう、來年度豫算や新規計畫等は未だ折衝中であるためこれも全然お話が出來ません、朝鮮では窮民救濟としての河川道路工事は著々進んでゐました、匡救事業豫算は甚だ少いと思つてゐたらその方面には數千萬圓を低資で借受け總督府で償還補助をやる方法をとつてゐましたが誠に結構な案だと思ひました
道、未だ新制度實施に迄なつてゐませんが、これは間接選擧團ち府邑面の議員により選擧さるる譯です、臺灣に若し實施された場合はこれに準ずるかと云ふのですか、それは未だ全然きまつておらぬと言ふ方がよいだらう、何れまあその詳しい事になつてゐる

睡眠中に 押流されて擱坐
照南丸に救はれた 遭難漁夫高雄上陸

【高雄電話】南洋スカボローリーフに坐礁遭難中の高雄の漁船魚生丸の船長以下乘組員十五名を救助した總督府水產試驗船照南丸は二十九日正午高雄に入港、同船に收容の遭難船員十五名は無事上陸した、船主德崎正太郞方に落ちついたが山中船長の語る所によれば同船は十八日高雄よりスカボロ沖合に出漁し二十四日夜附近のリーフ近くに假泊して睡眠中、潮流のため船は知らぬ間に押し流されてリーフに擱坐したが幸ひ二十六日航行中の照南丸に發見全部救助されたものであると

釋放者保護會 發起人會
けふ開催さる 稻江信用組合樓上で

既報臺北北署長公室に於いて打合せ會を濟ませた釋放者保護會は三十日午後一時より稻江信用組合樓上に於いて發起人會を開催する

鐵團ＢＣ戰を前に兩軍の 練習振りを見る（上）
ＣＢは外野に見劣り 內野は水も漏らさぬ堅陣

歷史と傳統とをバツクする鐵團、ＣＢの定期野球戰が愈々來る十二月三、四の兩日圓山球場に開かれんとしてゐる、昭和五年五月定期戰開始以來の兩軍が勝を制すること共に二期、ゲームは鐵五勝、ＣＢ四勝で鐵の勝ち越となつてゐる

◇

早慶戰が歷史と傳統に輝き我が國に於けるザ・ビゲスト・ベースボール・ゲームであるならば此鐵團ＣＢ定期戰こそ臺灣に於ける早慶戰である、それ丈けファンは待しくこの一戰を期待してゐると同時に兩軍の各選手も退勤後夕暮迄の僅かばかりの時間を惜んで必死の練習を積んでゐる、そして兩雄の會戰は正月の早法政戰の前哨戰の意味をもこめてやがて白熱戰をファンの前に展開せんとしてゐる少しく兩軍の練習をのぞいて見やう

◇

或る半休日の午後二時、ユニフオームに身を固めた十五六名の選手が富田町の帝大球場で小雨を除る中にウオームアップのキヤツチ・ボールだ、荒らされた圓山球場を除てＣＢ隊は十一月はじめから毎日ここで猛練習だ、吉留、武藤、油井が見えない、吉留は內地に引揚げて退隊し、武藤は先日球を顏にあてて出場不能を傳へられ、油井は兵役のため鄕里佃臺に歸つた由

◇

間もなく吉田主將のピツチングでフリーバツチングだ、第一打者を豫想される內川がいい當りのライナーで外野を襲ふと見れば黑田、田中の超猛烈打が遠く左翼、右翼の柵外に球を飛ばす河內もよく當つてゐる、やはり打擊は黑田、田中が中心となつて編成される樣だ

◇

三塁側のベンチ前で津田、山田兩投手のピツチングが始まつた投手陣はこの二人に黑田、石川を加へて構成される筈だが、最近津田の調子が馬鹿によくなつたときく、黑田の速力は相變らず見事だ、石川はリリーフ投手としては既に定評あるもの。雨が少し小降りになつた頃山口君のノツクでフイノルデイングが開始された、捕手田中、一塁河內には變りなく油井、武藤の不參に依つて二塁山口、神、遊擊黑田、石川、三塁富田、石川と內田監督の苦衷だ、黑田は內野手として全く完全しこかへ[illegible]ある、敏捷、輕快、强肩をもつて前後左右の難球を苦もなく一擧に好投する、異狀の進境だ、三塁富田は守備の堅實を誇り、山口、神の二塁も無難、河內、田中の一塁、捕手は不動のシートで丈に見事なものだ

◇

アウトフイールドでは內田監督のノツクでフライの練習だ、的川の鐵脚と强肩が目立つ外鐵の外野陣にはいささか劣りはしないか、ＣＢの外野守備から中野吉留を失つたことは誠に大きい山田、津田、吉田、石川（弟）神と顏を揃へても吉田、神以外に專門の外野手を缺き、水も漏らさぬ內野守備陣に比して一抹の不安はここにある樣だ「人員不足でやりくり算段ですよ」とは內田監督の言葉だつた

避難邦人 無事到著
二十七日夜マツエフスカヤに

【ハルビン二十九日發聯合】マツエフスカヤの小松原大佐より二十九日ハルビン特務機關に左の如き電報が到達した
パイラルよりの避難邦人四十八名は二十七日夜マツエフスカヤに無事到著した

善光寺別院に 二尼僧を派遣
今度善光寺から

信州善光寺の北投善光寺別院へ今度善光寺から二名の尼僧を派遣することとなり右尼僧に對し既に去る二十六日善光寺にて派遣の辭令式を行つた由で來る三十日神戶出帆の便船にて松井猪兵衞氏同伴來臺の由安田勝次郞氏宛入電があつた、尙之は北投別院を本格的の善光寺別院とする爲めに本部會を初め松井猪兵衞氏等が誠實を忘れて奔走した結果であるといふ

授產打合會 二十九日も續開
指示注意事項協議し 各地の提案を研究

殖產局主催の第一回州廳授產打合會の第二日たる二十九日は午前九時より總督府會議室に於て開會、石川理蕃課長議長席につき前日同樣熱心に協議研究を行ひ先づ指示事項として
一、各地に於ける授產方針に關する件
二、蕃社集團移住に關する件
三、產業指導所經營に關する件
四、原蕃觀光と先進蕃社の整備に關する件
五、埤圳管理 授團の設置に關する件
六、水田持分を平等ならしむべく注意の件
七、各地開發調查の結果を活用するの件
八、授產成績の發表通報に關する件
九、工藝作物の試作及び獎勵に關する件
十、蕃童教育所實習園に關する件
十一、獎勵指導獎勵に關する件
は石川課長より詳細なる說明を試み指示をなし、次で注意事項として
一、敎化の向上に關する件
二、財計の確實を期するの件
三、農業講習所教習に關する件
四、農產物中交換價値あるものは努めて販路を開拓すべき件
五、園藝作物增殖、園藝に關する件
六、傳用作物收穫指導に關する件
七、病蟲害驅除豫防に關する件
八、授產事務打合に關する件
九、農作物各品種蒐集に關する件
十、除蟲菊栽培に關する件
十一、穀物貯藏に關する件
十二、農家使役に關する件
につき同じく石川課長より說明の上注意をなす所あり、午後も一時より續行各州廳よりの左の如き希望事項につき提案者より說明あり熱心に討議を重ね夕刻に至り散會した

臺北州提出
一、蕃地農事試驗機關設置に關する件
二、授產講習會開催に關する件
三、授產技術手打合會開催に關する件
四、蕃人保留地に關する件
五、授產技手旅費增加に關する件

新竹州提出
一、蕃人備林造成並に果樹栽培木發成に關する件
二、堆肥舍建設に關する件
三、農園器具器械並に藥品の整備に關する件
四、種牛豚配付に關する件
五、蕃地各社別耕作地實測に關する件

臺中州提出
一、蕃地農事試驗場設置に關する件
二、蕃地授產技術員講習會に關する件
三、產業指導所增設の件
四、蕃地生產物販賣統制に關する件
五、蕃地農產品評會開催の件
六、標木作製上必要なる器具配付に關する件
七、授產技術員打合會を產業指導所に於て開催の件
八、產業指導所に農業練習所併設に關する件
九、現在の農業統計は不完全なれば就中（一）蕃人の耕作地及び農作物（二）蕃地に於ける家畜は一般農業統計に準ずることに改められ度し

臺南州提出
一、理蕃技手勤務準則制定方の件
二、蕃產物森林產鐵道運搬賃免除又は割引方の件
三、蕃地投產施設調查費配賦方の件

高雄州提出
一、蕃地農事試驗場設置に關する件
二、職員增員配置に關する件
三、產業指導所增設に關する件
四、基本調查及び授產事業選定調查費に關する件
五、農具配付に關する件
六、堆肥舍建設及び肥料舍設置に關する件
七、模範指導園經營に關する件
八、優良種配付に關する件
九、病蟲害驅除豫防藥品及び器具に關する件
十、產業指導員養成に關する件
十一、品評會及び販作會開催に關する件
十二、農事視察に關する件
十三、授產上必要品購入に關する件
十四、授產に依る生產品販賣斡旋に關する件
十五、講習及び打合會費に關する件
十六、開墾豫定地調查費に關する件
十七、蕃人移住地の調查及び開墾費に關する件
十八、優良家畜購入に關する件
十九、家畜防疫に關する件
二十、造林用種苗費に關する件
二十一、模範蕃社表彰に關する件
二十二、功勞者優遇又は表彰に關する件
二十三、蕃地模範部落育成に關する件
二十四、短期養蠶指導教師派遣に關する件
二十五、依賴堤設置に關する件
二十六、製絲業家招聘に關する件

臺東廳提出
一、蕃地授產擔任者講習會に關する件
二、投產經常費配賦方の件
三、トアバル產業指導所新設に關する件
四、紅頭嶼授產施設に關する件

花蓮港廳提出
一、蕃地產業に關する試驗研究機關設置に關する件
二、水路開鑿に關する件
三、產業指導所の增設並に經常費に關する件
四、授產擔任者講習會開催に關する件
五、果樹指導園の設置に關する件
六、發蠶所に於て一定期間の實地講習授產職員に對し臺北[illegible]習實施方の件
七、ブセガン農業講習所に附屬發蠶場併設の件
八、蕃產品取引に關する件

全島エス語大會 來月四日開かる
前日にはラヂオ放送

既報の臺灣エス會主催臺灣エスペラント學會外三團體後援の第二回臺灣全島エスペラント大會は十二月三日午後六時半から開會の前奏曲として左記の如く歌、講演、ドラマ

ラヂオ 放送を爲す事に決定した
【一】エスペラント歌合唱 晉爾ハーモニカバンド伴奏（Ａ）エスペロー（希望）（Ｂ）タギチオー（夜明け） 臺灣エスペラント會【二】講演「第二回大會に際して」臺灣エスペラント學會井上鐵男【三】エスペラントドラマ「父と子」ムヅヴォルフ作
尙大會發會式は同四日午前九時より醫專講堂に於て左記の順序を以て擧行さるるが、所屬團體を待たぬ參加

希望者 は十二錢（大會參加費十錢、參加證送料二錢）を添へて臺灣エス會宛至急申込まれたしと
△開會辭△エスペロー合唱△會長祝辭、書記指名△各團體代表挨拶△議事、會務報告△タギチヨ合唱△閉會
この大會中本社三階に於て開かるるエスペラント展覽會は全世界のエス語に關する文獻を集め網羅して一般に無料にて公開する由

新年文藝募集
種類　和歌、短歌、俳句、俚謠、川柳
課題　「朝海」又は新年雜感
締切　十二月十五日迄に本社着のこと
用紙　官製葉書一枚に一句を認め、雅號の外に住所氏名明記のこと（但一種類一人三作迄）
賞　各種類每に一等一名、二等一名、三等一名、佳作五名に商品を呈す
臺灣日日新報社

昨日女子高等學院で 二木博士の講演

臺北女子高等學院では二十九日午後二時より臺北の名流夫人多數を招待し同校新講堂にて玄米一食主義の二木東大教授の講演會を開催した、同教授は玄米が如何に完全にして正しき食物であるかを說き午後四時半すぎ散會した

臺北州下傳染病（二十八日の分）
▲腸チフス 臺北市日新町一ノ二〇一番地林氏水蓮（10）
▲腸チフス 臺北市新富町四ノ二番地川添菊枝（二）稻江醫院
▲腸チフス 臺北市朝江町三四〇番地張深才（三）稻江醫院
▲腸チフス 臺北市御成町一の二一番地樋口英光（10）

大間知榮治氏逝く

臺灣製糖研究所に三十餘年勤めた大間知榮治氏は二十九日午後六時三十五分心臟麻痺で新起町三の九五の自宅で死去した葬儀は三十日午後四時から三板町稻荷社で執行の筈

ジエノヴイエフ 莫斯科で逝く

【モスクワ二十九日發聯合】共產黨左翼反幹部派の巨頭グリゴリー・エフセヴイチ・ジエノヴイエフは二十九日モスクワで逝去した、享年四十九歲

森恪氏の 病狀憂慮さる

【東京二十九日發電通】海濱ホテルに靜養中の森恪氏は病狀一進一退で二十八日夜は體溫三十八度脈搏百二呼吸三十加ふるに喘息の發作あるため疲勞加はり憂慮されてゐる

身に餘る 光榮
表彰された 坂本氏語る

【臺中電話】日本產業協會第九次產業貿易功勞者表彰に當り本島に於ける產業功勞者として二十八日東京華族會館にて伏見總裁宮殿下御臨場の下に表彰された坂本素魯哉氏を二十九日大正町の自宅に訪問すると
各種の會社、銀行等には關係はしてゐるがそれは取立てて云ふべき程のこともないのに功勞者として今回日本產業協會から表彰されたことは身に餘る光榮で非常に感激してゐる次第であります
と謙遜しながら言葉少なに語つた

東部海上は 强風吹く
海上警報發表

臺北測候所は二十九日午後六時二十分左の如く海上警報を發表した。颱風は北緯二十二度東經百三十一度卽ち大東島の南凡そ四百五十粁の海上にあり、中心示度は七百四十六ミリ程度にて時速凡そ二十五哩を以て北東に進行中である、一方民國中部には七百七十ミリの高氣壓あり、て强風吹き海上は相當荒模樣を呈してゐる、併し颱風次第に本島を遠ざかるにつれ本島及び本島近海の天候は漸次回復する見込である

突如現る！問題の大作！ 龍兒長二郎 飯塚敏子の第一聲オールトーキー
怒濤の騎士
東活超弩級時代劇 阿部九州男の松竹座劇 加賀見二郎 十宮田[illegible]
連續時代大活劇 名金 第一篇
娘の好きな
世界館 二回

漢文臺灣日日新報

聯盟總會一般討議後不決議
諸大國間私會談妥爲斡旋
問題或歸關係國處理

二十八日壽府電。日華問題移諸聯盟總會。訂來十二月六日午前十一時。開本會議。料約二日間。一般討議。此二日間。日華兩代表演說。小國自國擁護者或起辯難。此或日本最不快之時期。斯時或採擇李頓報告書。其內容如何。我或脫退聯盟。亦未可知。然據有力方面揣摩。大國適宜斡旋。想無一般討議後重大決議。直即附託委員。該委員會構成。三說如左。
一、只十九國委員會。繼續可之說。
二、同委員會。合日華代表。爲二十一國委員會之說。
三、新以東洋直接利害關係之國。組織可之說。
第三意見。未甚有力。大國間私會談進步。或將問題離聯盟。歸特殊關係國處理。其氣運釀成之時。有能實現。總之。該委員會成立後經過。首視各國間私會議之成行云。

合美俄國際委員會
國府聲明反對

二十九日南京電。合美俄設十一國國際委員會設置案。國民政府。絕對反對。聲明如左。
依託國際委員會。解決滿洲問題之說。想係壽府一種之觀測。此無視中國領土主權。違反九國條約精神。中國絕對反對。和聯盟不採擇斯案。

中國三次全體會議
十二月十五日開會
提議中俄復交

二十八日上海電。第三次全體會議。訂來十二月十五日。開於南京。國民政府。決定提議日華紛糾所關對策。及中俄國交回復策。斯爲聯盟衝突後。日俄兩國接近之形勢。中國必要親俄。國府此舉。今後可注目云。

改正電氣事業法案
暫不施行本島

二十九日東京電。十二月一日起。施行之改正電氣事業法案。爲臺灣實施計。拓務省。諸般準備。決定改正法中之電氣委員會條項。暫自不施行云。

拓務省決定於臺灣
施刑事補償法

二十九日東京電。拓務省。決定於朝鮮。臺灣。施行內地同樣刑事補償法。其形式。意欲朝鮮制令。臺灣勅令。頃已得案。方與司法省會議。苟得承認。當諸送法制局云。

東石郡旱田
實地測量
特派三係員

臺南州水利課。對東石郡下沿大田六千五百甲。爲資助長耕地整理事業。于本年度。先對八十甲。著手排水路測量。業于二十八日。派特派員三名。前往實地測量。

臺灣畜產協會
發起人會

臺灣畜產協會發起人會。二十八日午後二時。開于督府會議室。出席者督府猪俣農務課長。高澤技師。帝大教授。臺北州富田勸業課長。武上技師。民間則近藤滿夫。小野新一諸氏。就規約案。創立年度及八年度豫算。總會開催手續其他事宜。種々協議。然後散會。

總會美國態度超然
稱決定對報告書之態度
聯盟之事其他討論不參加

二十八日華府電。美國政府。對律頓報告審議之聯盟總會。各方面所共注視之代辦者。二十八日。語人如左。
決定對律頓報告書之態度。聯盟之事。美國不預知。報告書之審議討論。美國不參加。
雖聞美國態度。不關係律頓報告書。但和協日華兩國之委員會。不特從代表出席云。

中外要電
理事會竟如無軌道

壽府消息。去二十八日。松岡代表。僅五分間。退出最後理事會。在大旅邸公館。語人如左。
理事會經過。如東京起行時之豫想。如云感想。吾在聯盟所言。如道路掃除夫。亦有得解。却大不然。理事會。本有規則。從而行之。全無軌道。然此成一好勉強。無關會從此始。勿論入總會。與其在理事會評定方針。一路邁進。仍無變異。從此縱意見百出。盡欲謹聽。欲日本國民安神善忍。最後有決可矣。
又松岡代表。至總會之豫定。其於國際記者俱樂部之講演。十二月四日對歐洲放送。外人間印象。稱其爲強而明之男子。似略得定評云。

英法兩相出席總會

壽府消息。據英國方面情報。英國馬克。法國衛斐兩首相。爲議軍縮問題。日華問題。且出席特別總會云。

李頓卿等調査員歸

壽府消息。李頓卿。二十八日夜。發車歸倫敦。其他調査委員。除美國「馬科」將軍外。均擬歸國。若總會諸問同委員會之時。即再返壽府云。

大田駐俄使赴任期

東京消息。新任駐俄大使大田爲吉氏。訂來十二月九日。東京起行。經西比利亞赴任云。

建國公債應募極盛

東京消息。滿洲國建國公債。當此金融界緩慢。競探放資物之際。證券方面。其應募景氣良好。時價九十七圓。超過金百十錢。兩三日中。或貴至八圓位云。

英美滙水異常跌落

倫敦消息。英美滙水。二十九落爲三弗二仙。二十八日午前十一時四十分。已傳三弗二十仙四分一。未曾有之大跌。一時五十三分。三弗二十仙。午後三時五分。三弗十八仙二分一。四時三弗一七仙四分一。以次續落。引值三弗一七仙二分一。又二十六日最低記錄。一九二〇年二月四日三弗二一仙四分一。二者比較。又差三仙四分三。又金永六磅八志四片。爲未曾有之高值云。

紐育市況株式不動

紐育消息。當地株式市場。去二十八日。英美滙水。跌爲三弗一七仙八分三。是爲新底值。無甚影響。底意尙固。其他重要株式。有三三弗四分一。有銅八弗八分五云。

基市協議會員
人選告畢

基隆市協議會員。來二十五日任滿。自前月中。即祕密人選中。現在缺員四名而外。有更換新者二三名。該名簿。業已提出于州當局。關于右之改選。有一部分自薦他薦之人。出爲策動云。

晉京要務磋商既畢
中川總督啓程歸任
送行者二百餘名

二十八日東京支局特電。中川總督。關臺灣統治情況上奏。暨諸政務磋商既完。決于二十八日歸任。偕夫人並桝山祕書官。于零時半抵東京驛。直入貴賓室。受一般敍禮。是日永井拓相代理。蜂須賀侯。河田拓務次官。山本悌次郎。松木幹一郎。赤司初太郎。木下信。木山文平。橫光規吉。林熊徵諸氏。並代議士實業家。其他官民。無慮二百名。陸續到驛迎送。一時頗呈雜沓。同零時五十五分出步廊。同一時乘富士號出發。一同赴下關。二十九日于山口。參女公子(寺內夫人)之墓。于是日門司出帆蓬萊丸歸臺。又山下屬爲于山口參墓準備。于二十七日西下。

社會事業基金
開協議會

臺北市社會事業助成會基金募集委員谷口、簑和、佐野、大歲、高橋、蔡彬淮、張清港、黃金生諸氏等三十餘名。並西澤市尹、川添助役、社會課員等。去二十八日午後一時半。集在市役所會議室。就日來募集之社會事業助成基金。各報告經過。種々協議結果。決議未集之分。至來十二月十五日。完全收入。直至三時過散會。現在募集之分。三萬三百三十五圓。因會社、商店等代表者不在。未見決定金額。約有三千圓。若全部集齊。市社會事業。前記之分。合從來之分。達五萬餘圓。自明年度起。以是等利息。可得相當活動。當局大喜悅云。

陸軍大學卒業式
聖駕親臨
參謀本部賜大員宴

二十九日東京電。天皇陛下。二十九日午前九時十分宮城啓蹕。駕幸陸軍大學校。臨御卒業式。御賜優等生軍刀。十一時半。駕出校門。臨御參謀本部。閑院總長宮殿下。將所管事項奏聞。午後零時五分。賜總長宮。荒木陸相。各軍事參議官。以下陸軍省。參謀本部部課長陪宴。一時二十分。欣然還宮城云。

本島最初家畜
防疫會議
來月五日開會

本島最初家畜防疫會議。訂來十二月五日午前十時。開於督府會議室。據拓務省。向總督府通牒。至最近決定出席者。農林省獸疫調査所長山脇圭吉。農林技師橫堀善四郎。陸軍省臺灣軍獸醫部長古瀨獸醫正。軍務局課員加藤一等獸醫。朝鮮總督府技師伊佐山伊三郎。同獸疫血清製造所技師屁野恒太郎。關東廳技師岩淺少佐。拓務省拓務技手二階堂榮二。又滿鐵其他。亦欲出席。氏名未詳云。

和洋雜貨組合
店員表彰

臺北市和洋雜貨卸商組合。訂來春古曆正月十日。舉行店員表彰會。對勤續勉勵店員。擬授與表彰狀。及記念品等。目下各店主推薦之優良店員。已有數十名云。

高雄市腸疫
企圖絕滅

高雄市役所衛生係調査。自本年一月以後。市內發生腸疫患者四十四名。就中內地人[illegible]名。本島人[illegible]名。[illegible]豫防成績良好。而市當局更進一步。爲期腸疫撲滅。于市內數處。獎勵服用豫防內服藥。此際亦望一般市民。各自行豫防之也。

時評

[illegible]在哈爾賓附近偵察。[illegible]所患在於無方針。[illegible]無節制。徒因循歲月耳。[illegible]能因刺戟。生出自力更生者。人其矣哉。[illegible]

外山司令官
鰹節畫書
贈屏東郡蕃社

外山守備隊司令官。曾偕夫人。視察屏東郡蕃地杉呈門社。觀察蕃童教育實況。頗有興味。去二十五日。當時嚮導者之屏東農業學校配屬松本大尉。接司令官。寄到大荷物。開視之。乃係欲贈與蕃人者。即大鰹節二十餘枝。及兒童用畫書。其他數百冊。同大尉將該物轉交警察課。擬日番人等。得受意外贈物。皆非常喜悅云。

寄生蟲驅除
內服藥
新營郡下配布

新營郡下八萬三千七百七十二人之寄生蟲驅除內服藥。訂自十二月十五日起十日間。對同郡管內一齊配布。二十六日上午八時起。先在同郡役所會議室。招集各街庄長。小公學校長。各派出所巡查。聽州衛生課岩村藥劑師等。關于寄生蟲驅除講話。及海人草煎汁製法及服藥量等說明。又爲宣傳。保甲事務所。市庄役場。其他適當場所。貼付宣傳單。對保甲民。先開保甲會議。對學校兒童。由學校職員宣傳。以期無遺漏云。

救世軍支部
慈善鍋
救助貧困者

救世軍臺灣支部。鑑接近年末。貧困者。難于度歲。欲向各慈善家。募集喜捨。本年度。在臺北。基隆。臺北三處。設慈善鍋。臺北市置于西門市場出入門。又各家庭之無用空瓶古服等。欲寄附時。可用電話或葉書通知于救世軍。即派係員往取。將該物換現金。喜捨于貧困者云。

本年蜜柑大豐收
只內地移出難于消化
計畫進出滿洲歐洲

據總督府特產課調査。本年蜜柑大豐收。到處柑橘園。果葉可金色。現下適當柑盛出期。而植物檢查。亦以忙繁忙。本年全島柑橘生產豫想數量。面積七千六百二十二甲三七。栽培樹數二百十三萬三千七本。收量七千五百五十二萬二千二百十四斤。此視前年收量之三千三百三十五萬三千六百六十六斤。增加千八百七十九萬八千八百十六斤。爲空前增產。然如從來之只爲移出內地。恐難消化。故自本年。計畫進出滿洲歐洲方面。又柑橘類。爲內柑。椪柑。文旦。斗柚。白柚。其他柑橘類。除斗柚。白柚減產外。一齊豐收。蓋因臺南之斗柚。臺北。新竹。高雄等處之白柚。爲暴風雨被害。故比前年減收云。

蘇澳酒類
年末大賣出

蘇澳酒類小賣人組合。年末年始。酒類賣出會。與羅東酒類賣出略同。惟其賞與方法如左。
▲特等十圓(賞金記念品) 一名
▲一等 五圓 同上 二名
▲二等 四圓 同上 三名
▲三等 三圓 同 三名
以下四五等節略。

法國廿五噸帆船
遭難新莊郡下福海岸
五名遇救加以保護

臺北州新莊郡林口庄下福海岸。去二十八日夜九時發見。有難破船。同地派出所接報。急召集壯丁。赴現場搜査。然已不見船影。乘組員探住破片。漂流中。遇發見救起。更于海岸點火。一面收容于下福派出所。遇救助者五名。皆係法國人。言語不通。詳細不明。右五名。似爲廻遊世界。十一月二十二日發上海。赴馬尼拉方面。途中遭難者。該船爲法國船(二十五噸)。不載貨物。又下福派出所。將情報于林口庄役場。交涉救助。然以僻地故。難于救護。去二十九早。州保安課白非警部及高等警察課安武警部。偕督府外事係芝崎通譯。急赴同地云。

中州災害復舊
申請補助
明年著手工事

臺中州土木課。調査今夏大洪水。州下被害堤防橋梁等災害復舊費。要受補助者。三十餘處。該經費十八萬餘圓。現添付設計書。申請督府補助中。按十二月中旬。可接到補助指令。但迫近年末。乃以明年一月中旬。著手于復舊工事云。

草寮失火
三人均受焚傷

竹東郡北埔庄字埔尾陳阿堉。長男陳天賜。年十二。去二十五夜八時。與雇人陳添琳。及彭金清兩名。在曝寮工寮酣睡中。由吃煙草之餘燼。燃及工寮稻草。釀成火災。前記三名。由夢中驚起。均被燒傷。現醫治中。

釋放者保護會
在稻江信組樓上
開創立發起人會

前報岩田北署長。郭廷俊等氏。所主唱之釋放者保護會。去二十五日。在北署。開磋商會。決議組織團體等。訂本三十日午後一時起。在稻江信用組合樓上。先開創立發起人會。協議會則其他具體案。然後著手募集會員。豫定月杪開創立總會云。

松岡特產課長
視察中南部

殖產局松岡特產課長。爲調査本年之柑橘生產狀況其他。偕酒井屬。於二十七日正午。向中部。視察各地後。按三十日歸北。

娘子軍難惹
蔗刀傷人

高雄市鹽埕町五丁目楊再年四十三。去二十七日午後二時半頃。與同所莊氏霞。年四十九。莊氏玉女年二十二。莊氏快年十九。母子三人。爲甘蔗之事。在附近停子腳口角。該玉女用甘蔗刀。斬傷楊再之右股及右手。再負全治要二週間之傷。目下高雄署對南方取調中云。

苗栗街一帶
補植柿樹

苗栗街及公館庄一帶所產柿子。俗稱苗栗柿。有特殊甘味。近因樹老。風味難佳。而產額減退。農會當局。乃補植岐阜柿。不數年中。當有更優之甘柿登市云。

臺南州下五大橋
總經費百三萬圓
一部分已施行入札

臺南州下。五大橋梁架設工事。已得督府認可。將作昭和七八兩年度繼續事業。總工費一百三萬八千一百九十圓中。督府補助十二萬七千餘圓。各地方民負擔十萬三千餘圓。州費十一萬六千餘圓。年利七分六厘。作十個年々賦償還。本年度總額四十六萬三千餘圓。就中國庫補助五萬八千六百五十圓。州借三十五萬八千圓。由日本勸業銀行借入。償還期限。至昭和十九年三月。契約已成立。各橋梁明細如左。
▲曾文溪橋。自新化郡安定庄海寮。至北門郡西港庄西港。延長八丁。稱全島最長橋梁。經費七年度二十三萬九千七百二十五圓。八年度二十八萬四千二百七十五圓。
▲朴子溪橋。在嘉義頂東石間。東石郡東石庄。經費。七年度六萬五千四百五十圓。八年度一千八百三十圓。
▲急水溪橋。在北門鹽水間。北門郡學甲庄。經費。七年度三萬四千六百七十四圓。八年度五萬六千六百六十圓。
▲八掌溪橋。自新營郡鹽水街。至東石郡義竹庄布袋。經費。七年度六萬八千九百十三圓。八年度八萬六千八百六十七圓。
▲北港溪橋。自嘉義郡新巷庄。至東石郡太保庄。經費。七年度五萬四千二百四十六圓。八年度七萬一千五百五十四圓。
以上各橋腳。由河底掘入四十尺以上。各以鐵筋混凝土造成。河底至橋梁。皆二十五尺以上。橋腳各七十尺以上。嘉義北港間朴子溪橋。經去二十五日。實行入札。嘉義高野敬明請負金額九萬九千圓。至昭和九年三月竣工。其他四大橋。亦擬近日中入札云。

新年文藝書畫募稿

本漢文部。依年例對江湖擴佳。募集新年號文藝書畫玉稿。方法如左。總祈不吝惠賜爲幸。
一、勅題(朝海)七律。不拘韻。
二、新春雜詠。七絕。不拘韻(每人四首)。
三、書畫隨意。但橫額避之。畫東洋畫及水彩畫均可。
四、期限。請於十二月二十日以內惠寄。

板橋大賣出

臺北州海山郡板橋商工會[illegible]
開歲暮新春大賣出聯合會。業經準備就緒。定來十二月一日起開辦。對一般顧客。每買一圓者。贈呈福引券一枚。其景品目錄如左。
特等洋服廚一本。一等自轉車二本。二等白米十二本。三等時計外相當品二十本。四竹鏡臺外相當品四十五。五等以下節略。

賣地圖犯人
送檢察局

[illegible]基隆要塞港出張所雇崎[illegible]某。年二十八。去十一月初旬。欲賣地圖。被北署高等保檢舉。憲兵隊特務取調結果。雖判明非屬要塞地圖。然該地圖。屬要受要塞司令官認可之地域地圖。是故違反要塞地帶法。乃於二十九日。合書類一件。送入檢察局云。

南州警務部
甲種語學口試

臺南州警務部。前對州下警官與巡査部長。百四十餘名。施行甲種語學筆記試驗。合格者。再定十二月一日起二日間。於州警務部講習室。覆試口述云。

福州土工
自刎續聞

既報去二十七日。午前八時頃。大甲郡沙鹿庄沙鹿字斗抵地方。有福州人李金和者。自刎咽喉。並及傷情婦桃園人賣僧婦阿里一節。● 副金和傷劇。即由某土器製造工場主人。用貨切自動車。舁往臺中病院。施以應急手術。生死未卜。

遠征來臺
法大野球部
受本社招聘

法政大學野球部。於東部六大學野球中。今秋獲得王冠。茲爲應本社之招聘。決定本年末來臺。一行按搭十二月二十六日發神戶。同二十九日。抵臺。又臺北比賽日期。決定如左。
一月一日 對CB
二日 對鐵團
三日 對CB
四日 對鐵團

竹市島人
商店歲暮大賣

竹市島人聯合商店團。訂本月一日至末日。依年例開大同會歲暮之聯合大賣出。對于一圓購買者。附添贈彩抽籤券一張贈呈。贈彩總金額。按千八百圓。但當籤一等。現金五十圓計九張。二等商品券二十圓。共九張。三等商品券五圓。共十四張。四等以下節略。又抽籤期。訂明年一月十二日。在公會堂執行云。

嘉義

觀察團來 北門郡學甲庄。壯丁團松下外十一名。去二十八日。來斗六。日間視察街役場衛生部落之施設。教育衛生交通等施設。夜間觀察斗六女子國語講習所並補習科。九芎林。石榴班。林內等之國語講習所之學習狀態。翌二十九日赴嘉義視察。

逮捕逃犯 嘉義市南門町六之二五無職[illegible]。年二十二。本年三月十六日。犯詐欺賭博罪。逃走中。起訴中止。去二十八日午前六時頃。在市內元町三丁目城隍廟附近。被嘉義署防犯係渡邊。張兩刑事探知。拘入署。目下經司法主任取調中云。

投井自殺 嘉義郡新巷庄新巷[illegible]人何金城。年五十。去二十八日午前零時頃。投身於自家後井中自殺。原因自本年五月。病眼難治。且遭生活困難。起悲觀云。

大甲

贈匾記念 既報大甲郡沙鹿公學校准訓導周長榮氏之勤續十五週年。該地人士李古春。李克明外諸同志。經贈以匾紀念一節。該匾特延福州名匠陳發森氏調製。面純以水波狀之金色。字用特飾新工黑色。深爛可觀。經于去二十七日製畢。隨由諸同志分乘貨切自動車。用齊樂隊。鐃迎往贈之云。

煙酒競技 大甲郡沙鹿煙酒小賣人組合。依年對管下各舖小賣人之年末年始店頭陳列競技會。以來十二月一日開會。期日迫日前。故該組自早。先特結飾燈門。一在清水街市。一在沙鹿市場前。懸該標識。而各舖小賣人之店頭。亦各準備賣出陳列品。期樂優績云。

高特查事 大甲郡警察課高等係高倉特務。去二十八日。爲關某事件。出赴沙鹿方面。向和局其他要處調査云。

東石

聯合運動 東石郡義竹庄義竹公學校及青年團。去二十七日午前九時。在該校庭。開第二回聯合運動會。時刻一到。會員集合。揭國旗。合唱君代歌。次安部公學校長。述開會之辭。畢即開始運動。又次唱運動會歌。至午後四時。計運動五十四回。由森安庶務課長。向父兄一場講話。安部校長。對父兄道謝而散。

視察畜產 東石郡太保庄畜產組合。爲圖畜產業向上。去二十八日。由陳畜產技手引率。該組合視察團十餘名。向南部先進地方。視察畜產狀況。行程豫定五日間云。

南投

視察牛檢 臺中州[illegible]田技手。去二十八日蒞南。視察牛畜之結核檢查狀況。翌二十九日。再閱農產販賣斡旋所。始行歸去。

竊主人錢 南投昭和新報支局所招貸者。去七月中旬。有腕表在廳被竊。經郡刑事設計拘人。日昨始知爲其使用人張甲乙二十二所竊。即拘入警察課訊問。自竊後於去二十三日。在市場內。賣與埔里街人王財旺。恐有餘罪。尙追究中。

司法到任 南投郡司法主任平田氏去後。由高等課牛島警部補。以補其缺。去二十八日。接務履新。

斗六

媽祖遶境 斗六街受天宮媽祖。該街同西甲民。欲祈地方平安。擬定十二月五日。即古曆十一月八日。恭迎媽祖遶境。屆日有藝閣。轎陣燈火。樂隊南北管。大戲。布袋戲。目下陳列商。五丁目。安樂。全進會。張平和。張萬枝諸氏及其他有志。準備中云。

詩壇

五十初度　廖寒松

罡風吹我落紅塵。石火光中寄贅身。一臥邯鄲終夢幻。廿年黃浦嘆羈淪。滄桑歷過修羅劫。湖海曾遨鷗鷺親。却把光陰虛浪擲。五旬頭腦半新陳。

無情烏兎去匆々。哀樂幾番一夢中。伏櫪猶存千里志。鍊丹枉負十年功。懸壺自覺心堪愧。下筆深慚句未工。回首前塵偶悵絕。可憐人海尙飄蓬。

年々海角老風沙。南望鄉閭雁字賒。垂老情懷原淡泊。向平心願敢窮奢。干戈幸得身無恙。髀肉虛生鬢有華。信賦江南哀庾信。山川信美客思家。

解佩令　自題寒松堂詩詞集第一輯　用竹垞韻

却將蓬萊蒿艾。長安寶藥。落拓江湖李賀心血傾盡。落身同蹉跎遺恨。惹閒愁霜華凝鬢。

傷心老杜。窮途阮籍。學填詞畫兒左近。任雨不雪。且踏遍曉風殘月。料功名于今細分。